



環 境 に や さ し い

アスファルト防水

2019年

東西アスファルト事業協同組合

vol.15

地球環境問題はいま、社会、企業、
個人のすべてが取り組むべき時代の優先課題

地球環境問題
解決への活動は、
「実行」段階から
「実効」段階へ



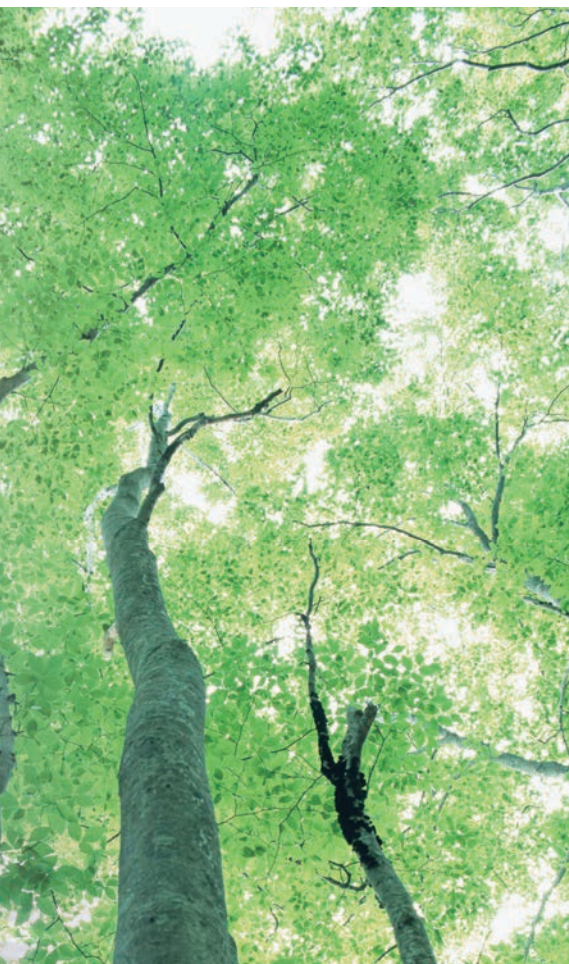
東西アスファルト事業協同組合
アスファルト防水
環境憲章

基本理念

東西アスファルト事業協同組合は、環境にやさしいアスファルト防水の製品・工法の開発を積極的に推進し、地球環境の保全と、より良き建築環境の創造に努める。

基本方針

1. 伝統によって培われたアスファルト防水独自の技術と能力を存分に活かし、環境の保全と快適な空間の創造を広範囲の視点をもって展開する。
2. 新規環境技術の開発を積極的に推進し、新しいアスファルト防水の未来を開拓する。
3. 自らの事業活動に伴う環境負荷を可能な限り低減する。
4. 環境関連の法令や協定を遵守するとともに、省エネ、省資源、有害物質の排除に努める。
5. 環境教育・啓蒙を推進し、組合員の意識と知識の向上をはかる。



INDEX

環境憲章	2
アスファルト防水が建物の長寿命化を実現します。	3
アスファルト防水の優れた耐久性能が信頼の証です。	5
ルーフィング表面を遮熱加工	7
アスファルト防水にプラスする3つの環境性能	8
+1 外断熱「サーモコントロール断熱」	9
+2 太陽光発電「PV-FIXシステム」	11
+3 屋上緑化「耐根・Gウェイブシステム」	13

防水仕様

● 仕様番号の見方	16
● 砂付ルーフィング仕上げ	17
● 押えコンクリート仕上げ	29
● 各種仕上げ材	41
● 屋上緑化仕上げ(耐根仕様)	43
● DIPS構法 溝型ルーフェッキ下地	45
● DIPS構法 フラットまたは溝型ルーフェッキ下地	47
● 室内仕様	49
● 駐車場仕様	51
● 勾配屋根仕様	53

工法

● アスファルト防水各工法紹介	56
● BANKS工法	57
● ストライプ&クリーン工法	59
● エコフィット工法	60
● DIPS構法	61
● アスレイヤ工法	63
● シングル	64
● 耐用年数の設定	65
● PV-FIXソーラーベースの耐力設定	67

チェックポイント・材料紹介

● チェックポイント	
・ 下地ごしらえ	71
・ 砂付ルーフィング仕上げ	73
・ 押えコンクリート仕上げ	73
・ 室内防水	74

● 材料紹介	75
--------	----

取り扱い上の注意と定期的なメンテナンス	83
東西アスファルト事業協同組合員名簿	85



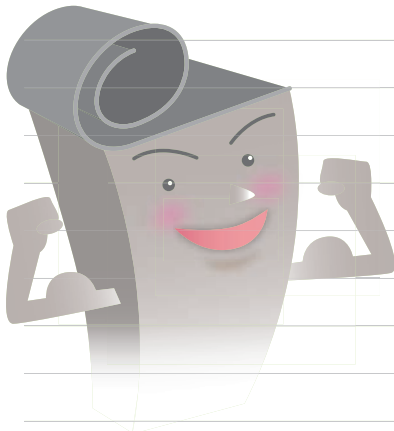
アスファルト防水が 建物の長寿命化を実現します。

建築防水は最適な工法を選択することで最善の効果が得られます。
アスファルト防水の耐久性は長寿命化の要!
環境への負荷を低減する地球にやさしい防水工法です!

アスファルト防水には
**抜群の
防水性能**
があります。

アスファルトが
水を通さない
性能を活かした
防水工法です。

シートを貼り重ね、
連続一体化させた
積層防水層による高い
水密性を約束します。



アスファルトとは、原油を石油精製工場で精製してつくられる軟固体状物質です。常温では固体で、加熱することでやわらかくなり、さらに高温では液体状になります。透水性が低く、耐久耐候性に優れています。

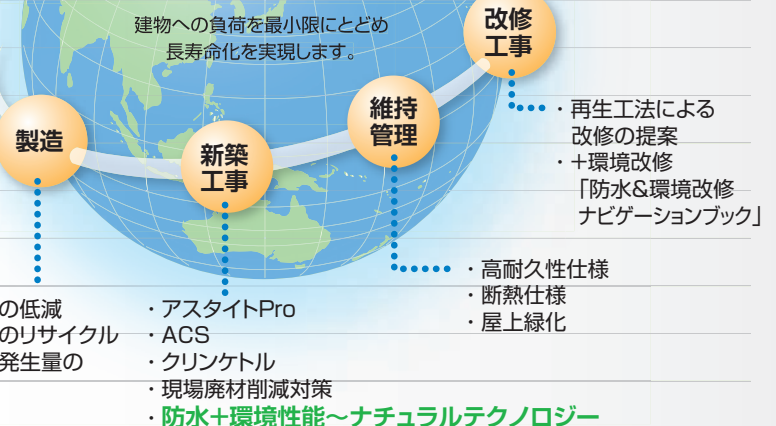
アスファルト防水は、防水工事用アスファルトの連続した皮膜と補強基材を持つルーフィングを積層していく防水工法です。防水工事用アスファルトで、ルーフィング同士のジョイント部を隙間なく充填して水みちをふさぎ、屋根全体に防水機能を持つ連続した皮膜(メンブレン)を形成します。

アスファルト防水は
ライフサイクルアセスメント
でも高い評価を得ています。


ライフサイクルアセスメント(Life Cycle Assessment以下LCA)という言葉は、いまや世界中の企業のキーワードとなっています。LCAとは資源の採取・製造から工事、解体までを含めた「製品の一生」(ライフサイクル)に発生する環境負荷を独自の基準で評価するものです。耐久性があり寿命の長いアスファルト防水は、このLCAでも高い評価を得ています。

アスファルト防水の LCA

建物への負荷を最小限にとどめ
長寿命化を実現します。



アスファルトは、人類の起源から私たちと深い関わりをもっています。旧約聖書には、ノアの箱舟の建造にアスファルトを使用した記述があります。また、紀元前2,500年頃から古代エジプトではミイラの防腐処理剤としても用いられていました。アスファルトには優れた防水性能があり、古くからさまざまなところに利用されています。アスファルト防水の歴史は最も古く、信頼と実績を兼ね備えています。東西アスファルト事業協同組合は昭和31年の創立以来、日本で初めての防水工事業の協同組合として、「建物それぞれの機能に合った防水仕様」「責任施工に基づくアスファルト防水」の普及に努めてまいりました。東西アスファルト事業協同組合は、これまで培ってきた専門知識で、建築防水の診断から施工まで責任を持って高い評価をいただいています。



2つの長所を
複合することで
優れた防水性を
実現しています。

アスファルト防水の 最大利点は長寿命

日本の近代建築が始まって100年。アスファルト防水の歴史も100年に及びます。この豊富な経験と実績、現場より採取した1,000件以上の経年防水層の分析・評価結果、さらに東西アスファルト事業協同組合による50年余りの実績をふまえた防水層の耐用年数を解析した結果、アスファルト防水は長寿命であることが実証されています。

不定形物であり充填性に優れ連続皮膜を形成する**防水工事用アスファルト**と、定形物であり補強機能を持つ**ルーフィング**の各々の**長所を生かした複合工法**、それが**アスファルト防水**です。ルーフィングを複数枚積層することにより、さらに危険率が低い信頼性の高い防水層を形成できます。

防水層の耐用年数について

東西アス協組で設定している耐用年数は、一般的な条件の施工により形成された防水層の老化・劣化が進行して防水機能を失うまでの期間(寿命)の目安です。耐用年数の設定に使用した資料は、実際の現場から採取した1,000件以上に及ぶ経年防水層の分析試験を行い、その累積結果を統計処理したものです。

東西アス協組では、アスファルト防水層(押え仕様)の平均耐用年数を26年と設定しています。また、保護塗料による防水層の劣化抑制効果をふまえた耐用年数を設定しています。(P65参照)

さらに、断熱材との組み合わせや防水材料のグレードアップで60年高耐久仕様も設定しています。

ルーフィングの品質、層数、構成方法により耐用年数を自由に設定できることが、アスファルト防水ならではの大きな魅力です。





アスファルト防水の 優れた耐久性能が信頼の証です。

■技術審査証明により認められた防水工法

従来のアスファルト防水熱工法は、防水工事用アスファルトを用いてルーフィングを3～4層積層することで信頼性の高い防水層を形成しますが、作業効率の問題と溶融アスファルトから発生する煙と臭気による環境上の問題が懸念されています。東西アスでは、従来の熱工法に比べ積層数を軽減しつつアスファルト防水の高い信頼性をそのまま引き継いだ環境対応型の「BANKS工法」「ストライプ&クリーン*工法」「アスレイヤ工法」を開発しました。この3つの工法は環境対応型アスファルト防水として(財)日本建築センターより建設技術審査証明(建築技術)を取得しました。これにより同工法は公共建築工事標準仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)のアスファルト防水熱工法と同等の防水性能を有することが証明されています。

種別	公共建築工事標準仕様書	BANKS工法	ストライプ&クリーン*工法	アスレイヤ工法
屋根露出防水	D-1	JSX-920	SX-920	—
	D-2	—	SX-915	—
屋根露出断熱防水	DI-1	JSX-920G	SX-920G	—
	DI-2	—	SX-915G	—
屋根保護防水	A-1	JPX-935	PX-935	PAL-2S/2M
	A-2	—	PX-930	—
	B-1	JPX-935	PX-935	PAL-2S
	B-2	—	PX-930	—
屋根保護断熱防水	AI-1	JPX-935R	PX-935R	PAL-200S/200M
	AI-2	—	PX-930R	—
	BI-1	JPX-935R	PX-935R	PAL-200S
	BI-2	—	PX-930R	—
室内防水	E-2	JID-925	—	IAL-1M



建築技術審査証明
(BANKS工法)

建築技術
審査証明
(ストライプ&
クリーン*工法)



※仕様表ページ(P16～51)では短縮した“ストライプ工法”と表記しています。

技術審査証明とは

「建設技術審査証明事業(建築技術)」は、平成13年まで建設大臣告示に基づいて建設大臣から認定を受けて14の公益法人が行ってきた「民間開発建設技術の技術審査証明・証明事業」の実績をふまえて、建設技術審査証明協議会が創設した事業で、建築物等の各種技術(設計、材料、部材、構法、施工、検査、保全、改修、解体等)に関し、民間で開発された様々な新しい技術について審査し、認証を行っています。

■防火(飛び火)認定取得

建築基準法により、防火地域や準防火地域等の屋根は、定められた屋根構造とする必要があります。具体的には平12建告1365号に規定された屋根構造、あるいは国土交通大臣認定を受けた屋根構造とする必要があります。東西アス仕様は、告示1365号に規定されない屋根構造について、国土交通大臣認定を取得しています。

これにより東西アス仕様を防火・準防火地域の建築物の屋根(法第63条)や法22条区域の建築物の屋根(法第22条)に適用することができます。

※取得した認定構造については、田島ルーフィング(株)ホームページにてご確認ください。

(<https://www.tajima.jp>)

※取得した大臣認定の構造では、エマルジョン系遮熱・防火塗料「SPサーモコート」仕上げとなります。

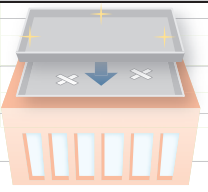
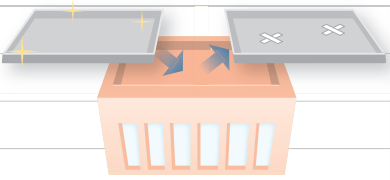




■ アスファルト防水の優れた改修性

鉄筋コンクリート造の建物の寿命は一般的には60年といわれています。そのため防水層の耐用年数を考えると、建物のライフサイクルの中で複数回防水改修を行うことが必要になります。

防水の改修工法には2つあります。1つは、既存の防水層をすべて取り去り、新たに防水層を施工する「撤去工法」。もう1つは、既存防水層の上に新たに防水層を重ねて施工する「かぶせ工法」です。

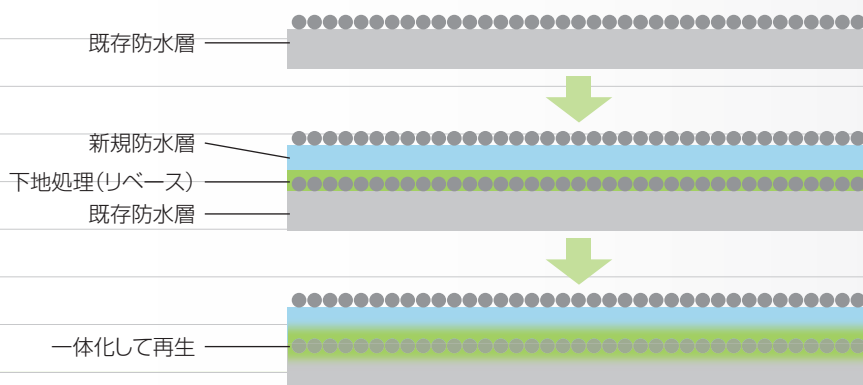
改修工法種別	長 所	短 所
 <p>かぶせ工法 既存防水層を残したまま、その上に新規防水層を施工する工法。</p>	<p>撤去による廃材発生量削減。 既存防水層の機能を継続活用。 施工中の漏水危険性小。</p>	<p>劣化度に応じた下地処理が必要。 新規防水層の荷重が加わる。</p>
 <p>撤去工法 既存防水層を全面撤去した後、新規防水層を施工する工法。</p>	<p>新築時の防水と同条件での施工と仕上り。</p>	<p>撤去による廃材発生。 施工中の漏水危険性あり。 施工中の漏水対策として仮防水が必要となる場合がある。</p>

撤去工法は新築時と同条件で防水が施工できる反面、撤去した廃材処理や施工中の降雨による漏水の危険性などの問題から、かぶせ工法が増えていきます。

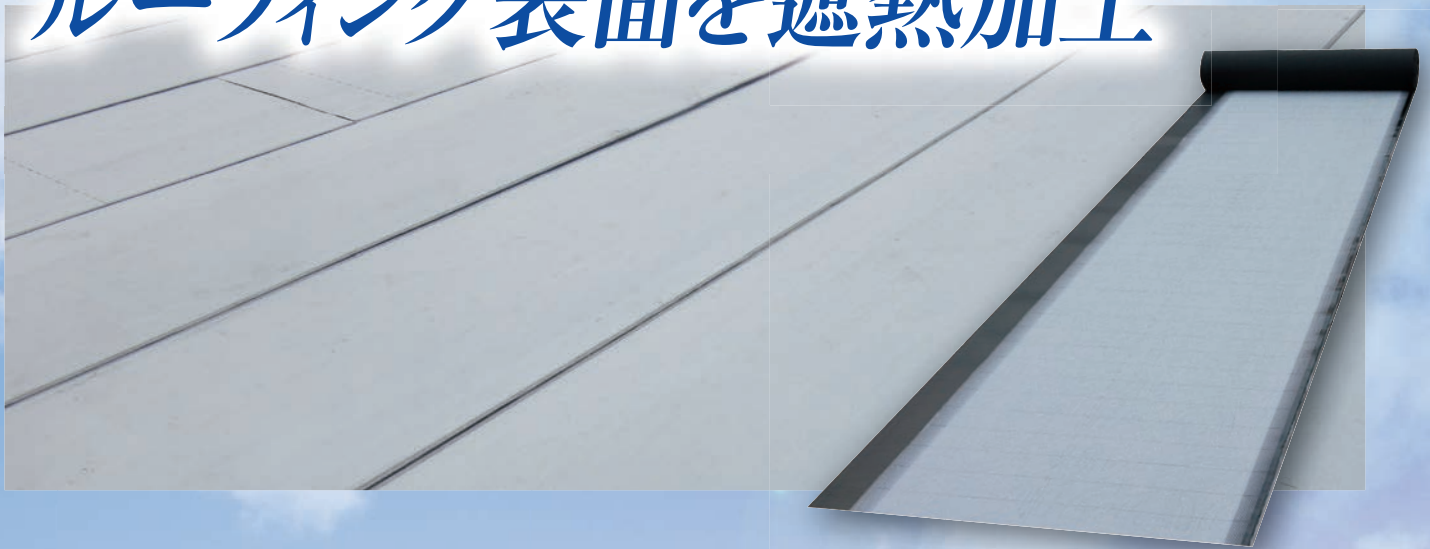
既存の防水層がアスファルト防水の場合では新規防水層をかぶせて既存防水層と一体化し再生する「再生工法」が可能です。古い防水層は100%劣化しているわけではありません。一部分に問題が発生し雨漏りなどが起きるケースがほとんどです。アスファルト防水ならば、古い防水層の上に新しい防水層を貼り重ね一体化させることによって、既存防水層の余命を活かすことができます。また、機械的固定によるかぶせ工法の様に下地に穴を開けないので、施工中の降雨による漏水や躯体を傷つけることがありません。

改修工法には下地を活かし、新規の防水層の性能がプラスされる「再生工法」がおすすめです。

再生工法



ルーフィング表面を遮熱加工



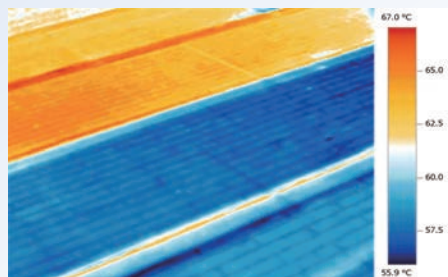
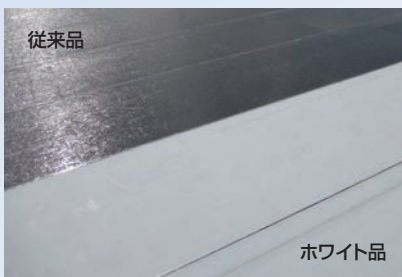
作業時の疲労軽減と施工精度向上に大貢献

屋上防水工事は日射に直接さらされる厳しい施工環境下にあります。温暖化が加速する近年、熱中症対策が強く注意喚起されている中、東西アス協組は技能員の施工環境を改善するため、ルーフィングの遮熱化に踏みきました。

ルーフィング表面が白色化されることで太陽光に含まれる赤外線を反射し、温度低下効果を生み出します。従来品(表面黒色)と比較して表面温度がおよそ10~15°程度低くなることが確認されており、作業時の疲労軽減に大きく貢献します。

また、BANKS工法においてはバーナーで炙った部分が「白」→「黒」に変わるため、熔融状態やアスファルトの充填状態の確認が容易となり、施工精度の向上にも大きく寄与します。

日射を遮る物がない屋上において、ホワイト品が技能員の施工環境改善を足元から図ります。



夏場の屋上防水現場にて、従来品(黒色)とホワイト品を敷き並べてサーモグラフで撮影。温度差が色ではっきりと現れました(写真右)。

- ① 炙った部分の色が白→黒に変わる
- ② 表層色が一層目(白)と二層目(灰)で異なるので施工時の識別が容易

■ホワイト品対象品目

- 強カストライプZ
- 強カバンクルーフ
- 強カバンクルーフV
- 強カバンクベスト
- 強カバンクベストII
- 強カバンクベストV
- 新強カエコフィットFS
- レイヤベースFS

《注意事項》

表面の色のみ変わるだけで、性能・品質に関しては従来品と変わりません。(製品試験成績表も従来品と同じものが提出されます)

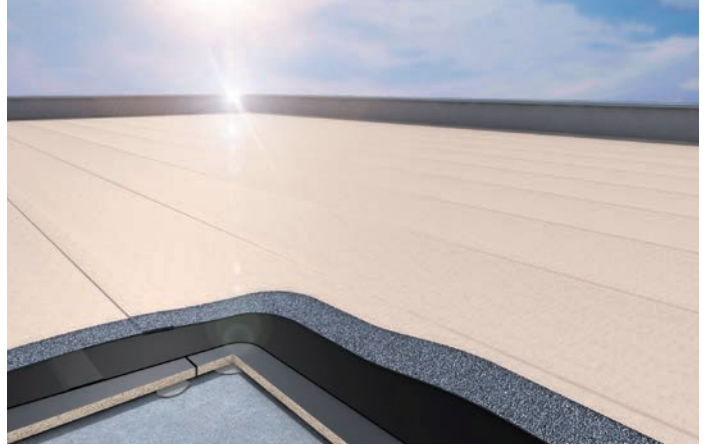
高耐久で長寿命のアスファルト防水に断熱・遮熱や太陽光発電、屋上緑化など環境性能をプラスすることで建物の資産価値を高め環境保全に貢献。

アスファルト防水にプラスする **3つの環境性能**

1 外断熱 サーモコントロール断熱

夏の暑さ、冬の寒さなどの温度影響を和らげる「断熱」。太陽光による防水層表面温度上昇を抑制する「遮熱」。両者を組み合わせた「サーモコントロール断熱」は防水層を長持ちさせつつ、省エネ効果を発揮する手法です。

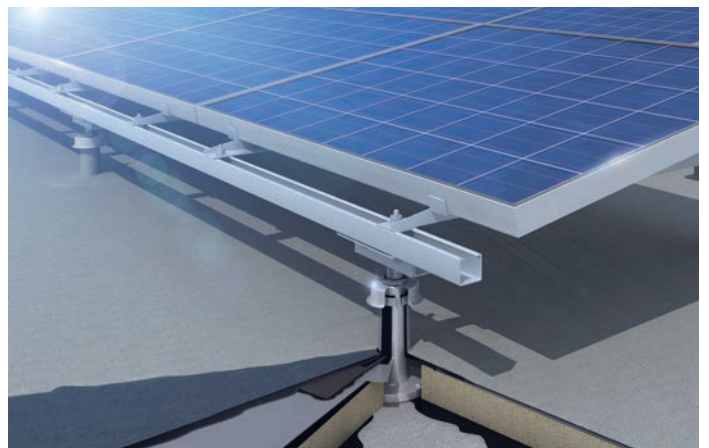
詳しくは9～10ページをご覧ください。



2 太陽光発電 PV-FIXシステム

屋上は太陽光発電にとって最適な場所である一方、また建物にとって防水がもっとも重要視される場所でもあります。防水層との取り合いを十分に考慮した、ソーラーパネル設置用乾式基礎「ソーラーベース」なら、断熱工法にも安心安全にソーラーパネルを設置できます。

詳しくは11～12ページをご覧ください。



3 屋上緑化 耐根・Gウェイブシステム

屋上を美しく彩り、快適な空間をつくる「屋上緑化」。しかし植物の根は驚くほど強く、防水層を貫通し漏水事故を引き起こすこともあります。耐根防水仕様なら、長期にわたり植物の根から建物を守ります。さらに屋上緑化システム「Gウェイブ」で目的や条件に合わせた屋上緑化が可能です。

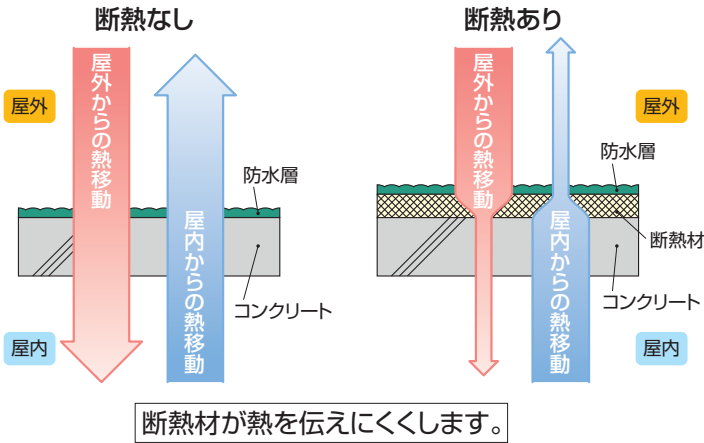
詳しくは13～14ページをご覧ください。



1 アスファルト防水に 外断熱 サーモコントロール断熱 をプラスする

■「断熱」とは熱を伝えにくくする機能です。

外断熱とは建物の外側に断熱材をプラスすることで、夏は屋外の熱を室内に伝えにくく、冬は室内の熱を外部に逃がしにくい効果が得られます。



断熱材

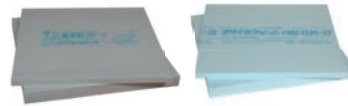
ギルフォーム

非常に大きな断熱効果が得られる板状の耐熱型硬質ウレタンフォームです。環境問題に十分配慮した「ノンフロン」の断熱材です。熱伝導率:0.023W/m・K



RBボード スタイロフォームRB-GK-II

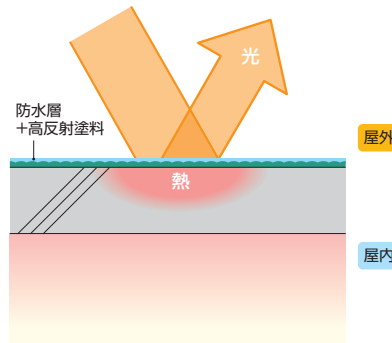
連続押出発泡による、極く小さな気密性の高い独立気泡で構成させた、ポリスチレンフォームです。ギルフォーム同様に「ノンフロン」の断熱材です。熱伝導率:0.028W/m・K



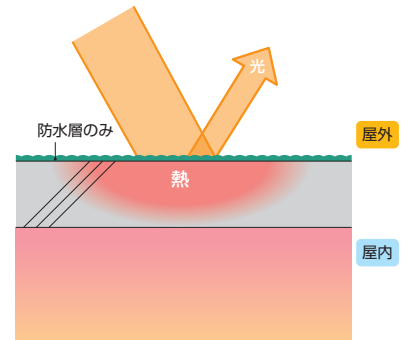
■「遮熱」とは太陽光を反射して熱量を軽減する機能です。

太陽光は物に当たると熱エネルギーに変換されます。遮熱とは、太陽光、特に熱エネルギーとして吸収しやすい近赤外波長領域を反射させることでこの熱量を軽減する機能のことです。高反射機能を持つ塗料を防水層表面に塗布することで、近赤外波長領域を反射し、夏場の屋上表面温度を下げる効果が得られます。

Ⓐ高反射塗料ありの屋根

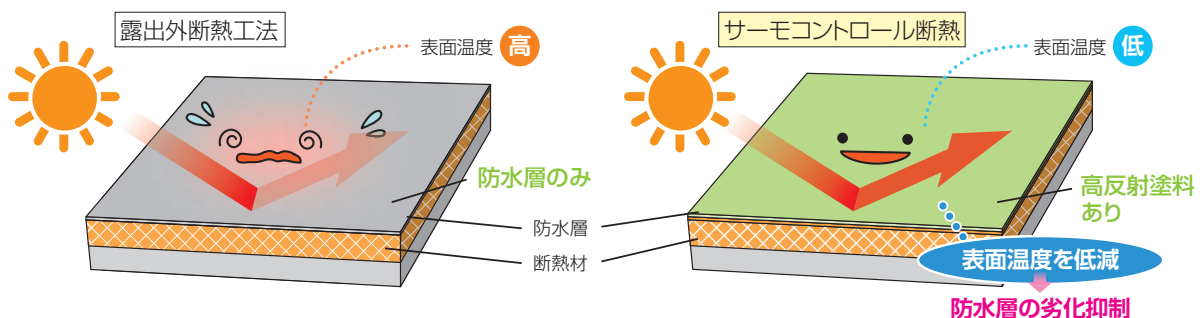


Ⓑ高反射塗料なしの屋根



■断熱+遮熱=それが「サーモコントロール断熱」です。

快適な住環境を維持し、省エネ効果の高い外断熱工法ですが、屋上防水を露出外断熱工法で施工した場合、断熱材の上に防水層が配置されるため、防水層が熱によって劣化することが懸念されます。そこで高反射塗料を塗布することによって夏場における表面温度を低減する効果が生まれます。外断熱と遮熱を組み合わせた「サーモコントロール断熱」は、防水層の劣化を抑制し、より長持ちさせることができるのです。



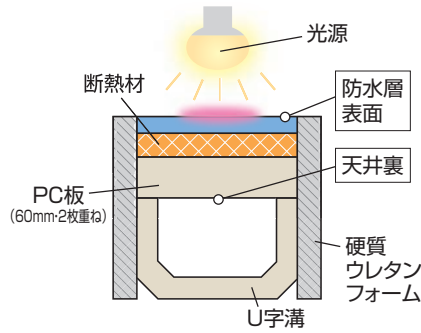


断熱＋遮熱のシナジー効果の検証

■実験方法 図のような実験モデルの防水層上部よりランプを6時間照射し、温度推移を測定した。

■試験体

- A. 非断熱防水層／塗料なし
 - B. 非断熱防水層＋高反射塗料
 - C. 断熱防水層／塗料なし
 - D. 断熱防水層＋高反射塗料
- ※断熱材:ギルフォーム (35mm厚)
 ※高反射塗料:SPサーモコート (0.8kg/㎡塗布)



■結果 ランプ照射6時間後の防水層温度の比較(℃)

	断熱仕様		非断熱仕様	
	防水層表面	天井裏	防水層表面	天井裏
高反射塗料なし	71.6	30.1	55.8	38.9
高反射塗料あり	54.6	29.7	45.6	34.5

断熱露出防水の欠点である防水層の温度上昇を、高反射塗料仕上げによるシナジー効果で大幅に低減することができる。

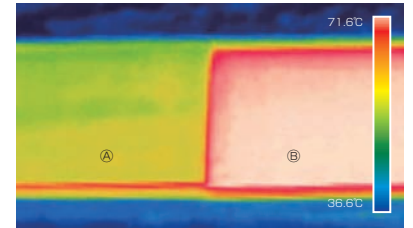
高反射塗料



SPサーモコート／SPファインカラー ／SPミッドカラー／SPクリーンカラー

高反射機能を持つアスファルト露出防水専用保護塗料です。明るい色調が鮮やかに屋上を彩ります。エマルジョンタイプですので、施工も安心です。色により反射率が異なります。受注色には対応しておりません。

高反射塗料の有無による防水層表面温度の差をサーモグラフで比較



アクリル樹脂に骨材を加えたエマルジョン系塗料です。防火性に優れ、防水層を火災時の飛び火から保護する機能と、表面を美しく保ち続けるセルフクリーニング機能を持ち合わせています。



アクリル樹脂を主成分とするエマルジョン系塗料です。



照り返しを抑制し、周辺環境との調和を図ったエマルジョン系塗料です。



土・砂・花粉・珪藻類等の自然環境に起因した堆積物の影響から、防水層表面を保護する効果を持つ骨材入り塗料です。

各色と反射率

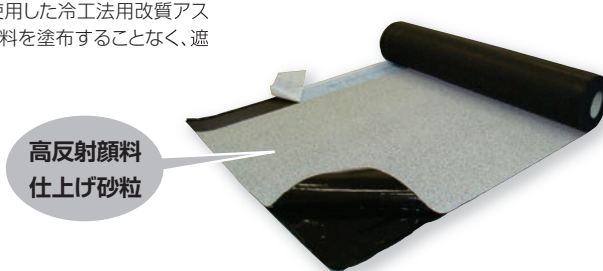
※表中の日射反射率(%)は、近赤外領域(780～2500nm)における数値

SPサーモコート	日射反射率(%)	SPファインカラー	日射反射率(%)	SPミッドカラー	日射反射率(%)	SPクリーンカラー	日射反射率(%)
サーモグレー TH-109	77.5	ライトグレー A-101	74.6	ミッドグレー I-103	60.4	CLグレー CL-109	78.0
サーモアイボリー TH-69	76.9	マットシルバー A-122	72.0	ミッドリーフ I-27	57.6	CLマットシルバー CL-122	75.8
サーモグリーン TH-29	75.9	ライトブラウン A-66	74.2	ミッドベージュ I-63	63.1	CLアイボリー CL-69	77.9
		ミントグリーン A-25	76.6	ミッドチェリー I-33	66.7		

※各色は印刷のため、現物との差違がありますので、ご決定の際は色見本帳などをご参照ください。

冷工法用遮熱シート — 強力エコフィットサーモ

高反射機能を持つ砂粒を表面に使用した冷工法用改質アスファルトルーフィングです。保護塗料を塗布することなく、遮熱効果を発揮します。



高反射顔料仕上げ砂粒

〈メタリック系塗料〉
 一般にシルバー塗料と呼ばれるものは、アルミフレーク等のメタリック顔料を使用した塗料で、可視光領域における反射率が高いため一見遮熱効果が高いように思われがちですが、実際は近赤外波長領域における反射率が低いため、遮熱効果は低い傾向にあります。

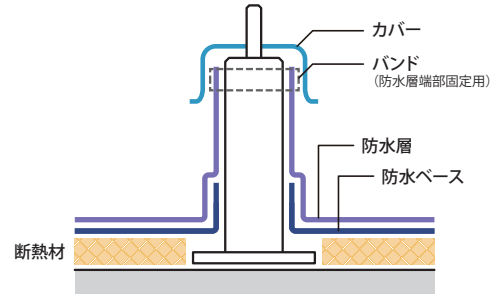


2 アスファルト防水に 太陽光発電 PV-FIXシステム をプラスする

防水機能にも十分配慮した乾式基礎～PV-FIXソーラーベース

ソーラーパネル設置用乾式基礎「ソーラーベース」は防水材料メーカーが開発した、新築だけでなく既存の建物にも、断熱工法にも設置が可能な、ソーラーと防水の共生を可能にする、これからのソーラーパネル設置用基礎です。

ソーラーベースは、防水層との取り合いを十分に考慮し、ベース部と防水層の貼り代を幅広く取ることで水密性を確保しています。さらに十分な設計耐力を有しており、安心・安全にソーラーパネルの設置ができるようになっています。(右図:ソーラーベースW70断面イメージ)

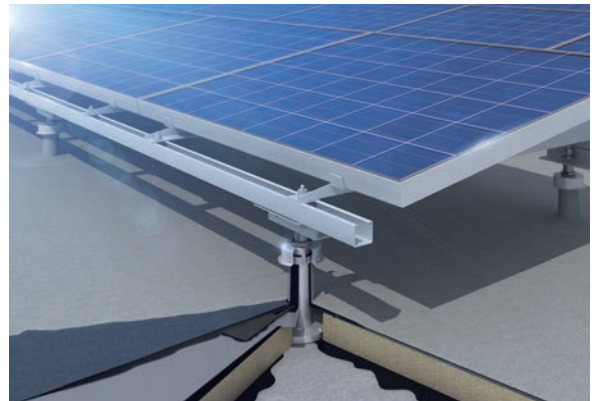


■外断熱工法にしっかり対応。

外断熱工法に対応したソーラーベースW70なら、コンクリート基礎に比べ熱欠損を少なくすることができますので、外断熱の機能を最大限に発揮できます。

■小型の乾式基礎なのでソーラーパネルを低く設置できます。

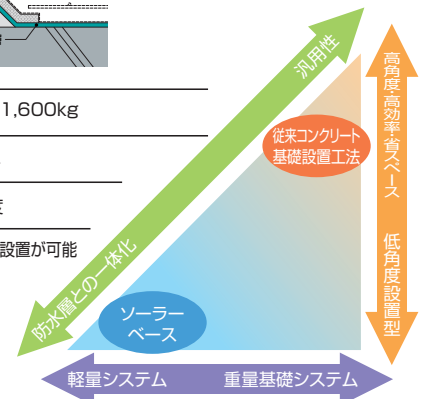
ソーラーパネルは防水層との取り合いを考慮した形状と強度を有しているため、従来のコンクリート基礎と比較して軽量で、さらにソーラーパネルの高さを低く設置できるため、建物への負担を軽減できます。



■従来工法との比較

10KWシステムによる比較

	ソーラーベースS(乾式基礎)	従来工法(コンクリート基礎)
概念図		
個数/基礎重量	3.3kg×56個 合計185kg	200kg×8個 合計1,600kg
設置工期	3～4日(※防水工事は別途)	40日以上
設置面積	110m ² 程度	80m ² 程度
特長	<ul style="list-style-type: none"> 軽量 防水層と一体化 設置工事の簡略化が可能 	<ul style="list-style-type: none"> 強度が高く、高角度・多段によるパネル設置が可能 大きな荷重が掛かる 工期が長い

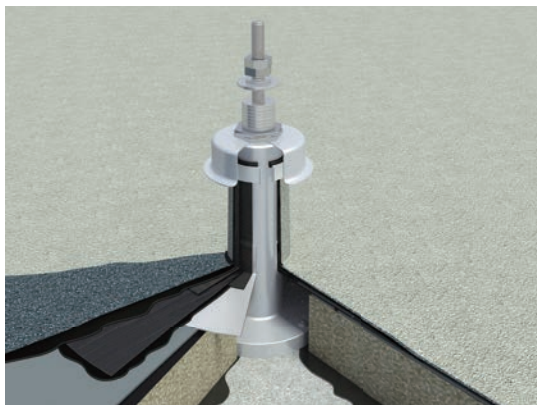




■東西アス仕様ならパネルの寿命に合わせた防水仕様が可能です。

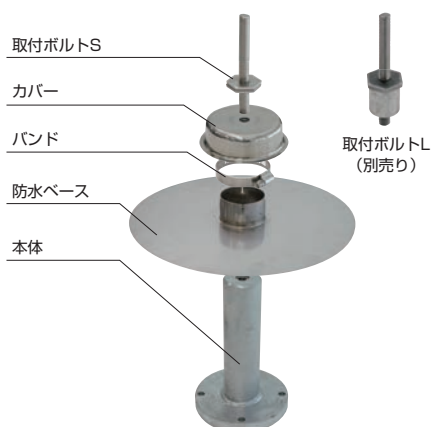
一般的なソーラーパネルの耐用年数は約20年といわれています。ソーラーパネルより短い寿命の防水工法では、ソーラーパネルの寿命がくる前に防水改修が必要になる場合があります。東西アスでは、パネルの寿命を見据えた防水仕様を検討・採用いただけます。

■ソーラーベースW70(断熱工法用)

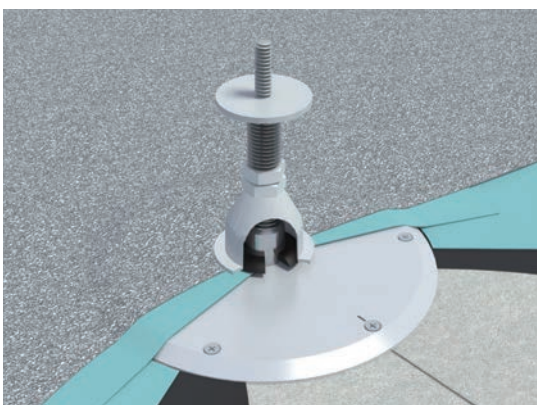


■特長

- 断熱工法に対応(断熱材+防水層=85mm)
- コンクリート基礎が必要ないため、軽量で工期短縮が図れる。
- 60mmアジャスト可能

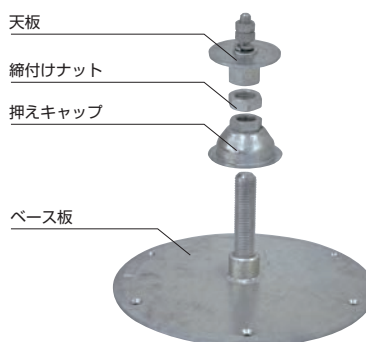


■ソーラーベースS



■特長

- コンクリート基礎が必要ないため、軽量で工期短縮が図れる。
- 15mmアジャスト可能
- 可動式押えキャップにより防水端末が保護され、メンテナンスも可能



ソーラーベースW70



ソーラーベースS



3 アスファルト防水に 屋上緑化 耐根・Gウェイブシステム をプラスする

耐根

植物の根は強い。 だから確実な耐根性能が重要です！

植物の根は驚くほど強く、長い年月の間に防水層を貫通し、漏水事故を引き起こすこともあります。そのため、屋上緑化にはあらゆる場合を想定した、確かな性能を持つ耐根層が必要とされています。耐根シート「ルートガードD」ならば、長期的に根の侵入を防止することが可能。耐水性にも優れており、土中の水分による変形、変質がありません。植物の根に対する高い抵抗性を備えながら、経年後も安定した効果を期待できる耐根用シートです。

ルートガードDと一般ストレッチルーフィングの耐根性能比較

根の生育力が非常に強いとされているクマザサを用い、約1年間生育した後の様子が右の写真です。根の進行を防ぎきれない一般ストレッチルーフィングに比べて、ルートガードDが高い耐植物根性能を有していることが分かります。



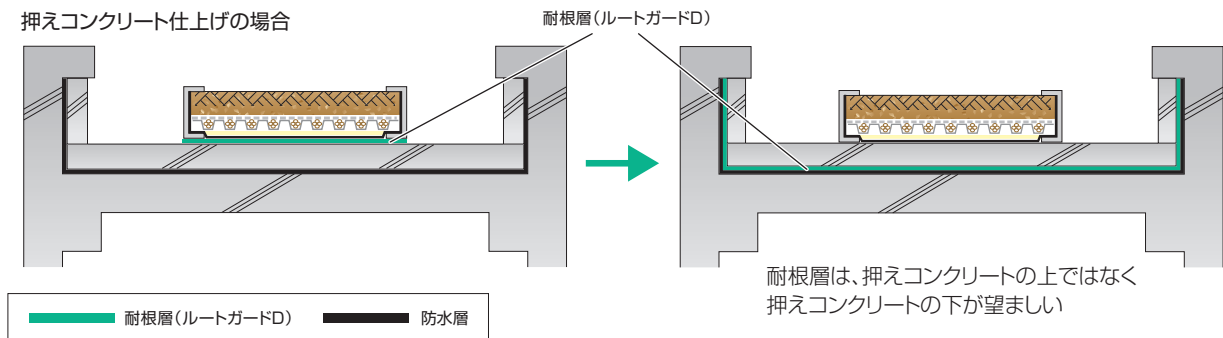
ルートガードD



一般ストレッチルーフィング

屋上緑化の耐根層はどこに貼るべき？

耐根層は防水性能に関わってくるので、屋上緑化部の直下だけでなく、立上り部も含め防水層全体に貼り付けることを推奨します。特に押えコンクリート仕上げの場合には、防水層に耐根層を貼り付けてから押えコンクリートを打設することが望ましい位置です。



防水機能を確実にするために耐根層は 防水層と一体化した 耐根防水が重要

屋上緑化は建物に大きな負担を与えます。そのため防水層には耐根性、耐荷重性、耐久性などさまざまな性能が求められます。防水に耐根シートを組み合わせた、耐根防水工法で長年にわたり建物を守り、安心して屋上緑化を楽しめます。





緑化システム

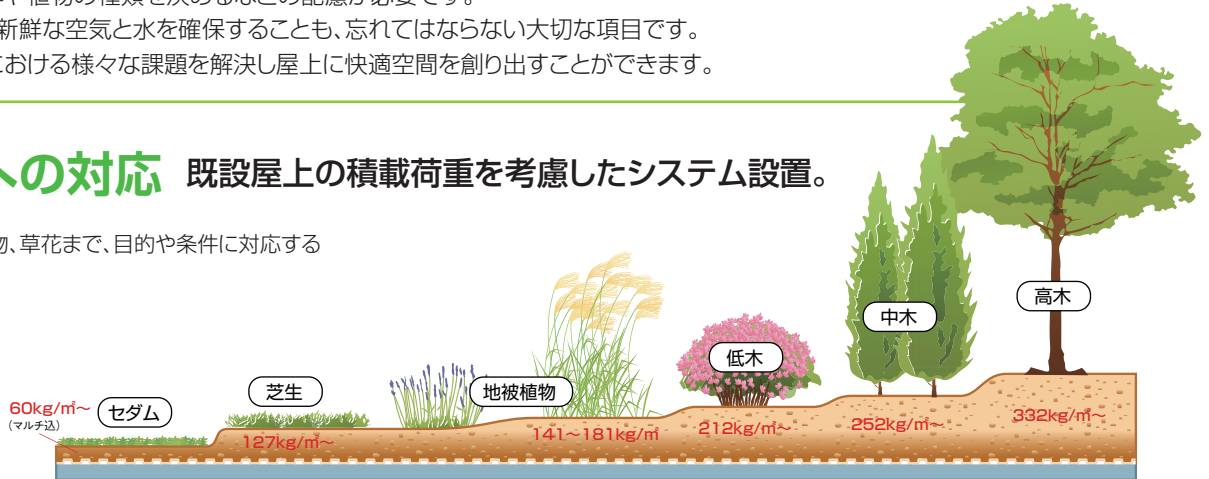
独創性に優れた部材の組み合わせで、幅広いニーズにお応えします。

屋上を有効利用したいなどの理由で、あとから緑化を施す場合などもありますが、そもそも緑化を想定していなかった屋根では、許容荷重を把握した上で土厚や植物の種類を決めるなどの配慮が必要です。

また、植物に不可欠な新鮮な空気と水を確保することも、忘れてはならない大切な項目です。Gウェイブなら、緑化における様々な課題を解決し屋上に快適空間を創り出すことができます。

許容荷重への対応 既設屋上の積載荷重を考慮したシステム設置。

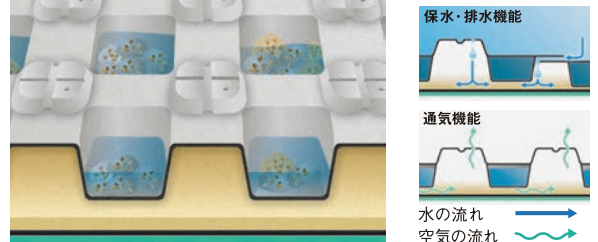
高木から、芝生、地被植物、草花まで、目的や条件に対応する緑化システムです。



保水・排水・通気性能

植物には新鮮な水と空気が欠かせません。

立体構造のFDドレインが、表面の凹部で保水し、オーバーフローした余分な水は下に排水されます。さらにドレイン下層の空隙部が通気層としての役割を果たします。これにより、植物に必要な水と空気を根に供給します。



屋上緑化システム FD-L

庭園型屋上緑化システム。完成時の景観をより重視し、緑化の持つ機能に高い意匠性をプラスした緑化システムです。

さまざまな植栽が選択可能で、庭園や公園など大規模なグリーンイメージを屋上に創り出していきます。





防水仕様



砂付ルーフィング仕上げ [非断熱]

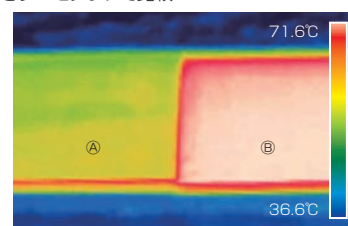
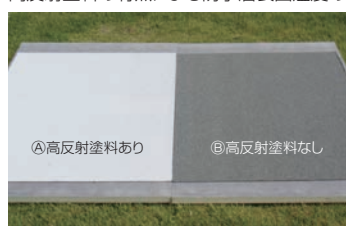
表面に砂粒を密着させた砂付ルーフィングを最上層に積層する露出防水工法です。オプションで保護塗料を塗布することで高反射機能の付与や各種カラー仕上げが可能です。

アスファルト露出防水保護塗料～SPシリーズ



SPシリーズは太陽光による建物の温度上昇を抑制し、防水層の耐久性向上に寄与するアスファルト露出防水専用の保護塗料です。

高反射塗料の有無による防水層表面温度の差をサーモグラフで比較



SPシリーズの特長

- バラエティ豊かな色調が、屋上を華やかに彩ります。
- アスファルト防水材料専用に開発した塗料なので、砂付ルーフィングとの付着性に優れています。
- 露出断熱防水のような過酷な条件下でも、確実な防水層保護効果を発揮します。
- エマルジョンタイプなので施工中の有機溶剤揮発による火災や中毒の心配がありません。



SPサーモコート
SPスーパーサーモコート
標準塗布量
0.8～1.2kg/m²
(2回塗り)



SPファインカラー
標準塗布量
0.4～0.6kg/m²



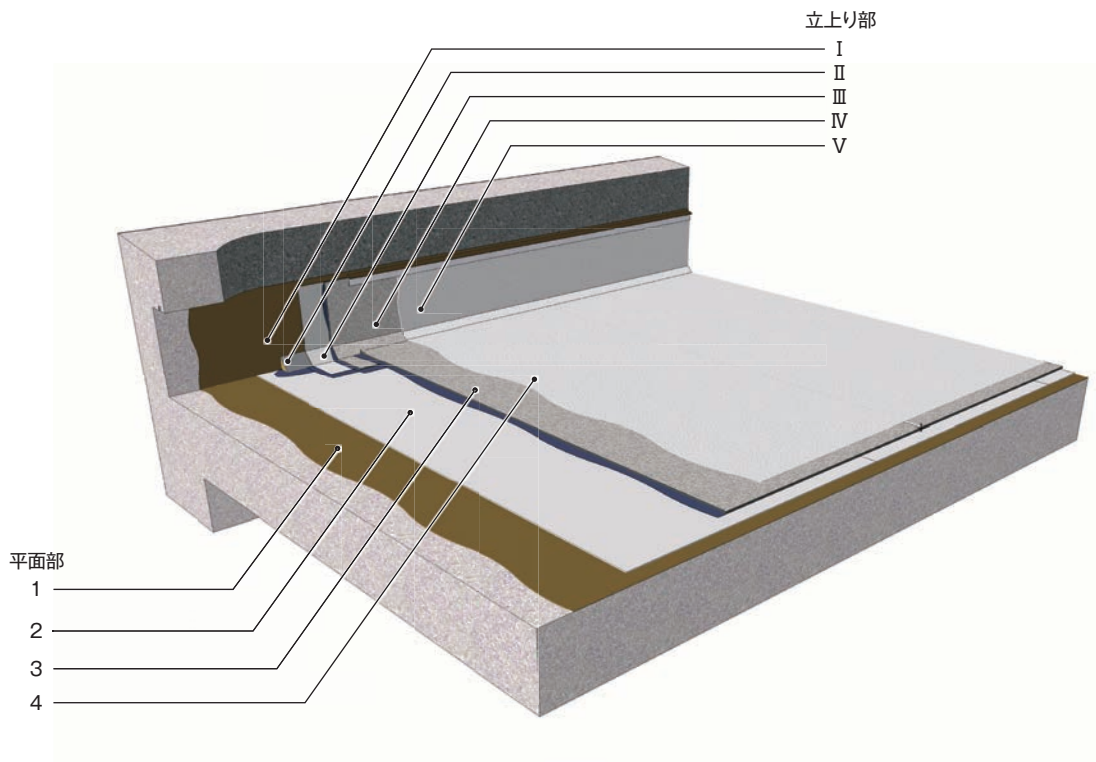
SPミッドカラー
標準塗布量
0.5～0.7kg/m²



SPクリーンカラー
標準塗布量
0.5～0.6kg/m²
(1回塗り)
0.7～0.8kg/m²
(2回塗り)

※上記4種は、受注色に対応していません。

砂付ルーフィング仕上げ | 非断熱



BANKS工法

ノンケトル冷熱併用工法

JSX-920シリーズ

- 適正勾配: 1/50~1/20
- 重量目安: 7.5kg/m²
- 基本耐用年数: 25年

住宅瑕疵担保履行法対応仕様
技術審査証明 D-1仕様対応

平面部

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²			基本仕様 JSX-920
工程 2	強力バンクルーフ			
工程 3	強力ガムフェース			
工程 4 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	JSX-920・TH	JSX-920・SF	JSX-920・SD	
加算耐用年数	プラス2年	プラス1年	プラス1年	

立上り部

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²			基本仕様 JSV-920
工程 II	ギルキャント			
工程 III	強力バンクルーフV			
工程 IV	強力ガムフェースV			
工程 V 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	JSV-920・TH	JSV-920・SF	JSV-920・SD	

JSX-925シリーズ

- 適正勾配: 1/50~1/20
- 重量目安: 8kg/m²
- 基本耐用年数: 30年

住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

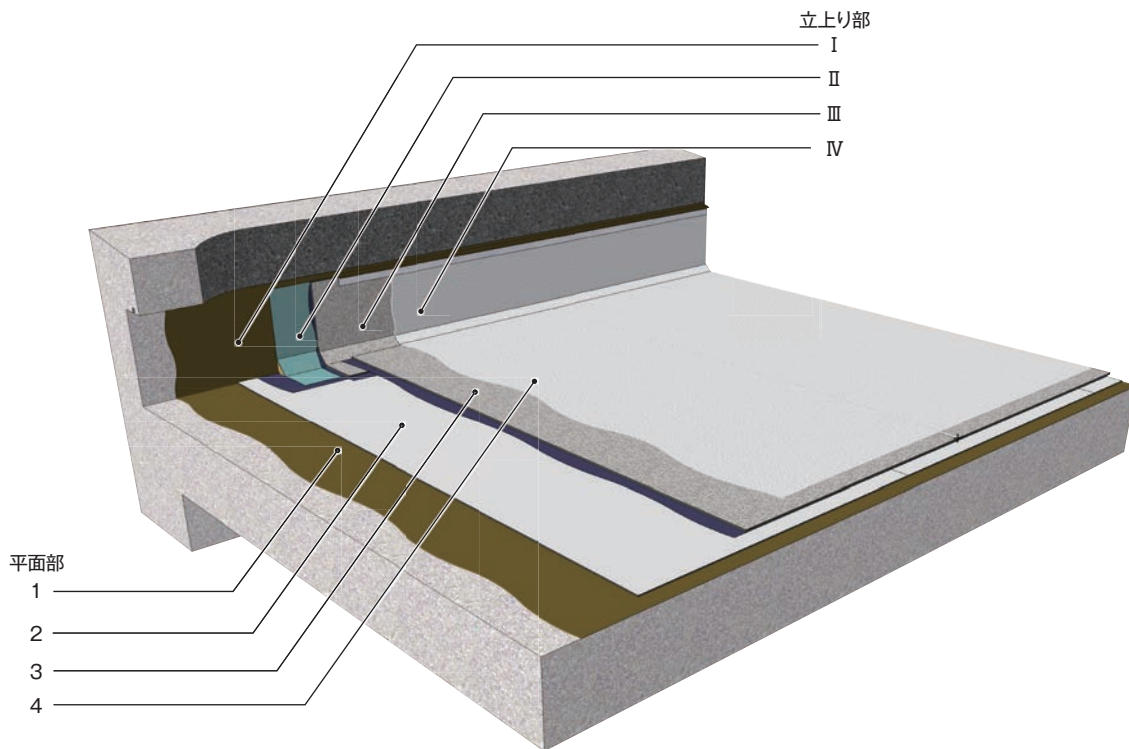
水性プライマーAS 0.2kg/m ²				基本仕様 JSX-925
強力バンクルーフ				
強力ガムフェースEX				
SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²		
仕様番号	JSX-925・TH	JSX-925・SF	JSX-925・SD	
加算耐用年数	プラス2年	プラス1年	プラス1年	

立上り部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²				基本仕様 JSV-925
ギルキャント				
強力バンクルーフV				
強力ガムフェースEX				
SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²		
仕様番号	JSV-925・TH	JSV-925・SF	JSV-925・SD	

- 立上り部は他のバリエーションもあります。詳細は別冊カタログ「BANKS工法」をご参照ください。
- 入隅の地下づくりは原則として直角とし、面取りは行いません。
- 季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマーかアスファルトプライマーSS等を用いることもあります。
- ふくれ防止脱気装置を必ず設置してください。平面部に設置する場合はステンレスペーパス、立上り部に設置する場合はペーパスを用います。
- 貼仕舞は強力ガムシールで処理します。ライナーコーピングスなど雨仕舞材の価格は別途。
- 保護塗料による耐用年数の加算は、定期的に塗料の塗り替えを行い、塗料の性能を維持することを前提とします。
- 保護塗料(SPサーモコート、SPファインカラー、SPミッドカラー)の価格は塗料ごとに異なります。
- 季節や立地条件(寒冷地等)によっては保護塗料にSPシルバーを使用する場合もあります。

砂付ルーフィング仕上げ | 非断熱



ストライプ工法

ストライプ工法 冷熱併用工法

SX-915シリーズ

- 適正勾配: 1/50~1/20
- 重量目安: 7.5kg/m²
- 基本耐用年数: 20年

住宅瑕疵担保履行法対応仕様
技術審査証明 D-2仕様対応

平面部

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²			基本仕様 SX-915
工程 2	強カストライプZ			
工程 3	強カハイキャップ アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
工程 4 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	SX-915・TH	SX-915・SF	SX-915・SD	
加算耐用年数	プラス2年	プラス1年	プラス1年	

立上り部

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²			基本仕様 SV-915
工程 II	Vベース1000			
工程 III	強カハイキャップ アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
工程 IV 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	SV-915・TH	SV-915・SF	SV-915・SD	

SX-920シリーズ

- 適正勾配: 1/50~1/20
- 重量目安: 7.5kg/m²
- 基本耐用年数: 25年

住宅瑕疵担保履行法対応仕様
技術審査証明 D-1仕様対応

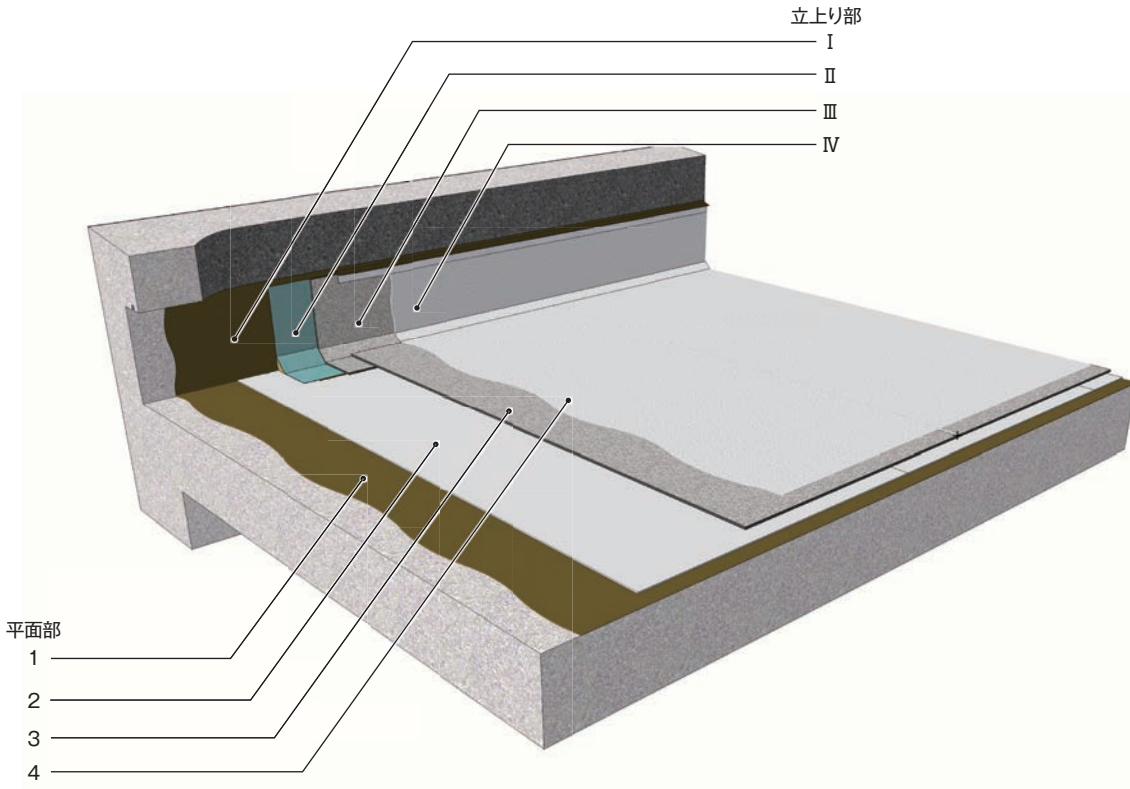
平面部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²				基本仕様 SX-920
強カストライプZ				
強カガムフェース アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²				
SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²		
仕様番号	SX-920・TH	SX-920・SF	SX-920・SD	
加算耐用年数	プラス2年	プラス1年	プラス1年	

立上り部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²				基本仕様 SV-920
Vベース1000				
強カガムフェース アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²				
SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²		
仕様番号	SV-920・TH	SV-920・SF	SV-920・SD	

- ・入隅の下地づくりは原則として直角とし、面取りは行いません。
- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマーかアスファルトプライマーSS等を用いることもあります。
- ・現場の状況などで立上り部を在来工法で施工する場合、Vベース1000の代わりにギルキャントを用い、強カアドバンをアスタイトMで施工します。
- ・立上りの高さが特に高い場合は、Vベース1000に新強カエコフィットFを継ぎ足します。
- ・ふくれ防止脱気装置を必ず設置してください。平面部に設置する場合はステンレスペーパス、立上り部に設置する場合はペーパスを用います。
- ・貼仕舞は強カガムシールで処理します。・ライナーコーピングsなど雨仕舞材の価格は別途。
- ・保護塗料による耐用年数の加算は、定期的に塗料の塗り替えを行い、塗料の性能を維持することを前提とします。
- ・保護塗料(SPサーモコート、SPファインカラー、SPミッドカラー)の価格は塗料ごとに異なります。
- ・季節や立地条件(寒冷地等)によっては保護塗料にSPシルバーを使用する場合があります。・アスタイトMに替えてクリンタイトJも使用できます。



エコフィット工法 冷工法

SF-915 シリーズ

- 適正勾配: 1/50~1/20
- 重量目安: 6kg/m²
- 基本耐用年数: 20年

住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²			仕様書 SF-915
工程 2	新強力エコフィットFS			
工程 3	新強力エコフィットC (端部 GCライン)			
工程 4 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	SF-915・TH	SF-915・SF	SF-915・SD	
加算耐用年数	プラス2年	プラス1年	プラス1年	

立上り部

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²			仕様書 SFV-915
工程 II	Vベース1000			
工程 III	新強力エコフィットC (端部 GCライン)			
工程 IV 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	SFV-915・TH	SFV-915・SF	SFV-915・SD	

CF-915 (遮熱シート)

- 適正勾配: 1/50~1/20
- 重量目安: 6kg/m²
- 基本耐用年数: 21年

住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	仕様書 CF-915
新強力エコフィットFS	
強力エコフィットサーモ (端部 GCライン)	

立上り部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	仕様書 CFV-915
Vベース1000	
強力エコフィットサーモ (端部 GCライン)	

- ・入隅の下地づくりは原則として直角とし、面取りは行いません。
- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマーがアスファルトプライマーSS等を用いることもあります。
- ・立上りの高さが特に高い場合は、Vベース1000に新強力エコフィットFを継ぎ足します。
- ・ふくれ防止脱気装置を必ず設置してください。平面部に設置する場合はステンレスペーパース、立上り部に設置する場合はペーパースを用います。
- ・貼仕舞はGCラインで処理します。ただし、GCラインはアスファルトプライマーおよびプライマーSSには接着しないので注意してください。
- ・ライナーコーピングなど雨仕舞材の価格は別途。
- ・保護塗料による耐用年数の加算は、定期的に塗料の塗り替えを行い、塗料の性能を維持することを前提とします。
- ・保護塗料(SPサーモコート、SPファインカラー、SPミッドカラー)の価格は塗料ごとに異なります。
- ・季節や立地条件(寒冷地等)によっては保護塗料にSPシルバーを使用する場合もあります。



砂付ルーフィング仕上げ [断熱]

外断熱工法を砂付ルーフィング仕上げで行う防水工法です。

さらに遮熱塗料を塗布することで
遮熱性能の付与だけでなく、
防水層の耐久性向上につながります。

断熱材～ギルフォーム

ギルフォームは非常に大きな断熱効果が得られる板状の耐熱型硬質ポリウレタン系フォームです。
熱伝導率の極めて低いノンフロン系のクリーンガス(炭化水素系発泡剤)を内包しているため、建物に用いられる断熱材のなかでも特に優れた断熱性能があります。
(熱伝導率:0.023W/m·K)



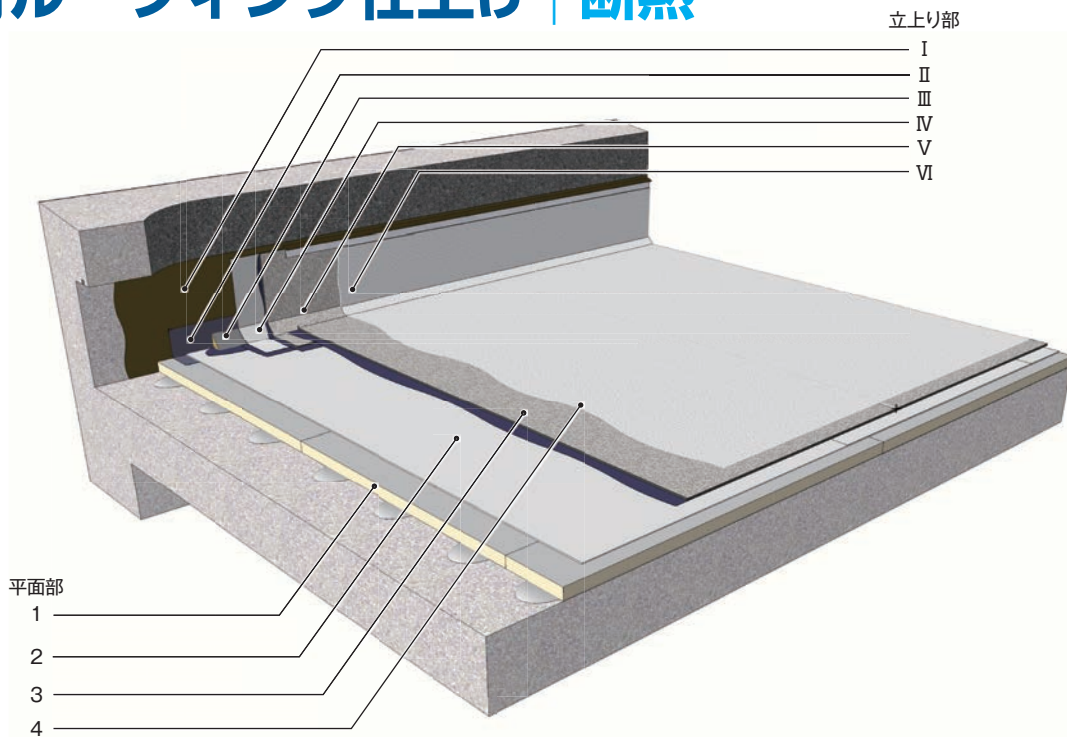
■住宅の省エネルギー基準に基づく断熱材の厚さ(鉄筋コンクリート造建物)

都道府県名 ^{※1}	建築物省エネ基準 国土交通省告示266号2016年(平成28年)				次世代省エネ基準 建設省告示998号1999年(平成11年)				新省エネ基準 建設省告示第2号 1992年(平成4年)		
	地域区分	断熱材の熱抵抗値 【屋根】 m ² ·K/W	断熱材の厚さ		地域区分	断熱材の熱抵抗値 【屋根】 m ² ·K/W	断熱材の厚さ		断熱材の熱抵抗値 【屋根】 m ² ·K/W	断熱材の厚さ	
			断熱材種類E ^{※2}	ギルフォーム ^{※3}			断熱材種類E ^{※2}	ギルフォーム ^{※3}		断熱材種類E ^{※2}	ギルフォーム ^{※3}
北海道	1・2	3.0	85	70	I	3.0	85	70	2.9	85	70
青森県・岩手県・秋田県	3	2.2	65	60	II	2.2	65	60	1.6	50	40
宮城県・山形県・福島県・新潟県・長野県・栃木県	4	2.0	60	50	III	2.0	60	50	1.1	35	30
茨城県・群馬県・山梨県・富山県・石川県・福井県・岐阜県・滋賀県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・静岡県・愛知県・三重県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県	5・6	2.0	60	50	IV	2.0	60	50	1.1	35	30
宮崎県・鹿児島県	7	2.0	60	50	V	2.0	60	50	1.1	35	30
沖縄県	8	1.4	40	35	VI	2.0	60	50	1.1	35	30

※1 市町村によっては他の地域に区分されることがあります。
 ※2 (財)住宅建築省エネルギー機構「住宅の次世代省エネルギー基準と指針」で区別されている断熱材の種類(硬質ウレタンフォーム)での厚み。
 ※3 ギルフォームの熱抵抗値から計算した厚み。
 ※破線部の8県は、新省エネ基準ではⅢ地域に区分されています。

(注意事項)
 ・省エネ基準の適合判定以外に適用することはできません。

砂付ルーフィング仕上げ | 断熱



BANKS工法

ノンケトル冷熱併用工法

JSX-920Gシリーズ

- 適正勾配: 1/50~1/20
- 重量目安(断熱35mm): 9kg/m²
- 基本耐用年数: 20年

住宅瑕疵担保履行法対応仕様
技術審査証明 DI-1仕様対応

平面部

工程 1	ギルフォーム クールボンド・点貼り 0.35kg/m ²			基本仕様 JSX-920G
工程 2	強カバンクルーフ			
工程 3	強カガムフェース			
工程 4 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	JSX-920G・TH	JSX-920G・SF	JSX-920G・SD	
加算耐用年数	プラス5年	プラス3年	プラス3年	

JSX-925Gシリーズ

- 適正勾配: 1/50~1/20
- 重量目安(断熱35mm): 9.5kg/m²
- 基本耐用年数: 25年

住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

工程 1	ギルフォーム クールボンド・点貼り 0.35kg/m ²			基本仕様 JSX-925G
工程 2	強カバンクルーフ			
工程 3	強カガムフェースEX			
工程 4 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	JSX-925G・TH	JSX-925G・SF	JSX-925G・SD	
加算耐用年数	プラス5年	プラス3年	プラス3年	

立上り部

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²			基本仕様 JSV-920H
工程 II	バリテープH			
工程 III	ギルキャント			
工程 IV	強カバンクルーフV			
工程 V	強カガムフェースV			
工程 VI 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	JSV-920H・TH	JSV-920H・SF	JSV-920H・SD	

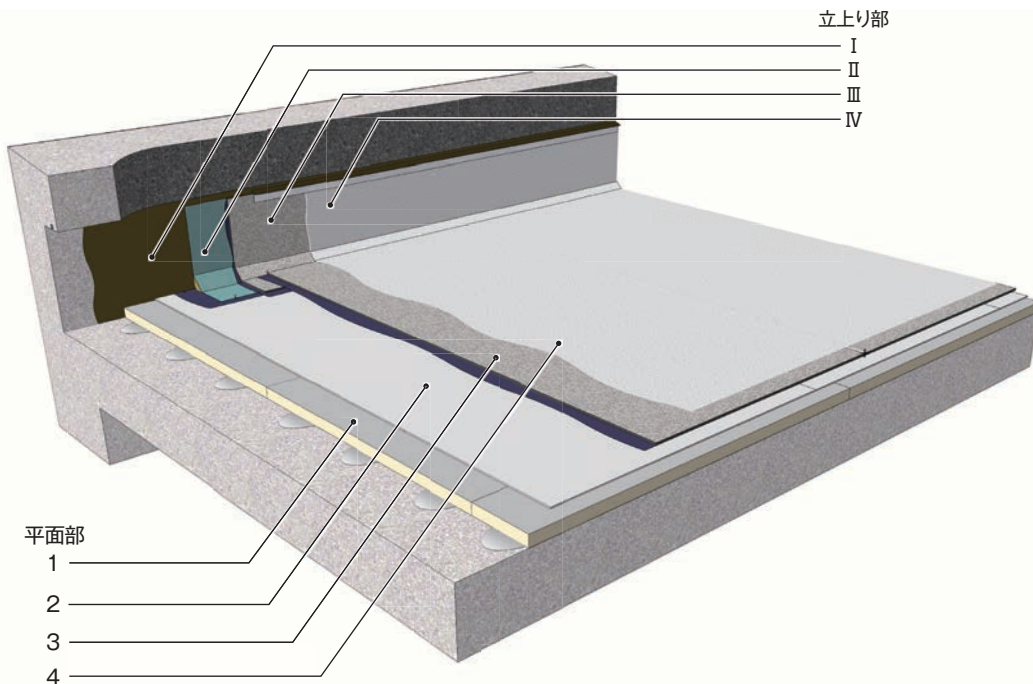
立上り部

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²			基本仕様 JSV-925H
工程 II	バリテープH			
工程 III	ギルキャント			
工程 IV	強カバンクルーフV			
工程 V	強カガムフェースEX			
工程 VI 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	JSV-925H・TH	JSV-925H・SF	JSV-925H・SD	

- 立上り部は他のバリエーションもあります。詳細は別冊カタログ「BANKS工法」をご参照ください。
- 入隅の地下づくりは原則として直角とし、面取りは行いません。
- 季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマーかアスファルトプライマーSS等を用いることもあります。
- 季節や立地条件によって、クールボンドの代わりにプライマーを塗布し、レイコーセメントを用いることもあります。
- ふくれ防止脱気装置を必ず設置してください。平面部に設置する場合はステンレスペーパーW、立上り部に設置する場合はペーパーWを用います。(価格は別途)
- 貼仕舞は強力ガムシールで処理します。・ライナーコーピングなど雨仕舞材の価格は別途。
- 保護塗料による耐用年数の加算は、定期的な塗料の塗り替えを行い、塗料の性能を維持することを前提とします。
- 保護塗料(SPサーモコート、SPファインカラー、SPミッドカラー)の価格は塗料ごとに異なります。
- 季節や立地条件(寒冷地等)によっては保護塗料にSPシルバーを使用する場合もあります。

省エネ基準に基づく各地区の断熱材厚さについては、21ページをご参照ください。

砂付ルーフィング仕上げ | 断熱



ストライプ工法

ストライプ工法 冷熱併用工法

SX-915G シリーズ

- 適正勾配: 1/50~1/20
- 重量目安(断熱35mm): 9.5kg/m²
- 基本耐用年数: 15年

住宅瑕疵担保履行法対応仕様
技術審査証明 DI-2仕様対応

平面部

工程 1	ギルフォーム クールボンド・点貼り 0.35kg/m ²			基本仕様 SX-915G
工程 2	強カストライプZ			
工程 3	強カハイキャップ アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
工程 4 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	SX-915G・TH	SX-915G・SF	SX-915G・SD	
加算耐用年数	プラス5年	プラス3年	プラス3年	

立上り部

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²			基本仕様 SV-915
工程 II	Vベース1000			
工程 III	強カハイキャップ アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
工程 IV 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	SV-915・TH	SV-915・SF	SV-915・SD	

SX-920G シリーズ

- 適正勾配: 1/50~1/20
- 重量目安(断熱35mm): 9.5kg/m²
- 基本耐用年数: 20年

住宅瑕疵担保履行法対応仕様
技術審査証明 DI-1仕様対応

平面部

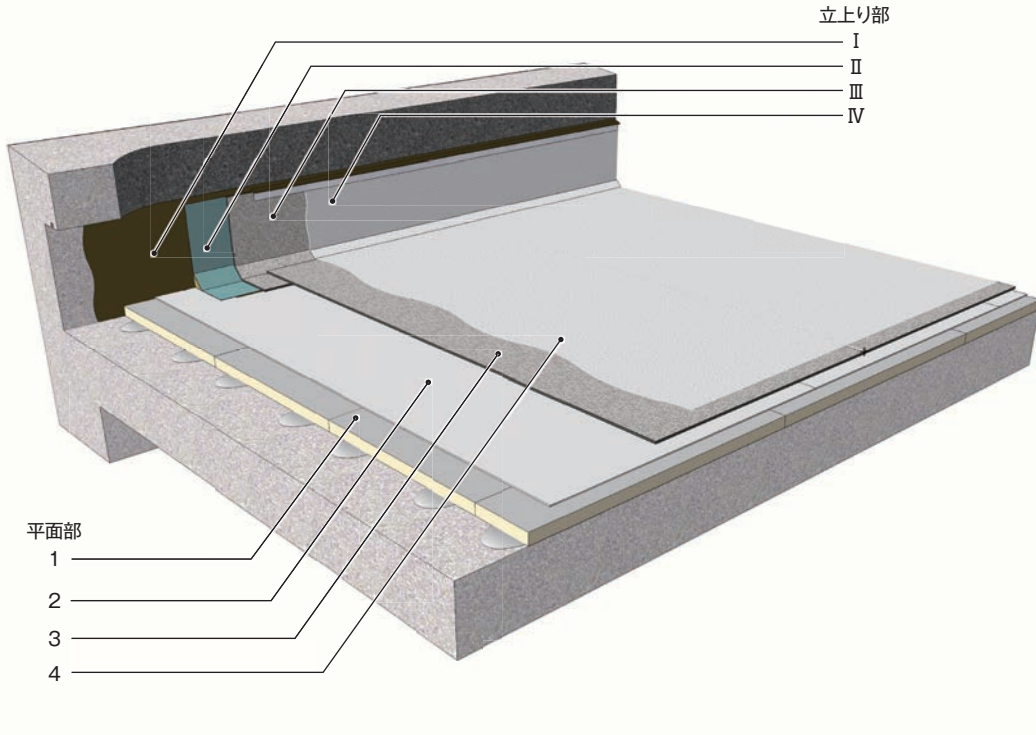
工程 1	ギルフォーム クールボンド・点貼り 0.35kg/m ²			基本仕様 SX-920G
工程 2	強カストライプZ			
工程 3	強カガムフェース アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
工程 4 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	SX-920G・TH	SX-920G・SF	SX-920G・SD	
加算耐用年数	プラス5年	プラス3年	プラス3年	

立上り部

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²			基本仕様 SV-920
工程 II	Vベース1000			
工程 III	強カガムフェース アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
工程 IV 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	SV-920・TH	SV-920・SF	SV-920・SD	

- ・入隅の下地づくりは原則として直角とし、面取りは行いません。
- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマーかアスファルトプライマーSS等を用いることもあります。
- ・季節や立地条件によって、クールボンドの代わりにプライマーを塗布し、アスタイトM(1.5kg/m²)かレイコーセメント(0.8kg/m²)を用いることもあります。
- ・現場の状況などで立上り部を在来熟工法で施工する場合、Vベース1000の代わりにギルキャントを用い、強カアドバンをアスタイトMで施工します。
- ・立上りの高さが高くなる場合は、Vベース1000に新強カエコフィットFを継ぎ足します。
- ・ふくれ防止脱気装置を必ず設置してください。平面部に設置する場合はステンレスペーパースW、立上り部に設置する場合はペーパースを用います。(価格は別途)
- ・貼仕舞は強カガムシールで処理します。ライナーコーピングSなど雨仕舞材の価格は別途。
- ・保護塗料による耐用年数の加算は、定期的に塗料の塗り替えを行い、塗料の性能を維持することを前提とします。
- ・保護塗料(SPサーモコート、SPファインカラー、SPミッドカラー)の価格は塗料ごとに異なり、季節や立地条件(寒冷地等)によっては保護塗料にSPシルバーを使用する場合もあります。
- ・アスタイトMに替えてクリンタイトJも使用できます。

省エネ基準に基づく各地区の断熱材厚さについては、21ページをご参照ください。



エコフィット工法

エコフィット工法 冷工法

SF-915Gシリーズ

- 適正勾配: 1/50~1/20
 - 重量目安(断熱35mm): 7.5kg/m²
 - 基本耐用年数: 15年
- 住宅瑕疵担保履工法対応仕様

平面部

工程 1	ギルフォーム クールボンド・点貼り 0.35kg/m ²			毎本仕様 SF-915G
工程 2	新強力エコフィットFS			
工程 3	新強力エコフィットC (端部 GCライン)			
工程 4 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	SF-915G・TH	SF-915G・SF	SF-915G・SD	
加算耐用年数	プラス5年	プラス3年	プラス3年	

立上り部

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²			毎本仕様 SFV-915
工程 II	Vベース1000			
工程 III	新強力エコフィットC (端部 GCライン)			
工程 IV 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	SFV-915・TH	SFV-915・SF	SFV-915・SD	

CF-915G 遮熱シート

- 適正勾配: 1/50~1/20
 - 重量目安(断熱35mm): 8kg/m²
 - 基本耐用年数: 18年
- 住宅瑕疵担保履工法対応仕様

平面部

工程 1	ギルフォーム クールボンド・点貼り 0.35kg/m ²	CF-915G
工程 2	新強力エコフィットFS	
工程 3	強力エコフィットサーモ (端部 GCライン)	

立上り部

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	CFV-915
工程 II	Vベース1000	
工程 III	強力エコフィットサーモ (端部 GCライン)	

- 入隅の下地づくりは原則として直角とし、面取りは行いません。
- 季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマーかアスファルトプライマーSS等を用いることもあります。
- 季節や立地条件によって、クールボンドの代わりにプライマーを塗布し、レイコーセメント(0.8kg/m²)を用いることもあります。
- 立上りの高さが特に高い場合は、Vベース1000に新強力エコフィットFを継ぎ足します。
- ふくれ防止脱気装置を必ず設置してください。平面部に設置する場合はステンレスペーパスW、立上り部に設置する場合はペーパスを用います。(価格は別途)
- 貼仕舞はGCラインで処理します。ただし、GCラインはアスファルトプライマーおよびプライマーSSには接着しないので注意してください。
- ライナーコーピングなど雨仕舞材の価格は別途。
- 保護塗料による耐用年数の加算は、定期的に塗料の塗り替えを行い、塗料の性能を維持することを前提とします。
- 保護塗料(SPサーモコート、SPファインカラー、SPミッドカラー)の価格は塗料ごとに異なります。
- 季節や立地条件(寒冷地等)によっては保護塗料にSPシルバーを使用する場合もあります。

省エネ基準に基づく各地区の断熱材厚さについては、21ページをご参照ください。



砂付ルーフィング仕上げ [断熱 防湿層付き]

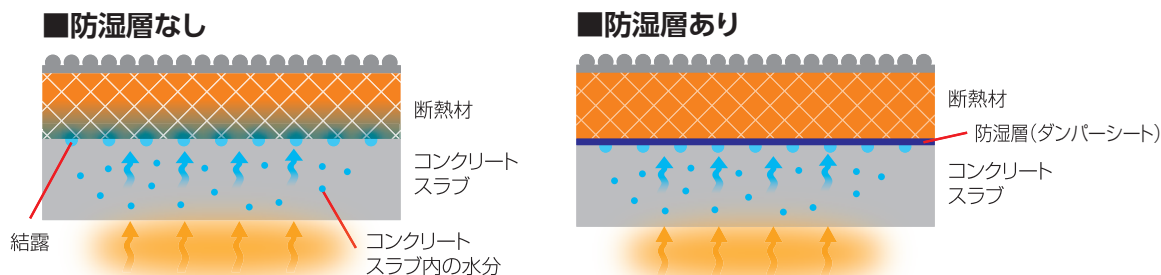
砂付ルーフィング仕上げ外断熱工法に
防湿層を加えた防水工法です。
断熱材を吸湿から守ります。

防湿層～ダンパーシート

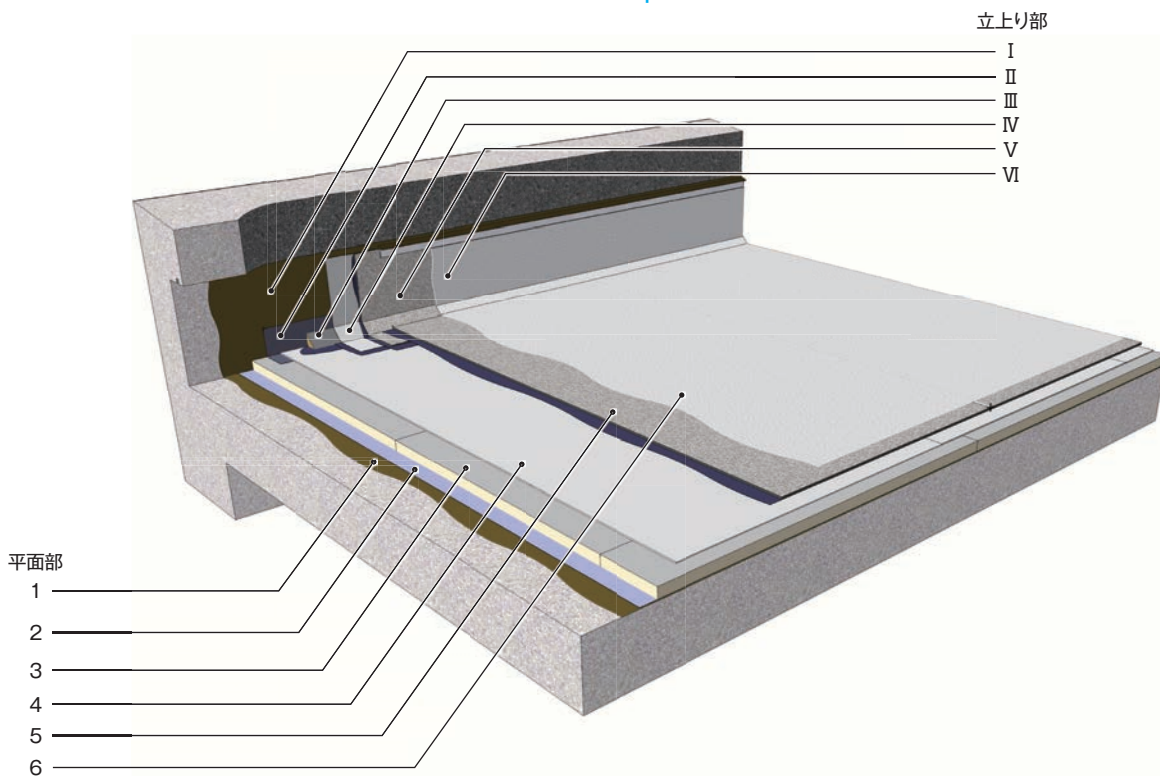
室内の水蒸気は躯体を徐々に透過するために防水層と躯体の界面でわずかながら結露が発生することがあります。また、躯体となるコンクリートは、完全硬化前は余剰水を含んでいます。

このような水分が躯体と防水層の界面に存在すると、断熱材が吸湿し、断熱性能が低下することが考えられます。

断熱材の下側に防湿層「ダンパーシート」を設けることで、断熱材を吸湿から守ります。



砂付ルーフィング仕上げ | 断熱 防湿層付き



BANKS工法

ノンケトル冷熱併用工法

JSX-920GFシリーズ

- 適正勾配: 1/50~1/20
 - 重量目安(断熱35mm): 10kg/m²
 - 基本耐用年数: 20年
- 住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²			基本仕様 JSX-920GF
工程 2	ダンパーシート			
工程 3	ギルフォーム			
工程 4	強カバンクルーフ			
工程 5	強カガムフェース			
工程 6 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	JSX-920GF・TH	JSX-920GF・SF	JSX-920GF・SD	
加算耐用年数	プラス5年	プラス3年	プラス3年	

立上り部

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²			基本仕様 JSV-920H
工程 II	バリテープH			
工程 III	ギルキャント			
工程 IV	強カバンクルーフV			
工程 V	強カガムフェースV			
工程 VI 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	JSV-920H・TH	JSV-920H・SF	JSV-920H・SD	

JSX-925GFシリーズ

- 適正勾配: 1/50~1/20
 - 重量目安(断熱35mm): 10.5kg/m²
 - 基本耐用年数: 25年
- 住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²				基本仕様 JSX-925GF
ダンパーシート				
ギルフォーム				
強カバンクルーフ				
強カガムフェースEX				
SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²		
JSX-925GF・TH	JSX-925GF・SF	JSX-925GF・SD		
プラス5年	プラス3年	プラス3年		

立上り部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²				基本仕様 JSV-925H
バリテープH				
ギルキャント				
強カバンクルーフV				
強カガムフェースEX				
SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²		
JSV-925H・TH	JSV-925H・SF	JSV-925H・SD		

- 立上り部は他のバリエーションもあります。詳細は別冊カタログ「BANKS工法」をご参照ください。
- 入隅の下地づくりは原則として直角とし、面取りは行いません。
- 季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマーかアスファルトプライマーSS等を用いることもあります。
- ふくれ防止脱気装置を必ず設置してください。平面部に設置する場合はステンレスベーパーW、立上り部に設置する場合はベーパーを用います。(価格は別途)
- 貼仕舞は強力ガムシールで処理します。・ライナーコーピングsなど雨仕舞材の価格は別途。
- 保護塗料による耐用年数の加算は、定期的な塗料の塗り替えを行い、塗料の性能を維持することを前提とします。
- 保護塗料(SPサーモコート、SPファインカラー、SPミッドカラー)の価格は塗料ごとに異なります。
- 季節や立地条件(寒冷地等)によっては保護塗料にSPシルバーを使用する場合もあります。

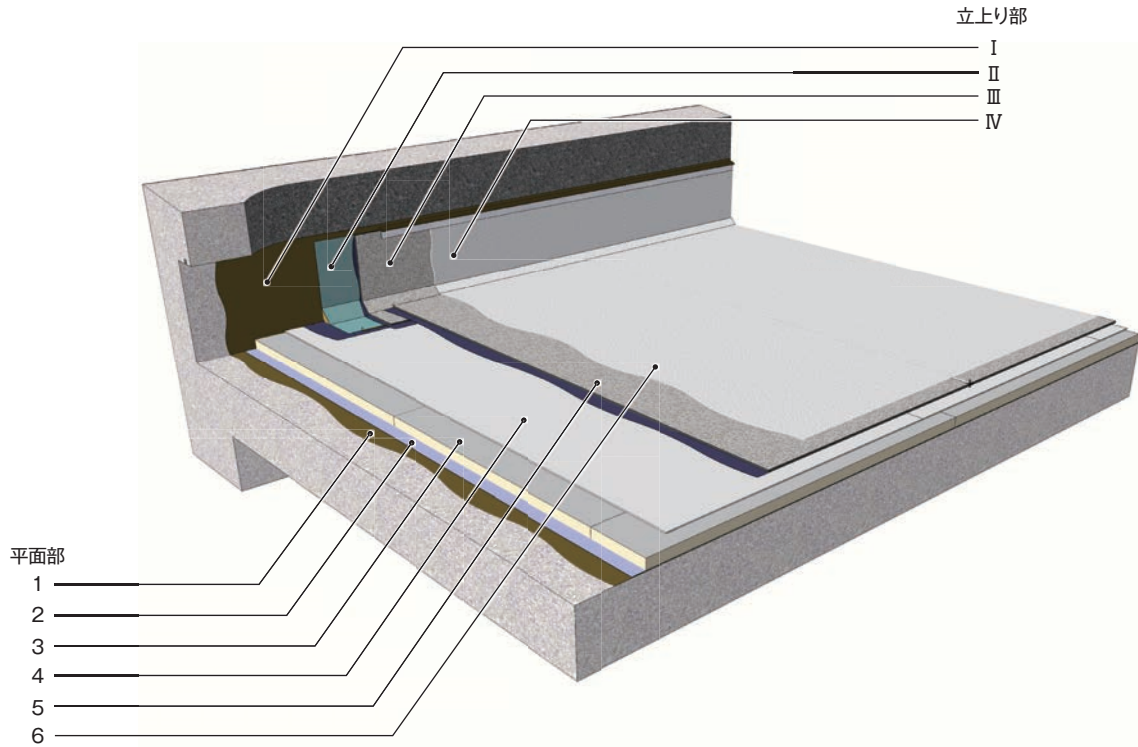
省エネ基準に基づく各地区の断熱材厚さについては、21ページをご参照ください。

砂付ルーフィング仕上げ | 断熱 防湿層付き

防水仕様

砂付ルーフィング仕上げ(断熱防湿層付き)

ストライプ



ストライプ工法

ストライプ工法 冷熱併用工法

SX-915GFシリーズ

- 適正勾配: 1/50~1/20
- 重量目安(断熱35mm): 10kg/m²
- 基本耐用年数: 15年
- 住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²			基本仕様 SX-915GF
工程 2	ダンパーシート			
工程 3	ギルフォーム			
工程 4	強カストライプZ			
工程 5	強カハイキャップ アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
工程 6 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	SX-915GF・TH	SX-915GF・SF	SX-915GF・SD	
加算耐用年数	プラス5年	プラス3年	プラス3年	

立上り部

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²			基本仕様 SV-915
工程 II	Vベース1000			
工程 III	強カハイキャップ アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
工程 IV 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	SV-915・TH	SV-915・SF	SV-915・SD	

SX-920GFシリーズ

- 適正勾配: 1/50~1/20
- 重量目安(断熱35mm): 10kg/m²
- 基本耐用年数: 20年
- 住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

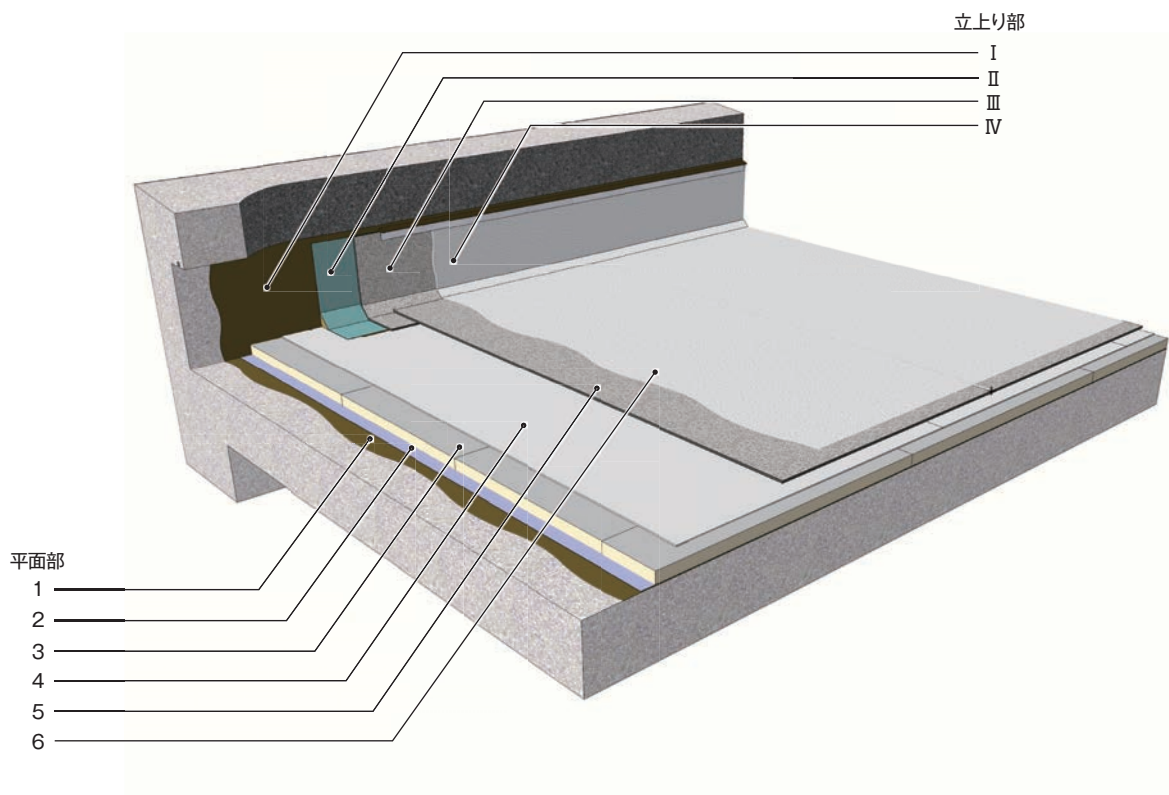
水性プライマーAS 0.2kg/m ²			基本仕様 SX-920GF
ダンパーシート			
ギルフォーム			
強カストライプZ			
強カガムフェース アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
SX-920GF・TH	SX-920GF・SF	SX-920GF・SD	
プラス5年	プラス3年	プラス3年	

立上り部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²			基本仕様 SV-920
Vベース1000			
強カガムフェース アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
SV-920・TH	SV-920・SF	SV-920・SD	

- ・入隅の下地づくりは原則として直角とし、面取りは行いません。
- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマーかアスファルトプライマーSS等を用いることもあります。
- ・現場の状況などで立上り部を在来工法で施工する場合、Vベース1000の代わりにギルキャントを用い、強カアドバンをアスタイトMで施工します。
- ・立上りの高さが特に高い場合は、Vベース1000に新強カエコフィットFを継ぎ足します。
- ・ダンパーシートに代えて、フリースペストをアスタイトM(0.6kg点貼り)で施工する場合もあります。
- ・ふくれ防止脱気装置を必ず設置してください。平面部に設置する場合はステンレスベアバスW、立上り部に設置する場合はベアバスを用います。(価格は別途)
- ・貼仕舞は強カガムシールで処理します。・ライナーコーピングなど雨仕舞材の価格は別途。
- ・保護塗料による耐用年数の加算は、定期的に塗料の塗り替えを行い、塗料の性能を維持することを前提とします。
- ・保護塗料(SPサーモコート、SPファインカラー、SPミッドカラー)の価格は塗料ごとに異なります。
- ・季節や立地条件(寒冷地等)によっては保護塗料にSPシルバーを使用する場合もあります。・アスタイトMに替えてクリンタイトJも使用できます。

省エネ基準に基づく各地区の断熱材厚さについては、21ページをご参照ください。



エコフィット工法

冷工法

SF-915GFシリーズ

- 適正勾配: 1/50~1/20
 - 重量目安(断熱35mm): 8.5kg/m²
 - 基本耐用年数: 15年
- 住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²			基本仕様 SF-915GF
工程 2	ダンパーシート			
工程 3	ギルフォーム			
工程 4	新強力エコフィットFS			
工程 5	新強力エコフィットC (端部 GCライン)			
工程 6 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	SF-915GF・TH	SF-915GF・SF	SF-915GF・SD	
加算耐用年数	プラス5年	プラス3年	プラス3年	

立上り部

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²			基本仕様 SFV-915
工程 II	Vベース1000			
工程 III	新強力エコフィットC (端部 GCライン)			
工程 IV 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	SFV-915・TH	SFV-915・SF	SFV-915・SD	

CF-915GF 遮熱シート

- 適正勾配: 1/50~1/20
 - 重量目安(断熱35mm): 8.5kg/m²
 - 基本耐用年数: 18年
- 住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	CF-915GF
ダンパーシート	
ギルフォーム	
新強力エコフィットFS	
強力エコフィットサーモ (端部 GCライン)	

立上り部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	CFV-915
Vベース1000	
強力エコフィットサーモ (端部 GCライン)	

- ・入隅の下地づくりは原則として直角とし、面取りは行いません。
- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマーかアスファルトプライマーSS等を用いることもあります。
- ・立上りの高さが特に高い場合は、Vベース1000に新強力エコフィットFを継ぎ足します。
- ・ふくれ防止脱気装置を必ず設置してください。平面部に設置する場合はステンレスペーパーW、立上り部に設置する場合はペーパーを用います。(価格は別途)
- ・貼仕舞はGCラインで処理します。ただし、GCラインはアスファルトプライマーおよびプライマーSSには接着しないので注意してください。
- ・ライナーコーピングなど雨仕舞材の価格は別途。
- ・保護塗料による耐用年数の加算は、定期的に塗料の塗り替えを行い、塗料の性能を維持することを前提とします。
- ・保護塗料(SPサーモコート、SPファインカラー、SPミッドカラー)の価格は塗料ごとに異なります。
- ・季節や立地条件(寒冷地等)によっては保護塗料にSPシルバーを使用する場合もあります。

省エネ基準に基づく各地区の断熱材厚さについては、21ページをご参照ください。



押えコンクリート仕上げ [非断熱]

アスファルト露出防水を施工した上に、
防水層を保護するために押えコンクリートを打設します。

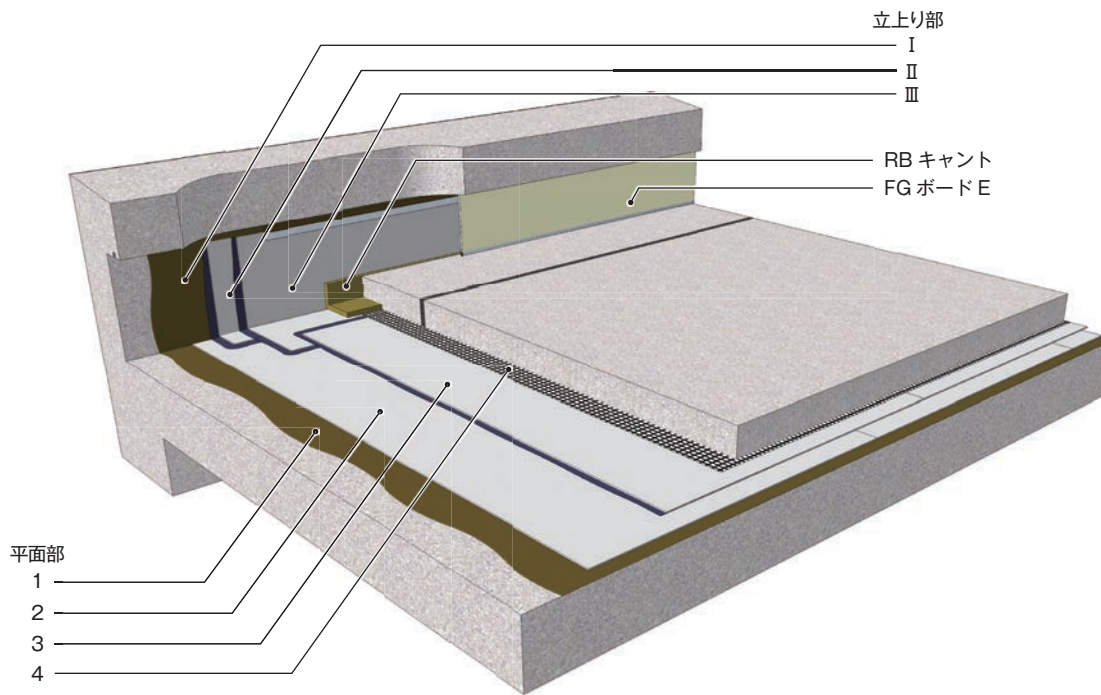
押えコンクリートの上に緑化を施工する場合

植物の根はおどろくほど強く、長い年月の間に押えコンクリートに侵入し防水層を貫通して漏水事故を引き起こすことがあります。

防水層の上に直接耐根層を貼り付けることで、防水層を植物の根から守ることができます。屋上緑化を行う場合には、耐根シート「ルートガードD」を組み込んだ、耐根仕様をご採用ください。



押えコンクリート仕上げ | 非断熱



BANKS工法

BANKS工法 ノンケトル冷熱併用工法

JPX-935

- 適正勾配: 1/100~1/50
- 重量目安: 5.5kg/m²
- 基本耐用年数: 30年

住宅瑕疵担保履行法対応仕様
技術審査証明 A-1.B-1仕様対応

平面部

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	JPX-935
工程 2	強力バンクルーフ	
工程 3	強力バンクベスト	
工程 4	絶縁クロス1000(RBセメント・点貼り)	
工程 5	—	

立上り部

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	JPV-935
工程 II	強力バンクベストV	
工程 III	強力バンクベストV	
工程 IV	—	
工程 V	—	

高耐久仕様

JPX-960

- 適正勾配: 1/100~1/50
- 重量目安: 8.5kg/m²
- 基本耐用年数: 55年

住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	JPX-960
強力バンクルーフ	
強力バンクベストII	
強力バンクベスト	
絶縁クロス1000(RBセメント・点貼り)	

立上り部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	JPV-960
強力バンクベストV	
強力バンクベストV	
強力バンクベストV	

耐根仕様例

JPX-935D

- 適正勾配: 1/100~1/50
- 重量目安: 7kg/m²
- 基本耐用年数: 30年

住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	JPX-935D
強力バンクルーフ	
強力バンクベスト	
ルートガードD (ラップ部:ルートガードテープ貼り)	
絶縁クロス1000(RBセメント・点貼り)	

立上り部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	JPV-935D
強力バンクベストV	
強力バンクベストV	
ルートガードD (ラップ部:ルートガードテープ貼り)	

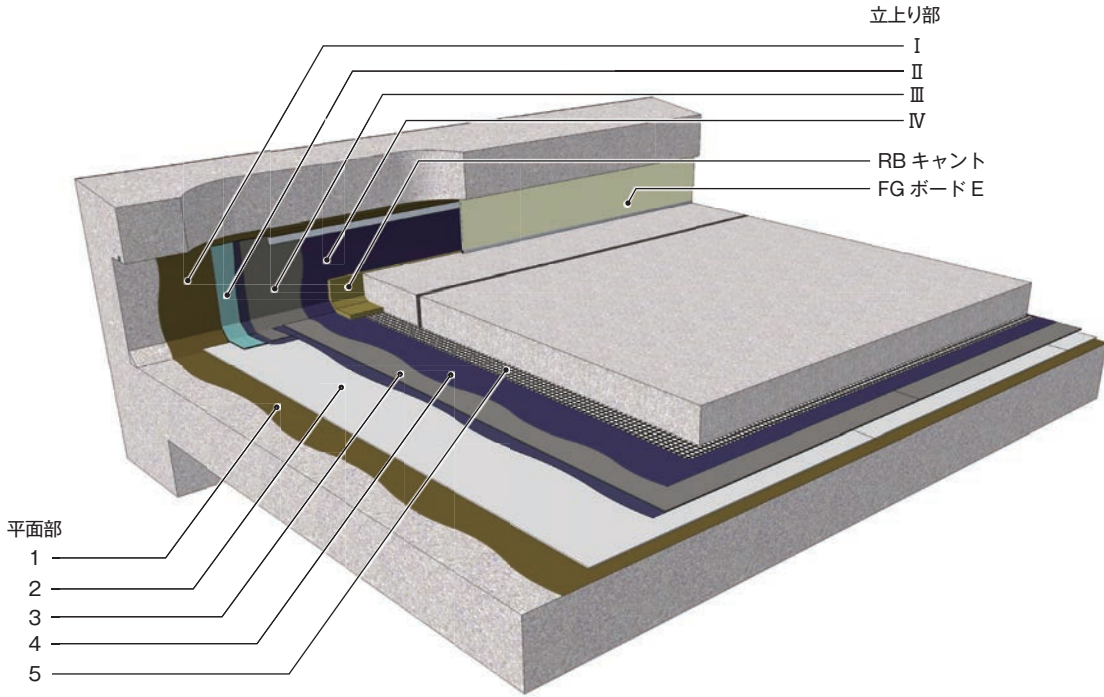
(SPサーモコート 0.8~1.2kg/m²(2回塗り))※

- 立上り部は他のバリエーションもあります。詳細は別冊カタログ「BANKS工法」をご参照ください。
- 季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマーがアスファルトプライマーSS等を用いることもあります。
- 立上りの隅にはRBキャントを使用します。(価格は別途)
- 立上り部乾式保護パネル・FGボードEの価格は別途。
- 貼仕舞は強力ガムシールで処理します。
- ライナーコーピングなど雨仕舞材の価格は別途。
- 密着工法にする場合は、平面部工程2の強力バンクルーフを強力バンクルーフVに替えて施工します。
- ※耐根仕様の立上り部を露出仕様にする場合、SPサーモコートを塗布します。(価格別途)

押えコンクリート仕上げ | 非断熱

防水仕様

押えコンクリート仕上げ(非断熱)



ストライプ工法

ストライプ工法 冷熱併用工法

PX-930

- 適正勾配: 1/100~1/50
- 重量目安: 6.5kg/m²
- 基本耐用年数: 25年
- 住宅瑕疵担保履行法対応仕様
技術審査証明 A-2・B-2仕様対応

平面部

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²
工程 2	強力ストライプZ
工程 3	強力ギル アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²
工程 4	アスタイトM・刷毛塗り 1.5kg/m ²
工程 5	絶縁クロス1000
工程 6	—
工程 7	—

立上り部

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²
工程 II	FV-50
工程 III	強力ギル アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²
工程 IV	アスタイトM・刷毛塗り 1.5kg/m ²
工程 V	—
工程 VI	—

PX-935

- 適正勾配: 1/100~1/50
- 重量目安: 7kg/m²
- 基本耐用年数: 30年
- 住宅瑕疵担保履行法対応仕様
技術審査証明 A-1・B-1仕様対応

平面部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²
強力ストライプZ
強力アドバン アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²
アスタイトM・刷毛塗り 1.5kg/m ²
絶縁クロス1000
—
—

立上り部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²
FV-50
強力アドバン アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²
アスタイトM・刷毛塗り 1.5kg/m ²
—
—

PX-960

- 適正勾配: 1/100~1/50
- 重量目安: 14kg/m²
- 基本耐用年数: 55年
- 住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²
強力ストライプZ
強力ライズ アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²
強力ライズ アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²
強力ライズ アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²
強力ライズ アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²
強力ライズ アスタイトM・刷毛塗り 1.5kg/m ²
絶縁クロス1000

立上り部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²
FV-50
強力ライズ アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²
強力ライズ アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²
強力ライズ アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²
強力ライズ アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²
強力ライズ アスタイトM・刷毛塗り 1.5kg/m ²

PX-935D

- 適正勾配: 1/100~1/50
- 重量目安: 8.5kg/m²
- 基本耐用年数: 30年
- 住宅瑕疵担保履行法対応仕様

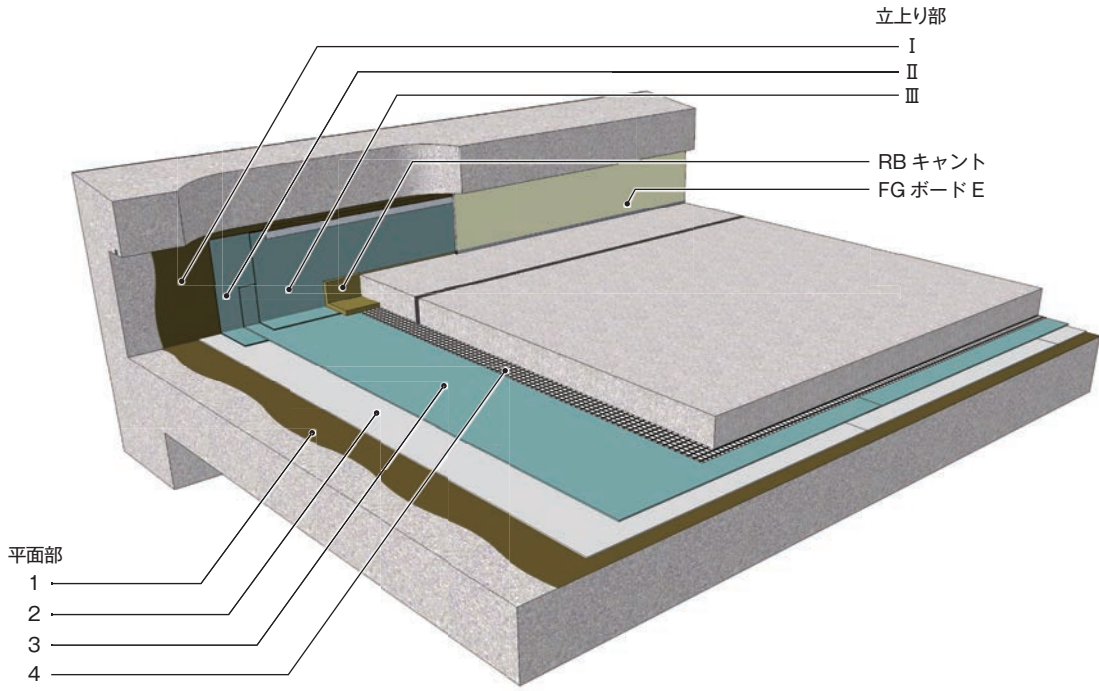
平面部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²
強力ストライプZ
強力アドバン アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²
アスタイトM・刷毛塗り 1.5kg/m ²
ルートガードD (ラップ部: ルートガードテープ貼り)
絶縁クロス1000 (RBセメント・点貼り)
—

立上り部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²
FV-50
強力アドバン アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²
アスタイトM・刷毛塗り 1.5kg/m ²
ルートガードD (ラップ部: ルートガードテープ貼り)
(SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り))※

・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマーかアスファルトプライマーSS等を用いることもあります。
 ・立上り部では、FV-50の代わりに新強力エコフィットFを用いる場合や、強力アドバンを溶融アスファルトにて貼りつける場合もあります。
 ・立上りの隅にはRBキャントを使用します。(価格は別途)
 ・立上り部乾式保護パネル・FGボードEの価格は別途。
 ・貼仕舞は強力ゴムシールで処理します。
 ・ライナーコーピングsなど雨仕舞材の価格は別途。
 ・アスタイトMに替えてクリンタイトJも使用できます。
 ※耐根仕様の立上り部を露出仕様にする場合、SPサーモコートを塗布します。(価格別途)



エコフィット工法

エコフィット工法 冷工法

PF-930

- 適正勾配: 1/100~1/50
- 重量目安: 4kg/m²
- 基本耐用年数: 25年

住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PF-930
工程 2	新強力エコフィットFS	
工程 3	新強力エコフィットF (端部 ガムホット)	
工程 4	絶縁クロス1000(ガムラップまたはRBセメント・点貼り)	
工程 5	—	

立上り部

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PF-V-930
工程 II	新強力エコフィットF	
工程 III	新強力エコフィットF (端部 ガムホット)	
工程 IV	—	
工程 V	—	

耐根仕様

PF-930D

- 適正勾配: 1/100~1/50
- 重量目安: 5.5kg/m²
- 基本耐用年数: 25年

住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PF-930D
新強力エコフィットFS	
新強力エコフィットF (端部 ガムホット)	
ルートガードD (ラップ部: ルートガードテープ貼り)	
絶縁クロス1000(ガムラップまたはRBセメント・点貼り)	

立上り部

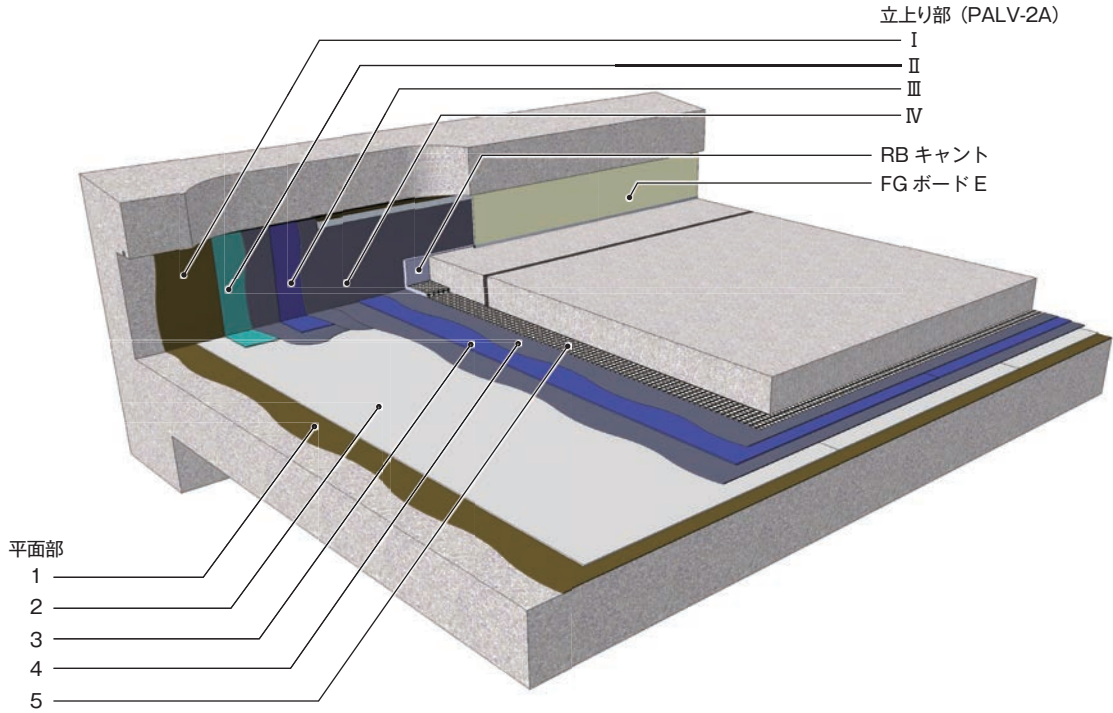
水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PF-V-930D
新強力エコフィットF	
新強力エコフィットF (端部 ガムホット)	
ルートガードD (ラップ部: ルートガードテープ貼り)	
{SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)}※	

・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマーかアスファルトプライマーSS等を用いることもあります。
 ・立上りの隅にはRBキャントを使用します。(価格は別途)
 ・立上り部乾式保護パネル・FGボードEの価格は別途。
 ・貼仕舞はGCラインで処理します。ただし、GCラインはアスファルトプライマーおよびプライマーSSには接着しないので注意してください。
 ・端部ガムホットの代わりにGCラインを使用する場合もあります。
 ・現場の状況などで新強力エコフィットFSの代わりに新強力エコフィットFを用いることもあります。
 ・ライナーコーピングスなど雨仕舞材の価格は別途。
 ※耐根仕様の立上り部を露出仕様にする場合、SPサーモコートを塗布します。(価格別途)

押えコンクリート仕上げ | 非断熱

防水仕様

押えコンクリート仕上げ(非断熱)



アスレイヤ工法

改質アスファルト防水常温複合法

PAL-2S

適正勾配: 1/100~1/50 重量目安: 5.5kg/m²

技術審査証明 A-1・B-1仕様対応

平面部

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PAL-2S
工程 2	レイヤベースFS	
工程 3	レイヤルーフ レイヤコート・流し貼り 1.2kg/m ²	
工程 4	レイヤコート 0.8kg/m ²	
工程 5	絶縁クロス1000(レイヤコート点貼り) ※平面部をモルタル仕上げにする場合、絶縁クロス1000は省略。	

PAL-2M

適正勾配: 1/100~1/50 重量目安: 6.5kg/m²

技術審査証明 A-1仕様対応

平面部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PAL-2M
レイヤベースF	
レイヤルーフ レイヤコート・流し貼り 1.2kg/m ²	
レイヤコート 0.8kg/m ²	
絶縁クロス1000(レイヤコート点貼り) ※平面部をモルタル仕上げにする場合、絶縁クロス1000は省略。	

立上り部 (PAL-2S, 2M共通。いずれかを選択のこと)

保護工法(乾式パネル、モルタル、コンクリート押え等)

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PALV-2A
工程 II	レイヤベースF	レイヤルーフ	
工程 III	レイヤルーフ	レイヤコート 立上り用・塗布貼り 1.2kg/m ²	
工程 IV	レイヤコート 立上り用・塗布貼り 1.2kg/m ²	レイヤコート 立上り用・塗布貼り 1.2kg/m ²	
工程 V	(Pシート*) レイヤコート 立上り用 0.8kg/m ²	レイヤコート 立上り用 0.8kg/m ²	
工程 VI	—	—	
工程 VII	—	—	
工程 VIII	—	—	

露出工法(砂付ルーフィング仕上げ)

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PALV-2H
レイヤコート 立上り用 0.8kg/m ²	
マットFC	
レイヤコート 立上り用 1.2kg/m ²	
レイヤコート 立上り用 0.8kg/m ²	
マットFC	
レイヤコート 立上り用 1.2kg/m ²	
(Pシート*) レイヤコート 立上り用 0.8kg/m ²	

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PALV-2C
レイヤベースF	
レイヤルーフ	
レイヤコート 立上り用・塗布貼り 1.2kg/m ²	
レイヤコート 立上り用 0.8kg/m ²	
新強力エコフィットC	
SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	
—	

- ・密着工法の場合、保護層打設までの間にふくれが発生することがあるため、状況に応じて絶縁工法の採用を検討してください。
- ・立上り部にレイヤベースを用いて複層仕上げとする仕様、ならびに立上り部露出仕上げとする仕様では、端部に押え金物による固定を行うことを原則とします。
- ・立上り部を押え金物を用いずに納める場合はご相談ください。
- ・水性プライマーASの代わりにOTプライマーA(0.2kg/m)を使用する場合があります。
- ・保護モルタル工事の留意点については50ページを参照。 ・RBキヤント、FGボードEの価格は別途。





押えコンクリート仕上げ [断熱]

外断熱工法を押えコンクリート仕上げで行う防水工法です。
 押えコンクリートの荷重に負けない、高い圧縮強度をもつ断熱材
 「RBボード(またはスタイロフォームRB-GK-II)」を使用します。

断熱材～RBボード／スタイロフォームRB-GK-II

連続押し発泡による気密性の高い独立気泡で構成された
 硬質ポリスチレンフォーム製の断熱材です。
 (熱伝導率:0.028W/m·K)



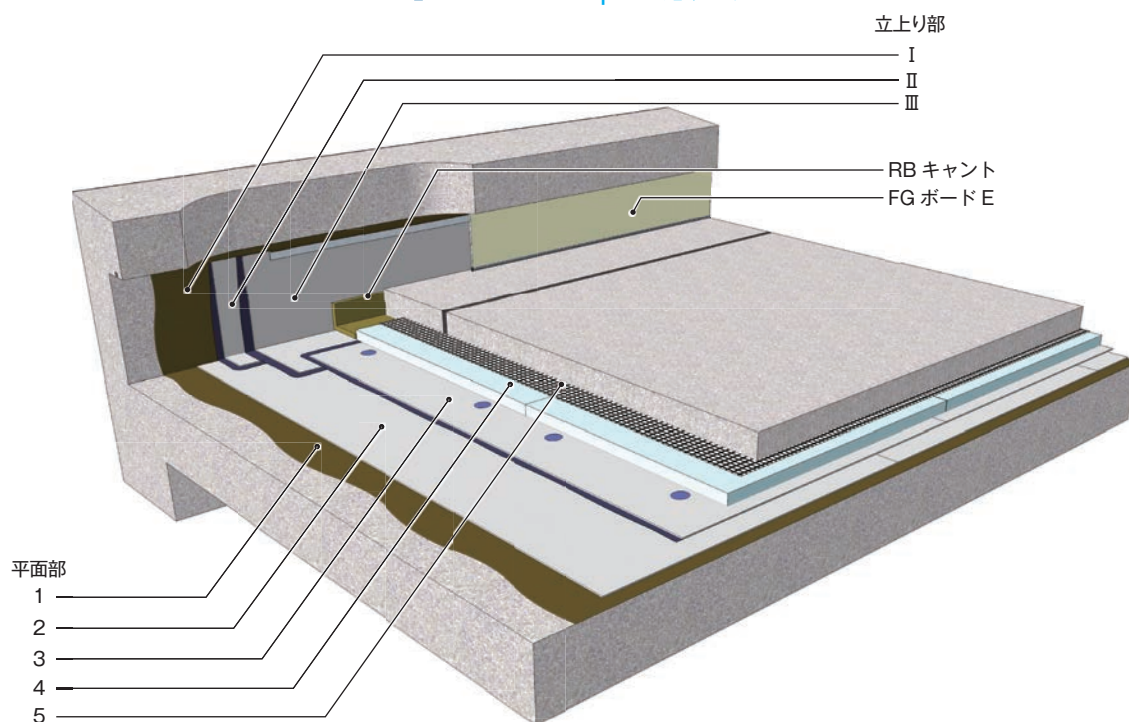
■住宅の省エネルギー基準に基づく断熱材の厚さ(鉄筋コンクリート造建物)

都道府県名 ^{※1}	建築物省エネ基準 国土交通省告示266号2016年(平成28年)				次世代省エネ基準 建設省告示998号1999年(平成11年)				新省エネ基準 建設省告示第2号 1992年(平成4年)		
	地域区分	断熱材の熱抵抗値 【屋根】 m ² ·K/W	断熱材の厚さ		地域区分	断熱材の熱抵抗値 【屋根】 m ² ·K/W	断熱材の厚さ		断熱材の熱抵抗値 【屋根】 m ² ·K/W	断熱材の厚さ	
			断熱材種類 ^{※2}	RBボード スタイロフォーム			断熱材種類 ^{※2}	RBボード スタイロフォーム		断熱材種類 ^{※2}	RBボード スタイロフォーム
北海道	1・2	3.0	85	85	I	3.0	85	85	2.9	85	85
青森県・岩手県・秋田県	3	2.2	65	65	II	2.2	65	65	1.6	50	50
宮城県・山形県・福島県・新潟県・長野県・栃木県	4	2.0	60	60	III	2.0	60	60	1.1	35	35
茨城県・群馬県・山梨県・富山県・石川県・福井県・岐阜県・滋賀県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・静岡県・愛知県・三重県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県	5・6	2.0	60	60	IV	2.0	60	60	1.1	35	35
宮崎県・鹿児島県	7	2.0	60	60	V	2.0	60	60	1.1	35	35
沖縄県	8	1.4	40	40	VI	2.0	60	60	1.1	35	35

※1 市町村によっては他の地域に区分されることがあります。
 ※2 (財)住宅建築省エネルギー機構「住宅の次世代省エネルギー基準と指針」で
 区別されている断熱材の種類(押出法ポリスチレンフォーム3種)での厚み。
 ※3 RBボード、スタイロフォームの熱抵抗値から計算した厚み。
 ※破線部の8県は、新省エネ基準ではⅢ地域に区分されています。

(注意事項)
 ・省エネ基準の適合判定以外に適用することは
 できません。

押えコンクリート仕上げ | 断熱



防水仕様

押えコンクリート仕上げ(断熱)

BANKS工法

ノンケトル冷熱併用工法

JPX-935R

- 適正勾配: 1/100~1/50
- 重量目安(断熱35mm): 7.5kg/m²
- 基本耐用年数: 35年
- 住宅瑕疵担保履行法対応仕様
- 技術審査証明 AI-1.BI-1仕様対応

平面部

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	JPX-935R
工程 2	強力バンクルーフ	
工程 3	強力バンクベスト	
工程 4	RBボードまたはスタイロフォームRB-GK-II RBセメント・点貼り 0.5kg/m ²	
工程 5	絶縁クロス1000(RBセメント・点貼り)	
工程 6	—	
工程 7	—	

立上り部

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	JPV-935
工程 II	強力バンクベストV	
工程 III	強力バンクベストV	
工程 IV	—	
工程 V	—	

高耐久仕様

JPX-960R

- 適正勾配: 1/100~1/50
- 重量目安(断熱35mm): 10.5kg/m²
- 基本耐用年数: 60年
- 住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	JPX-960R
強力バンクルーフ	
強力バンクベストII	
強力バンクベスト	
RBボードまたはスタイロフォームRB-GK-II RBセメント・点貼り 0.5kg/m ²	
絶縁クロス1000(RBセメント・点貼り)	
—	

立上り部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	JPV-960
強力バンクベストV	
強力バンクベストV	
強力バンクベストV	

耐根仕様例

JPX-935RD

- 適正勾配: 1/100~1/50
- 重量目安(断熱35mm): 9kg/m²
- 基本耐用年数: 35年
- 住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	JPX-935RD
強力バンクルーフ	
強力バンクベスト	
ルートガードD (ラップ部: ルートガードテープ貼り)	
RBボードまたはスタイロフォームRB-GK-II RBセメント・点貼り 0.5kg/m ²	
ルートガードテープ(目地部)	
絶縁クロス1000(RBセメント・点貼り)	

立上り部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	JPV-935D
強力バンクベストV	
強力バンクベストV	
ルートガードD (ラップ部: ルートガードテープ貼り)	
(SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り))※	

- 立上り部は他のバリエーションもあります。詳細は別冊カタログ「BANKS工法」をご参照ください。
- 季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマーかアスファルトプライマーSS等を用いることもあります。
- 立上り隅にはRBキャントを使用します。(価格は別途)
- 立上り部乾式保護パネル・FGボードEの価格は別途。
- 貼仕舞は強力ガムシールで処理します。
- ライナーコーピングなど雨仕舞材の価格は別途。
- 密着工法にする場合は、平面部工程2の強力バンクルーフを強力バンクルーフVに替えて施工します。
- ※耐根仕様の立上り部を露出仕様にする場合、SPサーモコートを塗布します。(価格別途)

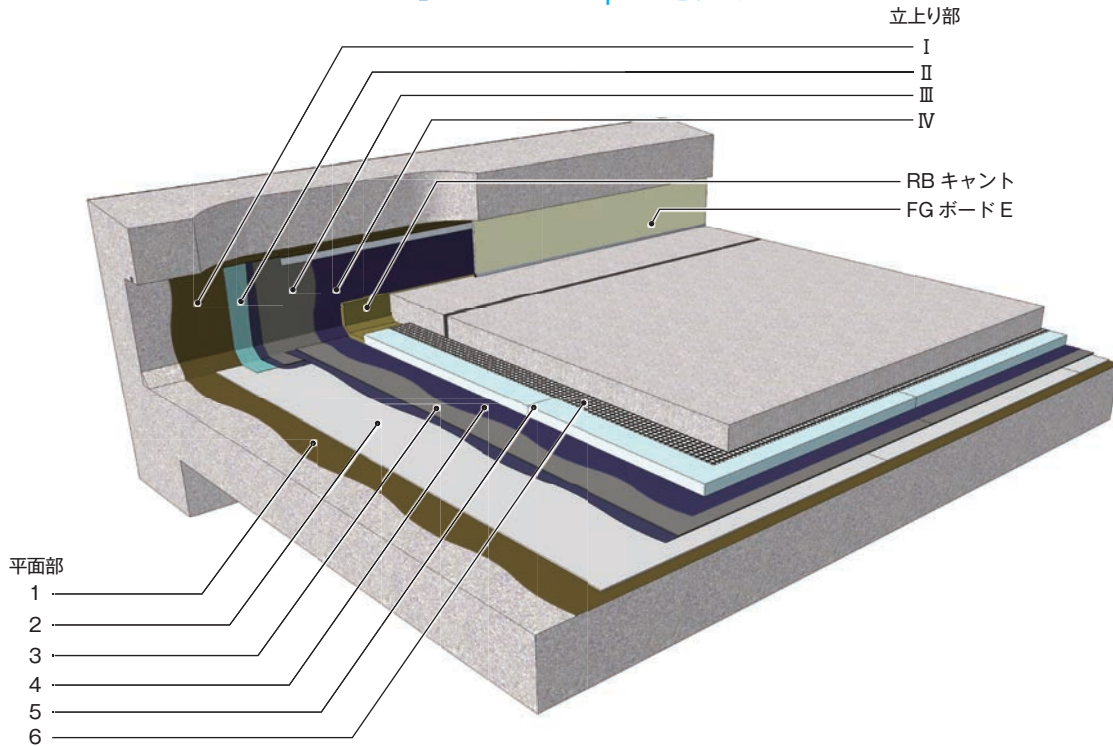
省エネ基準に基づく各地区の断熱材厚さについては、35ページをご参照ください。

BANKS

押えコンクリート仕上げ | 断熱

防水仕様

押えコンクリート仕上げ(断熱)



ストライプ工法

ストライプ工法 冷熱併用工法

PX-930R

- 適正勾配: 1/100~1/50
- 重量目安(断熱35mm): 8.5kg/m²
- 基本耐用年数: 30年
- 住宅瑕疵担保履行法対応仕様
技術審査証明 AI-2・BI-2仕様対応

平面部

工程 1	水性プライマーAS	0.2kg/m ²
工程 2	強力ストライプZ	
工程 3	強力ギル	
工程 4	アスタイトM・流し貼り	1.2kg/m ²
工程 5	アスタイトM・刷毛塗り	1.5kg/m ²
工程 6	RBボードまたはスタイロフォームRB-GK-II	
工程 7	—	
工程 8	—	

立上り部

工程 I	水性プライマーAS	0.2kg/m ²
工程 II	FV-50	
工程 III	強力ギル	
工程 IV	アスタイトM・流し貼り	1.2kg/m ²
工程 V	アスタイトM・刷毛塗り	1.5kg/m ²
工程 VI	—	

PX-935R

- 適正勾配: 1/100~1/50
- 重量目安(断熱35mm): 8.5kg/m²
- 基本耐用年数: 35年
- 住宅瑕疵担保履行法対応仕様
技術審査証明 AI-1・BI-1仕様対応

平面部

水性プライマーAS	0.2kg/m ²
強力ストライプZ	
強力アドバン	
アスタイトM・流し貼り	1.2kg/m ²
アスタイトM・刷毛塗り	1.5kg/m ²
RBボードまたはスタイロフォームRB-GK-II	
絶縁クロス1000(アスタイトM・点貼り)	
—	
—	

立上り部

水性プライマーAS	0.2kg/m ²
FV-50	
強力アドバン	
アスタイトM・流し貼り	1.2kg/m ²
アスタイトM・刷毛塗り	1.5kg/m ²
—	
—	

高耐久仕様 PX-960R

- 適正勾配: 1/100~1/50
- 重量目安(断熱35mm): 15.5kg/m²
- 基本耐用年数: 60年
- 住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

水性プライマーAS	0.2kg/m ²
強力ストライプZ	
強力ライズ	
アスタイトM・流し貼り	1.2kg/m ²
強力ライズ	
アスタイトM・流し貼り	1.2kg/m ²
強力ライズ	
アスタイトM・流し貼り	1.2kg/m ²
アスタイトM・刷毛塗り	1.5kg/m ²
RBボードまたはスタイロフォームRB-GK-II	
絶縁クロス1000(アスタイトM・点貼り)	

立上り部

水性プライマーAS	0.2kg/m ²
FV-50	
強力ライズ	
アスタイトM・流し貼り	1.2kg/m ²
強力ライズ	
アスタイトM・流し貼り	1.2kg/m ²
強力ライズ	
アスタイトM・流し貼り	1.2kg/m ²
アスタイトM・刷毛塗り	1.5kg/m ²

耐根仕様例 PX-935RD

- 適正勾配: 1/100~1/50
- 重量目安(断熱35mm): 10.5kg/m²
- 基本耐用年数: 35年
- 住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

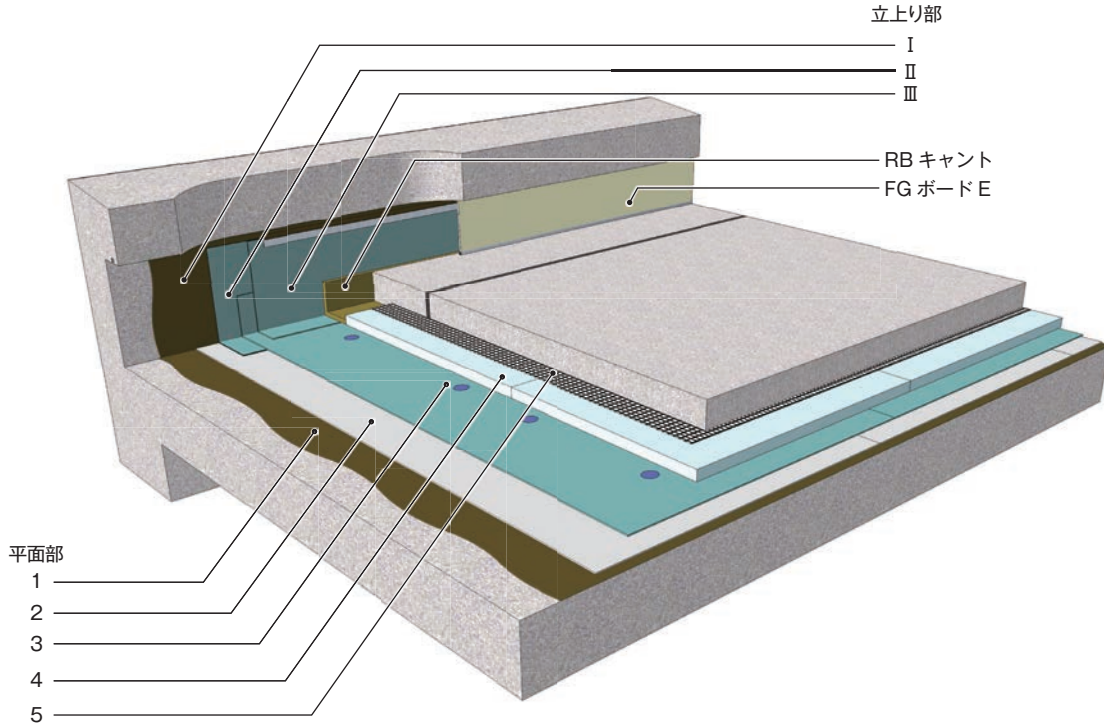
水性プライマーAS	0.2kg/m ²
強力ストライプZ	
強力アドバン	
アスタイトM・流し貼り	1.2kg/m ²
アスタイトM・刷毛塗り	1.5kg/m ²
ルートガードD (ラップ部: ルートガードテープ貼り)	
RBボードまたはスタイロフォームRB-GK-II RBセメント・点貼り	0.5kg/m ²
ルートガードテープ(目地部)	
絶縁クロス1000(RBセメント・点貼り)	

立上り部

水性プライマーAS	0.2kg/m ²
FV-50	
強力アドバン	
アスタイトM・流し貼り	1.2kg/m ²
アスタイトM・刷毛塗り	1.5kg/m ²
ルートガードD (ラップ部: ルートガードテープ貼り)	
(SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り))※	

・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマーかアスファルトプライマーSS等を用いることもあります。
 ・立上り部では、FV-50の代わりに新強力エコフィットFを用いる場合や、強力アドバンを溶解アスファルトにて貼りつける場合もあります。
 ・立上り隅にはRBキャントを使用します。(価格は別途)
 ・立上り部乾式保護パネル・FGボードEの価格は別途。
 ・貼仕舞は強力ガムシールで処理します。
 ・ライナーコーピングなど雨仕舞材の価格は別途。アスタイトMに替えてクリンタイトJも使用できます。
 ※耐根仕様の立上り部を露出仕様にする場合、SPサーモコートを塗布します。(価格別途)

省エネ基準に基づく各地区の断熱材厚さについては、35ページをご参照ください。



エコフィット工法
冷工法

PF-930R

適正勾配: 1/100~1/50
重量目安(断熱35mm): 6kg/m²
基本耐用年数: 30年
住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PF-930R
工程 2	新強力エコフィットFS	
工程 3	新強力エコフィットF (端部 ガムホット)	
工程 4	RBボードまたはスタイロフォームRB-GK-II RBセメント・点貼り 0.5kg/m ²	
工程 5	絶縁クロス1000(RBセメント・点貼り)	
工程 6	—	
工程 7	—	

立上り部

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PF-V-930
工程 II	新強力エコフィットF	
工程 III	新強力エコフィットF (端部 ガムホット)	
工程 IV	—	
工程 V	—	

耐根仕様

PF-930RD

適正勾配: 1/100~1/50
重量目安(断熱35mm): 7.5kg/m²
基本耐用年数: 30年
住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PF-930RD
新強力エコフィットFS	
新強力エコフィットF (端部 ガムホット)	
ルートガードD (ラップ部: ルートガードテープ貼り)	
RBボードまたはスタイロフォームRB-GK-II RBセメント・点貼り 0.5kg/m ²	
ルートガードテープ(目地部)	
絶縁クロス1000(RBセメント・点貼り)	

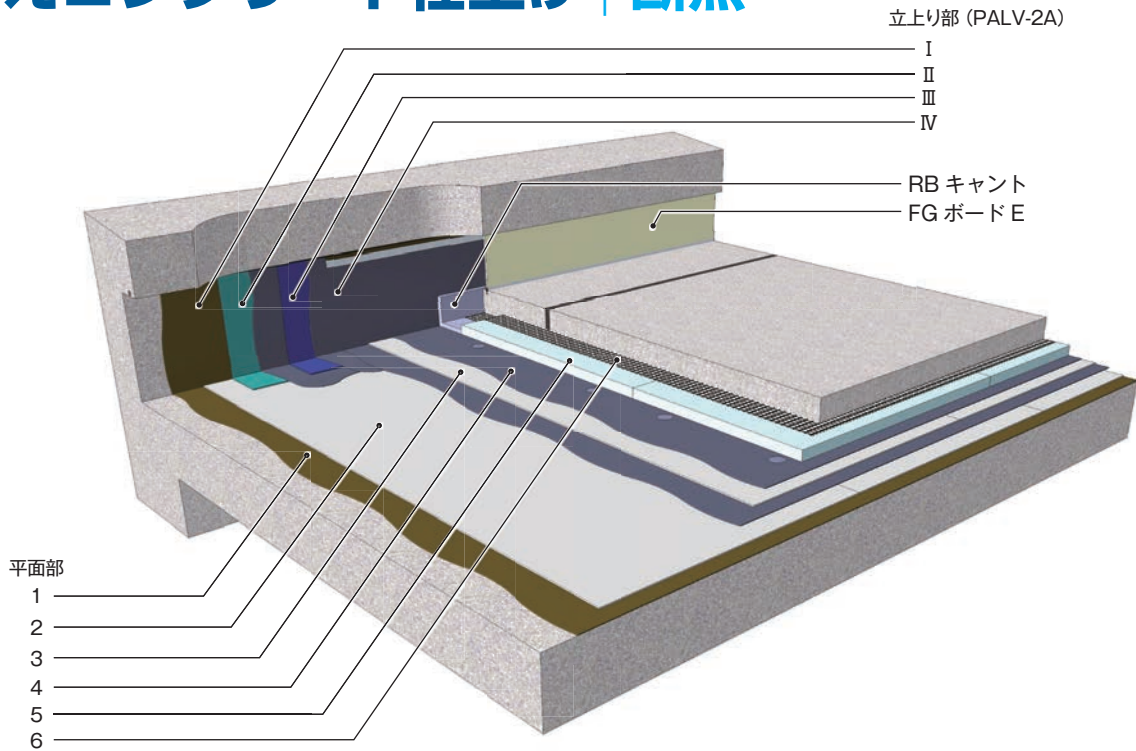
立上り部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PF-V-930D
新強力エコフィットF	
新強力エコフィットF (端部 ガムホット)	
ルートガードD (ラップ部: ルートガードテープ貼り)	
(SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り))※	

・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマーかアスファルトプライマーSS等を用いることもあります。
・立上り隅にはRBキャントを使用します。(価格は別途)
・立上り部乾式保護パネル・FGボードEの価格は別途。
・貼仕舞はGCラインで処理します。ただし、GCラインはアスファルトプライマーおよびプライマーSSには接着しないので注意してください。
・端部ガムホットの代わりにGCラインを使用する場合もあります。
・現場の状況などで新強力エコフィットFSの代わりに新強力エコフィットFを用いることもあります。
・ライナーコーピング s など雨仕舞材の価格は別途。
※耐根仕様の立上り部を露出仕様にする場合、SPサーモコートを塗布します。(価格別途)

省エネ基準に基づく各地区の断熱材厚さについては、35ページをご参照ください。

押えコンクリート仕上げ | 断熱



アスレイヤ工法

改質アスファルト防水常温複合法

PAL-200S

適正勾配: 1/100~1/50 重量目安(断熱35mm): 7kg/m²

技術審査証明 AI-1・BI-1仕様対応

平面部

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg	PAL-200S
工程 2	レイヤベースFS	
工程 3	レイヤルーフ レイヤコート・流し貼り 1.2kg	
工程 4	レイヤコート 0.8kg	
工程 5	RBボードまたはスタイロフォームRB-GK-II (レイヤコート点貼り)	
工程 6	絶縁クロス1000(レイヤコート点貼り)	

PAL-200M

適正勾配: 1/100~1/50 重量目安(断熱35mm): 7.5kg/m²

技術審査証明 AI-1仕様対応

平面部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PAL-200M
レイヤベースF	
レイヤルーフ レイヤコート・流し貼り 1.2kg/m ²	
レイヤコート 0.8kg/m ²	
RBボードまたはスタイロフォームRB-GK-II (レイヤコート点貼り)	
絶縁クロス1000(レイヤコート点貼り)	

立上り部 (PAL-200S, 200M共通。いずれかを選択のこと)

保護工法(乾式パネル、モルタル、コンクリート押え等)

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PALV-2A	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PALV-2D
工程 II	レイヤベースF		レイヤルーフ レイヤコート 立上り用・塗布貼り 1.2kg/m ²	
工程 III	レイヤルーフ レイヤコート 立上り用・塗布貼り 1.2kg/m ²		レイヤルーフ レイヤコート 立上り用・塗布貼り 1.2kg/m ²	
工程 IV	(Pシート*) レイヤコート 立上り用 0.8kg/m ² *立上り部をモルタル仕様とする場合に使用		(Pシート*) レイヤコート 立上り用 0.8kg/m ² *立上り部をモルタル仕様とする場合に使用	
工程 V	—		—	
工程 VI	—		—	
工程 VII	—		—	
工程 VIII	—		—	

露出工法(砂付ルーフィング仕上げ)

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PALV-2C
レイヤベースF	
レイヤルーフ レイヤコート 立上り用・塗布貼り 1.2kg/m ²	
レイヤコート 立上り用 0.8kg/m ²	
新強力エコフィットC	
SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	
—	
—	

- ・密着工法の場合、保護層打設までの間にふくれが発生することがあるため、状況に応じて絶縁工法の採用を検討してください。
- ・立上り部にレイヤベースを用いて復層仕上げとする仕様、ならびに立上り露出仕上げとする仕様では、端部に押え金物による固定を行うことを原則とします。
- ・立上り部を押え金物を用いずに納める場合はご相談ください。
- ・水性プライマーASの代わりにOTプライマーA(0.2kg/m²)を使用する場合もあります。
- ・保護モルタル工事の留意点については50ページを参照。
- ・RBキャント、FGボードEの価格は別途。

省エネ基準に基づく各地区の断熱材厚さについては、35ページをご参照ください。

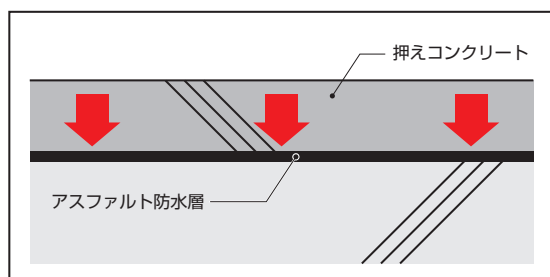
アスファルト防水が押えコンクリート仕上げに適している理由

アスファルト防水は、防水層の上に押えコンクリートを打設して仕上げる工法に適しています。それは、アスファルト防水がルーフィングを数枚積層する工法で、他の防水工法に比べて層が厚く（4～7mm程度）、荷重や衝撃などに対して比較的強い防水層を形成できるためです。

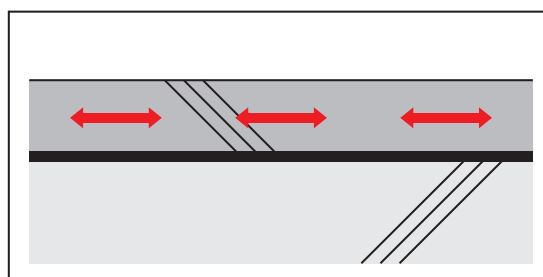
■押えコンクリート仕上げに要求される防水層の性能

- ① 押えコンクリートの荷重（約 $180\text{kg}/\text{m}^2$ ※）に耐えられる ※厚さ80mmの場合
- ② 押えコンクリートの挙動（膨張収縮）に耐えられる
- ③ コンクリートのアルカリ成分の影響を受けにくい
- ④ 押えコンクリート打設時の損傷を受けにくい

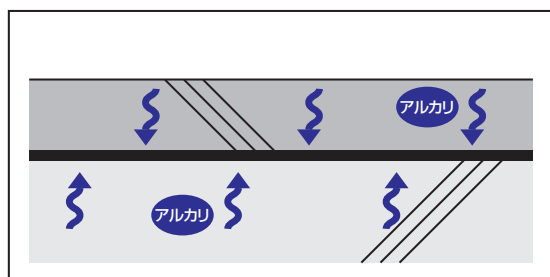
①



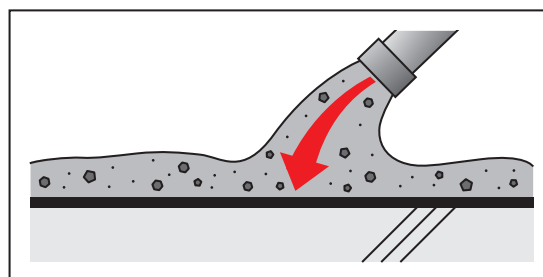
②



③



④



押えコンクリートが紫外線や温度変化から防水層を保護するため、その寿命は露出防水と比べて長くなる傾向にあります。（65 ページ「耐用年数の設定」参照）

屋上の有効活用だけでなく、防水層耐久性向上にも押えコンクリート仕上げは貢献しています。

各種仕上げ材

※施工上の注意事項は砂付き仕上げ、押えコンクリート仕上げのページを参照してください。

※防湿層付き断熱仕様はクールボンドの代わりに水性プライマーASおよびダンパーシートにてギルフォームを貼り付けます。(仕様番号例: JPX-935GF・BC)

※省エネ基準に基づく断熱材の厚さはP21またはP35をご参照ください。

バリキャップ仕上げ アスファルトマスチック化粧板

断熱仕様の場合にはメンテナンス等の歩行用途程度となります。



ステップスクエア500仕上げ 天然石細粒歩行化粧板

断熱仕様の場合にはメンテナンス等の歩行用途程度となります。



エイブロック仕上げ 歩行用セメント成型板

建物の高さにより使用制限があります。



BANKS工法

BANKS工法

ノンケトル冷熱併用工法

非断熱 立上りはJSV-920を適用(P.18参照)

断熱 立上りはJSV-920Hを適用(P.22参照)

JPX-935・BC

適正勾配: 1/100~1/20

重量目安: 15.5kg/m²

耐用年数: 30年

JPX-935G・BC

適正勾配: 1/100~1/20

重量目安(断熱35mm): 17.5kg/m²

耐用年数: 25年

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	ギルフォーム クールボンド・点貼り 0.35kg/m ²
工程 2	強カバンクルーフ	強カバンクルーフ
工程 3	強カバンクベスト	強カバンクベスト
工程 4	バリキャップP	バリキャップP

※工程3を強カバンクフェースに替えて、レイコーセメントを全面塗布(0.8kg/m²)した後、バリキャップを貼る場合もあります。

JPX-935・ST

適正勾配: 1/100~1/20

重量目安: 17kg/m²

耐用年数: 30年

JPX-935G・ST

適正勾配: 1/100~1/20

重量目安(断熱35mm): 19kg/m²

耐用年数: 25年

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	ギルフォーム クールボンド・点貼り 0.35kg/m ²
工程 2	強カバンクルーフ	強カバンクルーフ
工程 3	強カバンクベスト	強カバンクベスト
工程 4	ステップスクエア500	ステップスクエア500

JPX-935・EB

適正勾配: 1/100~1/20

重量目安: 61kg/m²

耐用年数: 30年

JPX-935R・EB

適正勾配: 1/100~1/20

重量目安(断熱35mm): 63kg/m²

耐用年数: 35年

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	水性プライマーAS 0.2kg/m ²
工程 2	強カバンクルーフ	強カバンクルーフ
工程 3	強カバンクベスト	強カバンクベスト
工程 4	エイマット	RBボードまたはスタイロフォームRB-GK-II RBセメント・点貼り 0.5kg/m ²
工程 5	エイブロック	エイマット
工程 6	—	エイブロック

※立上りはJSV-920を適用



ストライプ工法

冷熱併用工法

非断熱 立上りはSV-920を適用(P.19参照)

断熱 立上りはSV-920を適用(P.19参照)

PX-935・BC

- 適正勾配: 1/100~1/20
- 重量目安: 17kg/m²
- 耐用年数: 30年

PX-935G・BC

- 適正勾配: 1/100~1/20
- 重量目安(断熱35mm): 19kg/m²
- 耐用年数: 25年

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	ギルフォーム クールボンド・点貼り 0.35kg/m ²
工程 2	強カストライプZ	強カストライプZ
工程 3	強カアドバン アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²	強カアドバン アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²
工程 4	バリキャップ アスタイトM 1.5kg/m ²	バリキャップ アスタイトM 1.5kg/m ²



エコフィット工法

冷工法

非断熱 立上りはSFV-915を適用(P.20参照)

断熱 立上りはSFV-915を適用(P.20参照)

PF-930・BC

- 適正勾配: 1/100~1/20
- 重量目安: 14kg/m²
- 耐用年数: 25年

PF-930G・BC

- 適正勾配: 1/100~1/20
- 重量目安(断熱35mm): 16kg/m²
- 耐用年数: 20年

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	ギルフォーム (クールボンド・点貼り) 0.35kg/m ²
工程 2	新強カエコフィットFS	新強カエコフィットFS
工程 3	ガムロンMGベースB	ガムロンMGベースB
工程 4	バリキャップP	バリキャップP

PX-935・ST

- 適正勾配: 1/100~1/20
- 重量目安: 18.5kg/m²
- 耐用年数: 30年

PX-935G・ST

- 適正勾配: 1/100~1/20
- 重量目安(断熱35mm): 20.5kg/m²
- 耐用年数: 25年

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	ギルフォーム クールボンド・点貼り 0.35kg/m ²
工程 2	強カストライプZ	強カストライプZ
工程 3	強カアドバン アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²	強カアドバン アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²
工程 4	アスタイトM・刷毛塗り 1.5kg/m ²	アスタイトM・刷毛塗り 1.5kg/m ²
工程 5	ステップスクエア500	ステップスクエア500

PF-930・ST

- 適正勾配: 1/100~1/20
- 重量目安: 15.5kg/m²
- 耐用年数: 25年

PF-930G・ST

- 適正勾配: 1/100~1/20
- 重量目安(断熱35mm): 17.5kg/m²
- 耐用年数: 20年

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	ギルフォーム クールボンド・点貼り 0.35kg/m ²
工程 2	新強カエコフィットFS	新強カエコフィットFS
工程 3	新強カエコフィットF (端部ガムラップ)	新強カエコフィットF (端部ガムラップ)
工程 4	ステップスクエア500	ステップスクエア500

PX-935・EB

- 適正勾配: 1/100~1/20
- 重量目安: 62.5kg/m²
- 耐用年数: 30年

PX-935R・EB

- 適正勾配: 1/100~1/20
- 重量目安(断熱35mm): 64kg/m²
- 耐用年数: 35年

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	水性プライマーAS 0.2kg/m ²
工程 2	強カストライプZ	強カストライプZ
工程 3	強カアドバン アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²	強カアドバン アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²
工程 4	アスタイトM・刷毛塗り 1.5kg/m ²	アスタイトM・刷毛塗り 1.5kg/m ²
工程 5	エイマツ	RBボードまたはスタイロフォームRB-GK-II
工程 6	エイブロック	エイマツ
工程 7	—	エイブロック

PF-930・EB

- 適正勾配: 1/100~1/20
- 重量目安: 59.5kg/m²
- 耐用年数: 25年

PF-930R・EB

- 適正勾配: 1/100~1/20
- 重量目安(断熱35mm): 61.5kg/m²
- 耐用年数: 30年

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	水性プライマーAS 0.2kg/m ²
工程 2	新強カエコフィットFS	新強カエコフィットFS
工程 3	新強カエコフィットF	新強カエコフィットF (端部ガムラップ)
工程 4	エイマツ	RBボードまたはスタイロフォームRB-GK-II RBセメント・点貼り 0.5kg/m ²
工程 5	エイブロック	エイマツ
工程 6	—	エイブロック

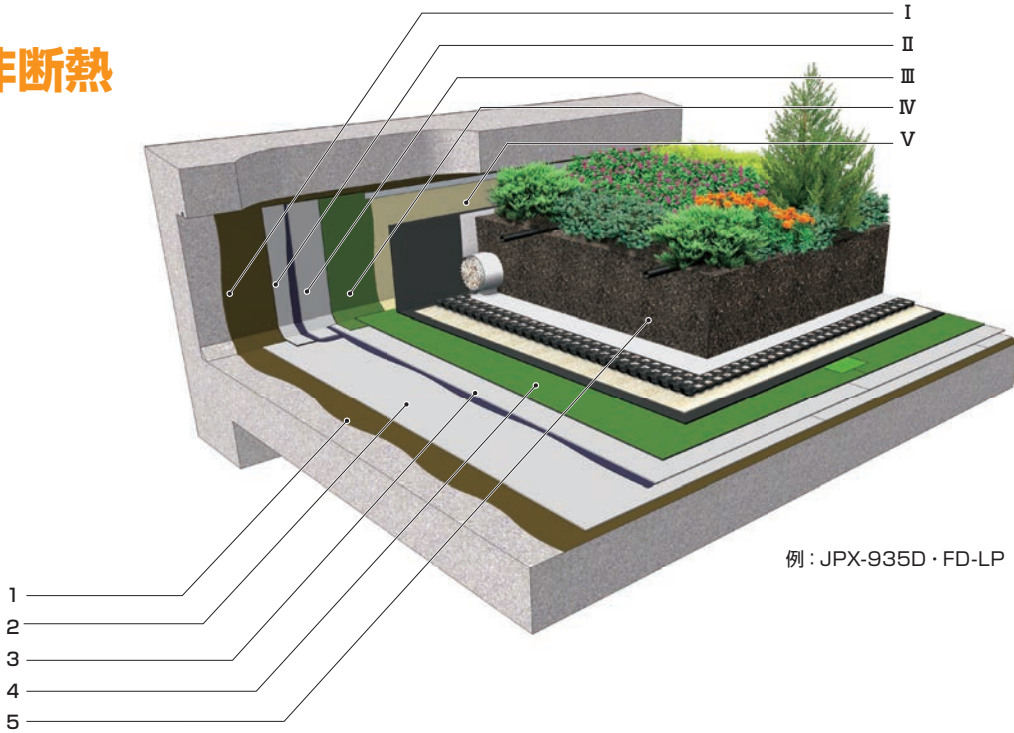
注)セメント製品(エイブロック)は現場の状況によりエフロレッセンス(白華)が発生する場合があります。

屋上緑化仕上げ(耐根仕様)

防水仕様

屋上緑化仕上げ(耐根仕様・非断熱)

非断熱



例：JPX-935D・FD-LP

BANKS工法
ノンケトル冷熱併用工法

ストライプ工法
冷熱併用工法

エコフィット工法
冷工法

JPX-935D・FD-LP

適正勾配: 1/100~1/50
重量目安: 7kg/m²(植栽含まず)

住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	JPX-935D・FD-LP
工程 2	強力バンクルーフ	
工程 3	強力バンクベスト	
工程 4	ルートガードD (ラップ部:ルートガードテープ貼り)	
工程 5	屋上緑化システム FD-LP工法	
工程 6	—	

PX-935D・FD-LP

適正勾配: 1/100~1/50
重量目安: 8kg/m²(植栽含まず)

住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PX-935D・FD-LP
強力ストライプZ	
強力アドバン アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²	
アスタイトM・刷毛塗り 1.5kg/m ²	
ルートガードD (ラップ部:ルートガードテープ貼り)	
屋上緑化システム FD-LP工法	

PF-930D・FD-LP

適正勾配: 1/100~1/50
重量目安: 5.5kg/m²(植栽含まず)

住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PF-930D・FD-LP
新強力エコフィットFS	
新強力エコフィットF (端部 ガムホット)	
ルートガードD (ラップ部:ルートガードテープ貼り)	
屋上緑化システム FD-LP工法	
—	

(立上り部に植栽が接する場合)

立上り部

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	JPV-935D・SC
工程 II	強力バンクベストV	
工程 III	強力バンクベストV	
工程 IV	ルートガードD (ラップ部:ルートガードテープ貼り)	
工程 V	SPクリーンカラー 0.5~0.6kg/m ²	
工程 VI	—	

立上り部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PV-935D・SC
FV-50	
強力アドバン アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²	
アスタイトM・刷毛塗り 1.5kg/m ²	
ルートガードD (ラップ部:ルートガードテープ貼り)	
SPクリーンカラー 0.5~0.6kg/m ²	

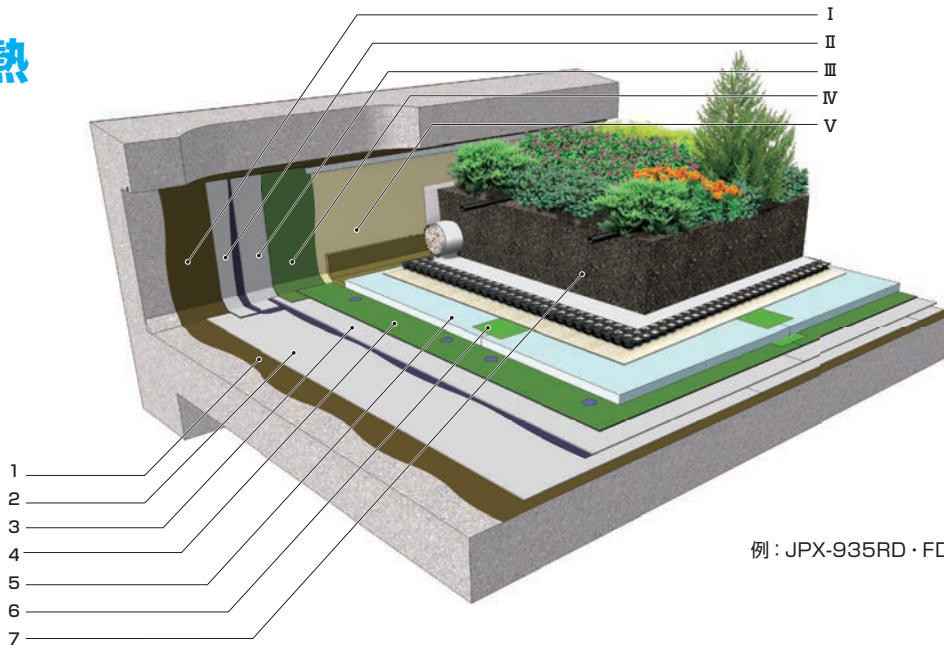
立上り部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PFV-930D・SC
新強力エコフィットF	
新強力エコフィットF (端部 ガムホット)	
ルートガードD (ラップ部:ルートガードテープ貼り)	
SPクリーンカラー 0.5~0.6kg/m ²	
—	

- ・立上り部はSPクリーンカラーをSPサーモコート0.8~1.2kg/m²(2回塗り)に変更できます。
- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマーかアスファルトプライマーSS等を用いることもあります。
- ・立上りの高さによって、FV-50の代わりに新強力エコフィットFをカットして用いることもあります。
- ・立上り部に植栽が接しない場合は、砂付ルーフィング仕上げの立上り部仕様をご参照ください。
- ・客土層および植栽は別途工事となります。
- ・貼仕舞は強力ガムシールで処理します。エコフィット工法ではGCラインで処理します。
- ・現場の状況などで新強力エコフィットFSの代わりに新強力エコフィットFを用いることもあります。
- ・ライナーコーピングなど雨仕舞材の価格は別途。アスタイトMに替えてクリンタイトJも使用できます。
- ※屋上緑化システムの詳細は専用カタログ「グリーンルーフ・ストーリー」をご参照ください。
- ※植栽周辺部や排水経路には露出防水(砂付ルーフィング)表層保護のためSPクリーンカラーを2回塗り(0.7~0.8kg/m²)してください。

BANKS / ストライプ / エコフィット

断熱



例: JPX-935RD・FD-LP

BANKS工法
ノンケトル冷熱併用工法

JPX-935RD・FD-LP

適正勾配: 1/100~1/50
重量目安(断熱35mm): 9kg/m²(植栽含まず)
住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	JPX-935RD・FD-LP
工程 2	強カバンクルーフ	
工程 3	強カバンクベスト	
工程 4	ルートガードD (ラップ部: ルートガードテープ貼り)	
工程 5	RBボードまたはスタイロフォームRB-GK-II RBセメント・点貼り 0.5kg/m ²	
工程 6	ルートガードテープ(目地部)	
工程 7	屋上緑化システム FD-LP工法	
工程 8	—	

ストライプ工法
冷熱併用工法

PX-935RD・FD-LP

適正勾配: 1/100~1/50
重量目安(断熱35mm): 10.5kg/m²(植栽含まず)
住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PX-935RD・FD-LP
強カストライプZ	
強カアドバン アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²	
アスタイトM・刷毛塗り 1.5kg/m ²	
ルートガードD (ラップ部: ルートガードテープ貼り)	
RBボードまたはスタイロフォームRB-GK-II RBセメント・点貼り 0.5kg/m ²	
ルートガードテープ(目地部)	
屋上緑化システム FD-LP工法	

エコフィット工法
冷工法

PF-930RD・FD-LP

適正勾配: 1/100~1/50
重量目安(断熱35mm): 7.5kg/m²(植栽含まず)
住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PF-930RD・FD-LP
新強カエコフィットFS	
新強カエコフィットF (端部 ガムホット)	
ルートガードD (ラップ部: ルートガードテープ貼り)	
RBボードまたはスタイロフォームRB-GK-II RBセメント・点貼り 0.5kg/m ²	
ルートガードテープ(目地部)	
屋上緑化システム FD-LP工法	
—	

〈立上り部に植栽が接する場合〉

立上り部

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	JPV-935D・SC
工程 II	強カバンクベストV	
工程 III	強カバンクベストV	
工程 IV	ルートガードD (ラップ部: ルートガードテープ貼り)	
工程 V	SPクリーンカラー 0.5~0.6kg/m ²	
工程 VI	—	
工程 VII	—	

立上り部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PV-935D・SC
FV-50	
強カアドバン	
アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²	
アスタイトM・刷毛塗り 1.5kg/m ²	
ルートガードD (ラップ部: ルートガードテープ貼り)	
SPクリーンカラー 0.5~0.6kg/m ²	

立上り部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PFV-930D・SC
新強カエコフィットF	
新強カエコフィットF (端部 ガムホット)	
ルートガードD (ラップ部: ルートガードテープ貼り)	
SPクリーンカラー 0.5~0.6kg/m ²	
—	
—	

- ・立上り部はSPクリーンカラーをSPサーモコート0.8~1.2kg/m²(2回塗り)に変更できます。
- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマーかアスファルトプライマーSS等を用いることもあります。
- ・立上りの高さによって、FV-50の代わりに新強カエコフィットFをカットして用いることもあります。
- ・立上り隅にはRBキャントを使用します。(価格は別途) ・客土層および植栽は別途工事となります。
- ・貼仕舞は強力ガムシールで処理します。エコフィット工法ではGOラインで処理します。
- ・現場の状況などで新強カエコフィットFSの代わりに新強カエコフィットFを用いることもあります。
- ・ライナーコーピングなど雨仕舞材の価格は別途。 ・アスタイトMに替えてクリンタイトJも使用できます。
- ※屋上緑化システムの詳細は専用カタログ「グリーンルーフ・ストーリー」をご参照ください。
- ※植栽周辺部や排水経路には露出防水(砂付ルーフィング)表層保護のためSPクリーンカラーを2回塗り(0.7~0.8kg/m²)してください。

省エネ基準に基づく各地区の断熱材厚さについては、35ページをご参照ください。

DIPS構法 溝型ルーフェッキ下地 | 断熱

防水仕様

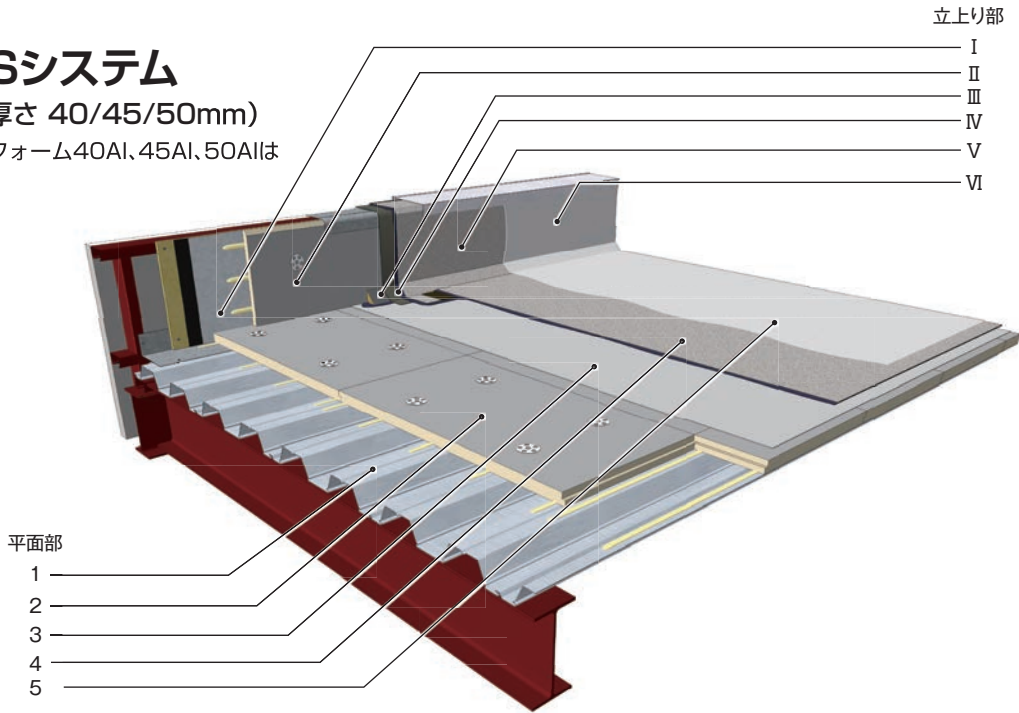
DIPS構法溝型ルーフェッキ下地(断熱)

ストライプ

HT-ASシステム

(断熱材厚さ 40/45/50mm)

HT80ギルフォーム40AI、45AI、50AIは
受注生産品



ストライプ工法

冷熱併用工法

HT-915G・ASシリーズ

重量目安(断熱50mm): 9.5kg/m²(ルーフェッキ含まず)
基本耐用年数: 15年 適正勾配: 1/50~1/20

住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

工程 1	耐火認定ルーフェッキ			基本仕様 HT-915G・AS
工程 2	HT80ギルフォームAI HTセメント・線貼り 0.35kg/m ² 、HTU80ワッシャー			
工程 3	強カストライプZ			
工程 4	強カハイキャップ アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
工程 5 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	HT-915G・AS・TH	HT-915G・AS・SF	HT-915G・AS・SD	
加算耐用年数	プラス5年	プラス3年	プラス3年	

立上り部

工程 I	硬質木質系セメント板等、アスファルトルーフィング等 溶融亜鉛メッキ鋼板等			基本仕様 HTV-915G
工程 II	ギルフォームW/S HTセメント・線貼り 0.35kg/m ² 、HTUワッシャー			
工程 III	ギルキャント			
工程 IV	強カアドバン アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
工程 V	強カハイキャップ アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
工程 VI 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	HTV-915G・TH	HTV-915G・SF	HTV-915G・SD	

HT-920G・ASシリーズ

重量目安(断熱50mm): 9.5kg/m²(ルーフェッキ含まず)
基本耐用年数: 20年 適正勾配: 1/50~1/20

住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

工程 1	耐火認定ルーフェッキ			基本仕様 HT-920G・AS
工程 2	HT80ギルフォームAI HTセメント・線貼り 0.35kg/m ² 、HTU80ワッシャー			
工程 3	強カストライプZ			
工程 4	強カガムフェース アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
工程 5 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	HT-920G・AS・TH	HT-920G・AS・SF	HT-920G・AS・SD	
加算耐用年数	プラス5年	プラス3年	プラス3年	

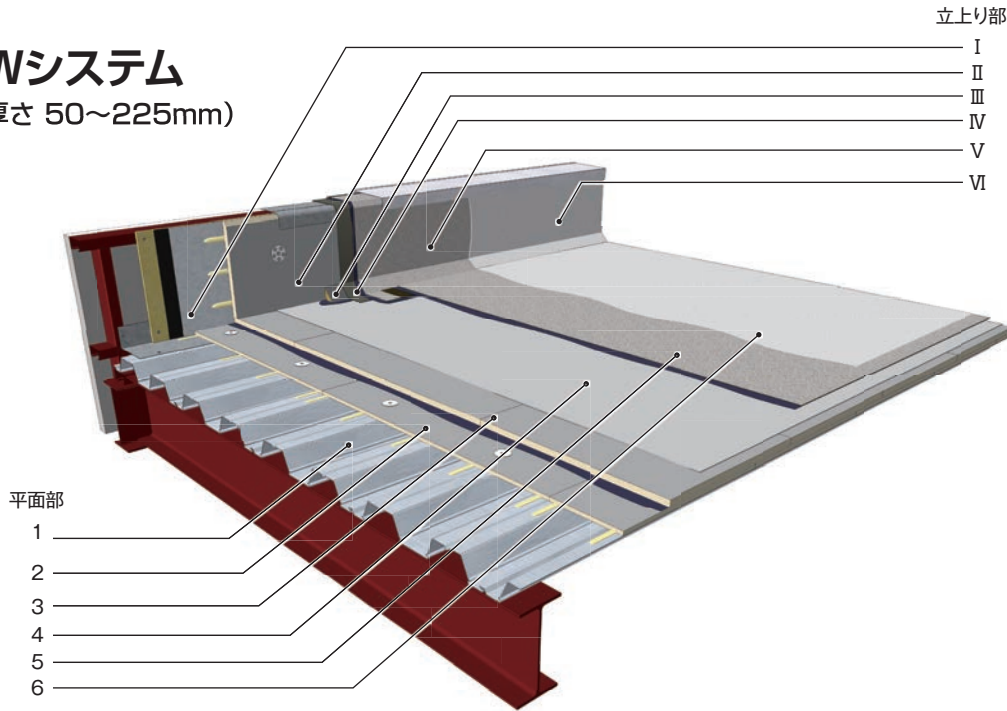
立上り部

工程 I	硬質木質系セメント板等、アスファルトルーフィング等 溶融亜鉛メッキ鋼板等			基本仕様 HTV-920G
工程 II	ギルフォームW/S HTセメント・線貼り 0.35kg/m ² 、HTUワッシャー			
工程 III	ギルキャント			
工程 IV	強カアドバン アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
工程 V	強カガムフェース アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
工程 VI 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	HTV-920G・TH	HTV-920G・SF	HTV-920G・SD	

- ・現場の状況などで立上り部ギルフォームの固定にワッシャーを併用することもあります。
- ・立上り部のHTセメント・線貼りの代わりにアスファルトテープを用いることもあります。
- ・貼仕舞は強カガムシールで処理します。アスタイトMに替えてクリンタイトJも使用できます。
- ・ライナーコーピングsなど雨仕舞材の価格は別途。
- ・保護塗料による耐用年数の加算は、定期的に塗料の塗り替えを行い、塗料の性能を維持することを前提とします。
- ・保護塗料(SPサーモコート、SPファインカラー、SPミッドカラー)の価格は塗料ごとに異なります。
- ・防火(飛び火)認定が要求される場合には、「T-強カストライプZ」をご使用ください。
- ・季節や立地条件(寒冷地等)によっては保護塗料にSPシルバーを使用する場合もあります。

HT-AWシステム

(断熱材厚さ 50~225mm)



ストライプ工法

冷熱併用工法

HT-915G・AWシリーズ

重量目安(断熱50mm): 10.5kg/m²(ルーフェッキ含まず)
 基本耐用年数: 15年 適正勾配: 1/50~1/20

住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

工程 1	耐火認定ルーフェッキ			基本仕様 HT-915G・AW
工程 2	ギルフォーム W HTセメント・線貼り 0.35kg/m ² 、MHワッシャー併用			
工程 3	ギルフォームW/S アスタイトM 1.0kg/m ²			
工程 4	強カストライプZ			
工程 5	強カハイキャップ アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
工程 6 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	HT-915G・AW・TH	HT-915G・AW・SF	HT-915G・AW・SD	
加算耐用年数	プラス5年	プラス3年	プラス3年	

立上り部

工程 I	硬質木質系セメント板等、アスファルトルーフィング等 溶融亜鉛メッキ鋼板等			基本仕様 HTV-915G
工程 II	ギルフォームW/S HTセメント・線貼り 0.35kg/m ² 、HTUワッシャー			
工程 III	ギルキャント			
工程 IV	強カアドバン アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
工程 V	強カハイキャップ アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
工程 VI 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	HTV-915G・TH	HTV-915G・SF	HTV-915G・SD	

HT-920G・AWシリーズ

重量目安(断熱50mm): 10.5kg/m²(ルーフェッキ含まず)
 基本耐用年数: 20年 適正勾配: 1/50~1/20

住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

耐火認定ルーフェッキ	基本仕様 HT-920G・AW	
ギルフォーム W HTセメント・線貼り 0.35kg/m ² 、MHワッシャー併用		
ギルフォームW/S アスタイトM 1.0kg/m ²		
強カストライプZ		
強カガムフェース アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²		
SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)		SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²
HT-920G・AW・TH	HT-920G・AW・SF	HT-920G・AW・SD
プラス5年	プラス3年	プラス3年

立上り部

硬質木質系セメント板等、アスファルトルーフィング等 溶融亜鉛メッキ鋼板等	基本仕様 HTV-920G	
ギルフォームW/S HTセメント・線貼り 0.35kg/m ² 、HTUワッシャー		
ギルキャント		
強カアドバン アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²		
強カガムフェース アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²		
SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)		SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²
HTV-920G・TH	HTV-920G・SF	HTV-920G・SD

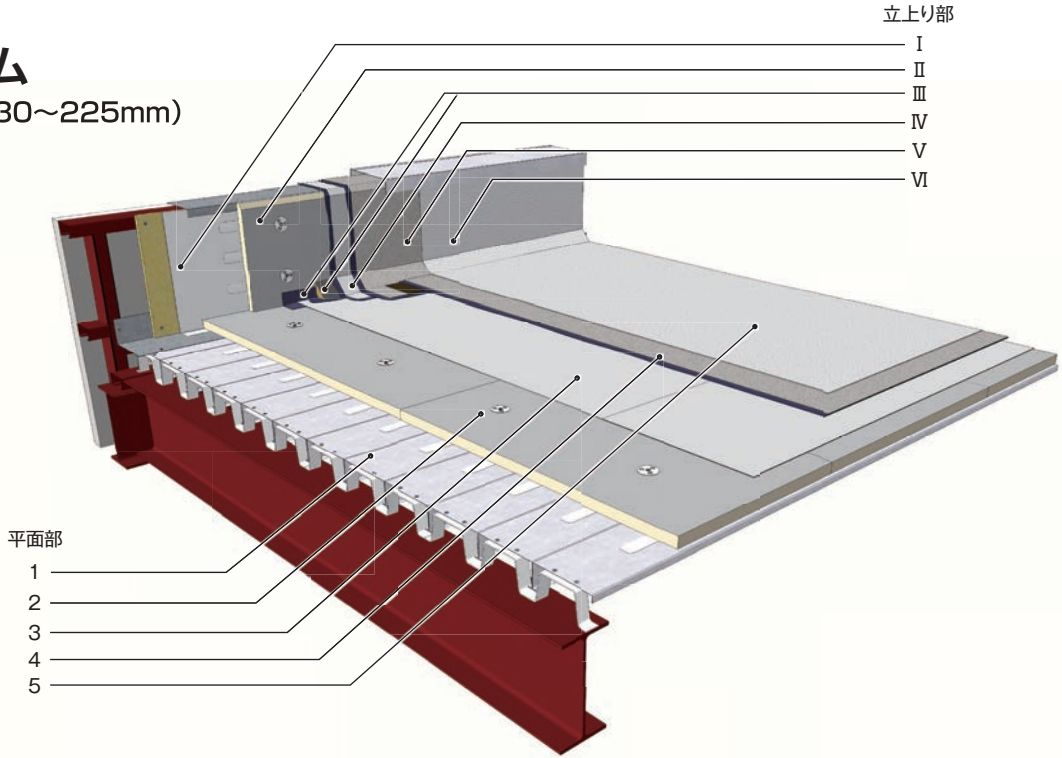
- ・現場の状況などで立上り部ギルフォームの固定にワッシャーを併用することもあります。
- ・立上り部のHTセメント・線貼りの代わりにアスファルトテープを用いることもあります。
- ・貼仕舞は強カガムシールで処理します。・アスタイトMに替えてクリンタイトJも使用できます。
- ・ライナーコーピングsなど雨仕舞材の価格は別途。
- ・保護塗料による耐用年数の加算は、定期的に塗料の塗り替えを行い、塗料の性能を維持することを前提とします。
- ・保護塗料(SPサーモコート、SPファインカラー、SPミッドカラー)の価格は塗料ごとに異なります。
- ・防火(飛び火)認定が要求される場合には、「T-強カストライプZ」をご使用ください。
- ・季節や立地条件(寒冷地等)によっては保護塗料にSPシルバーを使用する場合もあります。

DIPS構法 フラット・溝型ルーフェッキ下地 | 断熱

防水仕様

IRシステム

(断熱材厚さ 30~225mm)



IRJ-920Gシリーズ

重量目安(断熱35mm): 9.5kg/m²(ルーフェッキ含まず)
基本耐用年数: 20年 適正勾配: 1/50~1/20

住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

工程 1	耐火認定ルーフェッキ			基本仕様 IRJ-920G
工程 2	ギルフォームW DIPSセメントEF・線貼り 0.35kg/m ² 、仮固定ディスク併用			
工程 3	強カバンクルーフ			
工程 4	強カガムフェース			
工程 5 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	IRJ-920G・TH	IRJ-920G・SF	IRJ-920G・SD	
加算耐用年数	プラス5年	プラス3年	プラス3年	

立上り部

工程 I	硬質木質系セメント板・溶融亜鉛メッキ鋼板 等			基本仕様 IRJV-920G
工程 II	ギルフォーム DIPSセメントEF・線貼り 0.35kg/m ² 、仮固定ディスク併用			
工程 III	バリテーブH ギルキャント			
工程 IV	強カバンクルーフV			
工程 V	強カガムフェースまたは強カガムフェースV			
工程 VI 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	IRJV-920G・TH	IRJV-920G・SF	IRJV-920G・SD	

IRJ-925Gシリーズ

重量目安(断熱35mm): 10kg/m²(ルーフェッキ含まず)
基本耐用年数: 25年 適正勾配: 1/50~1/20

住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

耐火認定ルーフェッキ				基本仕様 IRJ-925G
ギルフォームW DIPSセメントEF・線貼り 0.35kg/m ² 、仮固定ディスク併用				
強カバンクルーフ				
強カガムフェースEX				
SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²		
IRJ-925G・TH	IRJ-925G・SF	IRJ-925G・SD		
プラス5年	プラス3年	プラス3年		

立上り部

硬質木質系セメント板・溶融亜鉛メッキ鋼板 等				基本仕様 IRJV-925G
ギルフォーム DIPSセメントEF・線貼り 0.35kg/m ² 、仮固定ディスク併用				
バリテーブH ギルキャント				
強カバンクルーフV				
強カガムフェースまたは強カガムフェースEX				
SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²		
IRJV-925G・TH	IRJV-925G・SF	IRJV-925G・SD		

- ・工程1の耐火認定ルーフェッキには、フラットタイプのIR DIP750(東邦シートフレーム(株)アイルーフ75)または、DIP-U75(日鐵住金建材(株)UA-R)を推奨します。
- ・貼仕舞は強カガムシールで処理します。
- ・ライナーコーピングsなど雨仕舞材の価格は別途。
- ・保護塗料による耐用年数の加算は、定期的に塗料の塗り替えを行い、塗料の性能を維持することを前提とします。
- ・保護塗料(SPサーモコート、SPファインカラー、SPミッドカラー)の価格は塗料ごとに異なります。
- ・季節や立地条件(寒冷地等)によっては保護塗料にSPシルバーを使用する場合があります。

(参考: ルーフデッキ重量)

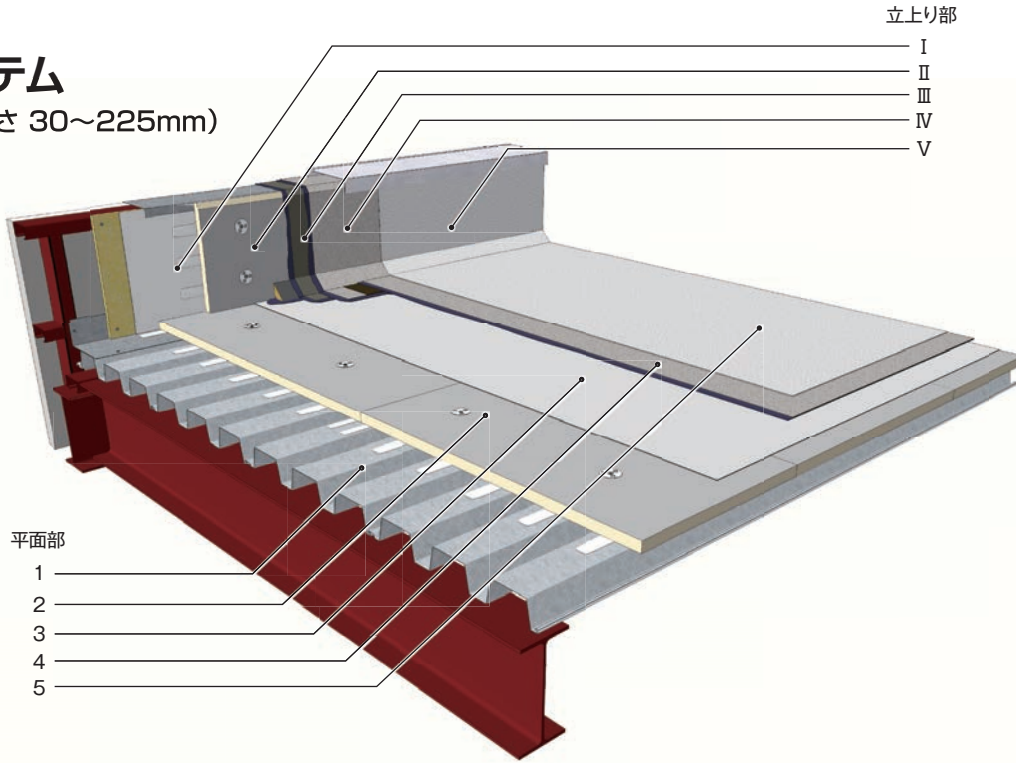
品名・規格	重量/m ²
IR DIP750 (Z12, 1.0mm厚)	15.8kg
DIP-U75 (Z12, 1.0mm厚)	13.4kg

DIPS構法フラット・溝型ルーフェッキ下地(断熱)

BANKS

IRシステム

(断熱材厚さ 30~225mm)



ストライプ工法

冷熱併用工法

IR-915Gシリーズ

重量目安(断熱35mm): 1.0kg/m²(ルーフデッキ含まず)
 基本耐用年数: 15年 適正勾配: 1/50~1/20
住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

工程 1	耐火認定ルーフデッキ			基本仕様 IR-915G
工程 2	ギルフォームW DIPSセメントEF・線貼り 0.35kg/m ² 、仮固定ディスク併用			
工程 3	強カストライプZ			
工程 4	強カハイキャップ アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
工程 5 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	IR-915G・TH	IR-915G・SF	IR-915G・SD	
加算耐用年数	プラス5年	プラス3年	プラス3年	

立上り部

工程 I	硬質木質系セメント板・溶融亜鉛メッキ鋼板 等			基本仕様 IRV-915G
工程 II	ギルフォーム DIPSセメントEF・線貼り 0.35kg/m ² 、仮固定ディスク併用			
工程 III	ギルキヤント・強カアドバン アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
工程 IV	強カハイキャップ アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
工程 V 保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
仕様番号	IRV-915G・TH	IRV-915G・SF	IRV-915G・SD	

IR-920Gシリーズ

重量目安(断熱35mm): 1.0kg/m²(ルーフデッキ含まず)
 基本耐用年数: 20年 適正勾配: 1/50~1/20
住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

	耐火認定ルーフデッキ			基本仕様 IR-920G
	ギルフォームW DIPSセメントEF・線貼り 0.35kg/m ² 、仮固定ディスク併用			
	強カストライプZ			
	強カガムフェース アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
	IR-920G・TH	IR-920G・SF	IR-920G・SD	
	プラス5年	プラス3年	プラス3年	

立上り部

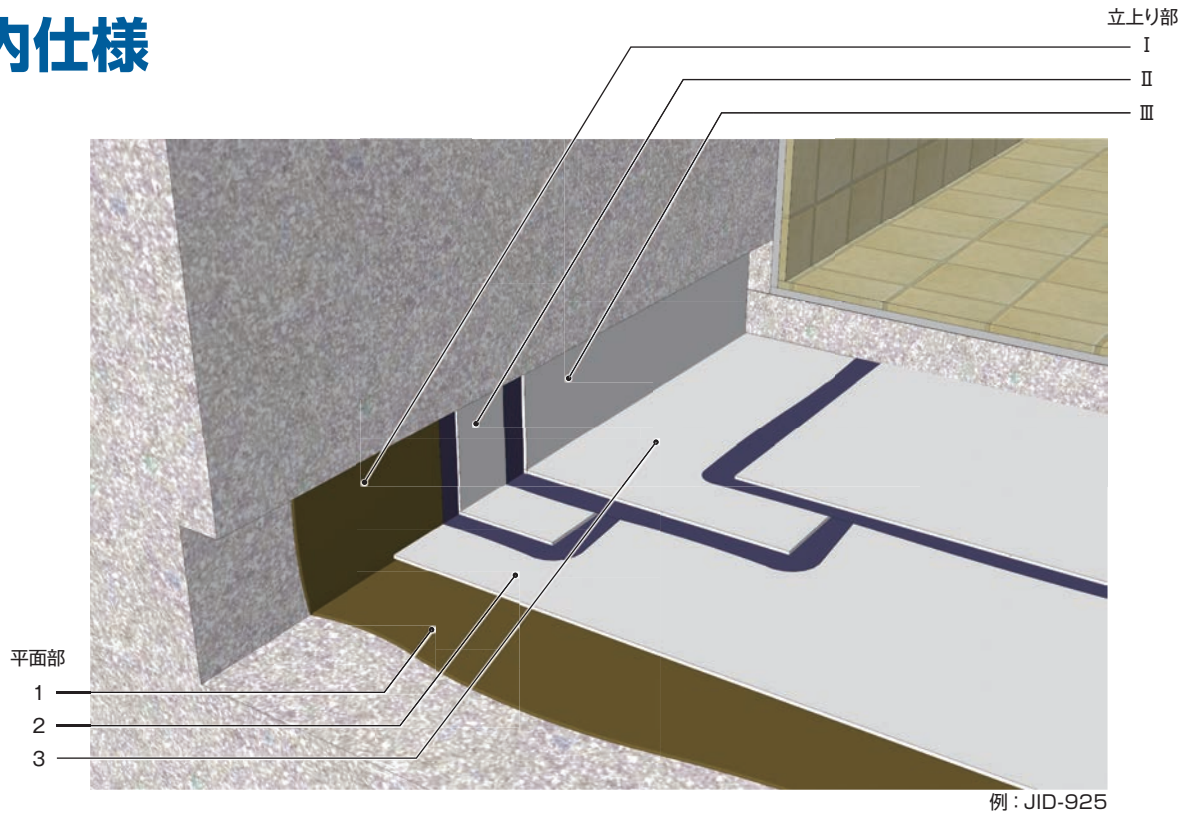
	硬質木質系セメント板・溶融亜鉛メッキ鋼板 等			基本仕様 IRV-920G
	ギルフォーム DIPSセメントEF・線貼り 0.35kg/m ² 、仮固定ディスク併用			
	ギルキヤント・強カアドバン アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
	強カガムフェース アスタイトM・流し貼り 1.2kg/m ²			
	SPサーモコート 0.8~1.2kg/m ² (2回塗り)	SPファインカラー 0.4~0.6kg/m ²	SPミッドカラー 0.5~0.7kg/m ²	
	IRV-920G・TH	IRV-920G・SF	IRV-920G・SD	

- ・工程1の耐火認定ルーフデッキには、フラットタイプのIR DIP750(東邦シートフレーム(株)アイルーフ75)または、DIP-U75(日鐵住金建材(株)UA-R)を推奨します。
- ・貼仕舞は強カガムシールで処理します。
- ・ライナーコーピングなど雨仕舞材の価格は別途。
- ・保護塗料による耐用年数の加算は、定期的に塗料の塗り替えを行い、塗料の性能を維持することを前提とします。
- ・保護塗料(SPサーモコート、SPファインカラー、SPミッドカラー)の価格は塗料ごとに異なります。
- ・防火(飛び火)認定が要求される場合には、「T-強カストライプZ」をご使用ください。
- ・季節や立地条件(寒冷地等)によっては保護塗料にSPシルバーを使用する場合があります。
- ・アスタイトMに替えてクリンタイトJも使用できます。

(参考:ルーフデッキ重量)

品名・規格	重量/m ²
IR DIP750 (Z12, 1.0mm厚)	15.8kg
DIP-U75 (Z12, 1.0mm厚)	13.4kg

室内仕様



例：JID-925

BANKS工法
ノンケトル冷熱併用工法

クリーン熱工法
熱工法

エコフィット工法
冷工法

JID-925

重量目安: 5kg/m²

技術審査証明 E-2仕様対応

平面部

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	JID-925
工程 2	強力バンクルーフ	
工程 3	強力バンクベスト	
工程 4	—	

立上り部

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	JIV-925
工程 II	強力バンクベストV	
工程 III	強力バンクベストV	
工程 IV	—	

ID-920

重量目安: 8.5kg/m²

平面部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	ID-920
強力ギル アスタイトM・流し貼り 1.5kg/m ²	
強力ギル アスタイトM・流し貼り 1.5kg/m ²	
アスタイトM・刷毛塗り 2.0kg/m ²	

立上り部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	IV-920
強力ギル アスタイトM・流し貼り 1.5kg/m ²	
強力ギル アスタイトM・流し貼り 1.5kg/m ²	
アスタイトM・刷毛塗り 2.0kg/m ²	

IDF-920

重量目安: 4.5kg/m²

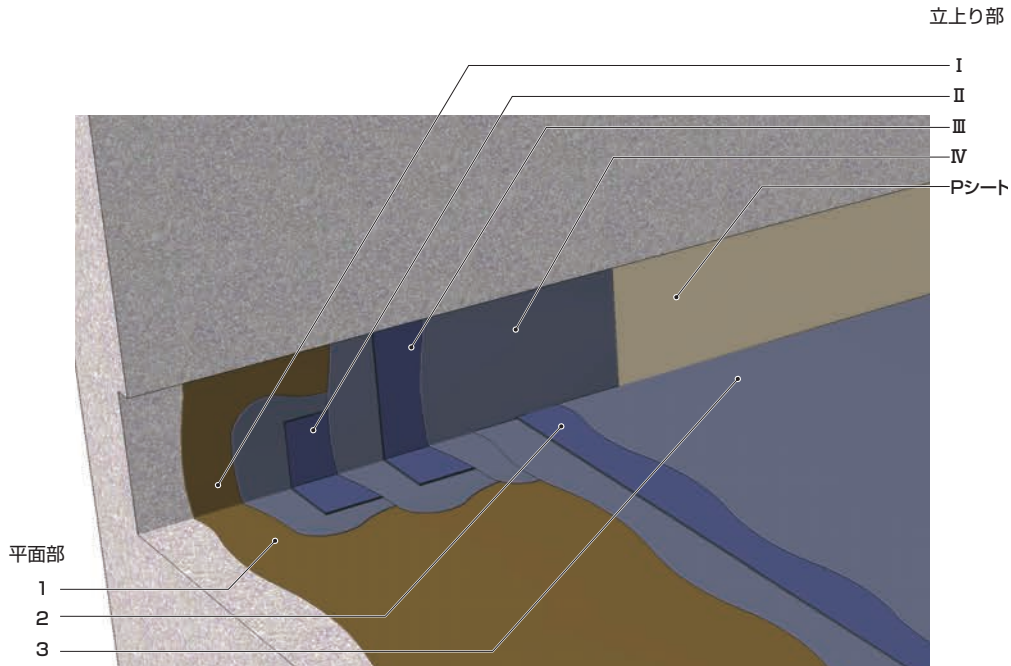
平面部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	IDF-920
新強力エコフィットF	
新強力エコフィットF (端部 ガムホット)	
—	

立上り部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	IFV-920
新強力エコフィットF	
新強力エコフィットF (端部 ガムホット)	
—	

- ・室内でも大面積の場合には、JPX、PX、PFタイプの仕様から選択ください。
- ・浴室では、浴槽が壁際に設置される場合は、壁面の防水層の立上りは湯水がかからない高さまで十分にとってください。
- ・貼仕舞は強力ガムシールで処理する。エコフィット工法ではGCラインで処理します。



例：IAL-1M/IALV-1 (Pシート仕様)

アスレイヤ工法
改質アスファルト防水常温複合工法

IAL-1M

重量目安：4kg/m²

技術審査証明 E-2仕様対応

平面部

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	IAL-1M
工程 2	レイヤルーフ レイヤコート・流し貼り 1.2kg/m ²	
工程 3	レイヤコート 0.8kg/m ²	
工程 4	—	

IAL-1M立上り部

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	IALV-1
工程 II	コーナー増貼り (レイヤコート+レイヤルーフ)	コーナー増貼り (レイヤコート+レイヤルーフ)	
工程 III	レイヤルーフ レイヤコート立上り用・塗布貼付 1.2kg/m ²	レイヤコート立上り用 0.8kg/m ²	
工程 IV	レイヤコート立上り用 0.8kg/m ²	マットFC	
工程 V	—	レイヤコート立上り用 1.2kg/m ²	
工程 VI	—	レイヤコート立上り用 0.8kg/m ²	
工程 VII	—	—	
工程 VIII	—	—	

IAL-2MM

重量目安：7kg/m²

平面部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	IAL-2MM
レイヤルーフ レイヤコート・流し貼り 1.2kg/m ²	
レイヤルーフ レイヤコート・流し貼り 1.2kg/m ²	
レイヤコート 0.8kg/m ²	

IAL-2MM立上り部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	IALV-2
レイヤルーフ レイヤコート立上り用・塗布貼付 1.2kg/m ²	レイヤコート立上り用 0.8kg/m ²	
レイヤルーフ レイヤコート立上り用・塗布貼付 1.2kg/m ²	マットFC	
レイヤコート立上り用 0.8kg/m ²	レイヤコート立上り用 1.2kg/m ²	
—	レイヤコート立上り用 0.8kg/m ²	
—	マットFC	
—	レイヤコート立上り用 1.2kg/m ²	
—	レイヤコート立上り用 0.8kg/m ²	

※立上り部を保護モルタル仕上げとする場合、最終工程に「Pシート」を追加。

- 外構の場合はIAL-1Mの工程4の後に絶縁シートを敷設してから保護層を打設してください。
- 密着工法の場合、保護層打設までの間にふくれが発生することがあるため、状況に応じて絶縁工法の採用を検討してください。
- 立上り部にレイヤベースを用いて復層仕上げとする仕様、ならびに立上り露出仕上げとする仕様では、端部に押え金物による固定を行うことを原則とします。
- 水性プライマーASの代わりにOTプライマーA(0.2kg/m²)を使用する場合があります。

保護モルタル工事の留意点 日本建築学会・建築工事標準仕様書(JASS8)より抜粋

モルタル調合
セメント：砂＝1：3(容積比)

とんぼ
防水層に200mm間隔程度で千鳥状に取付け

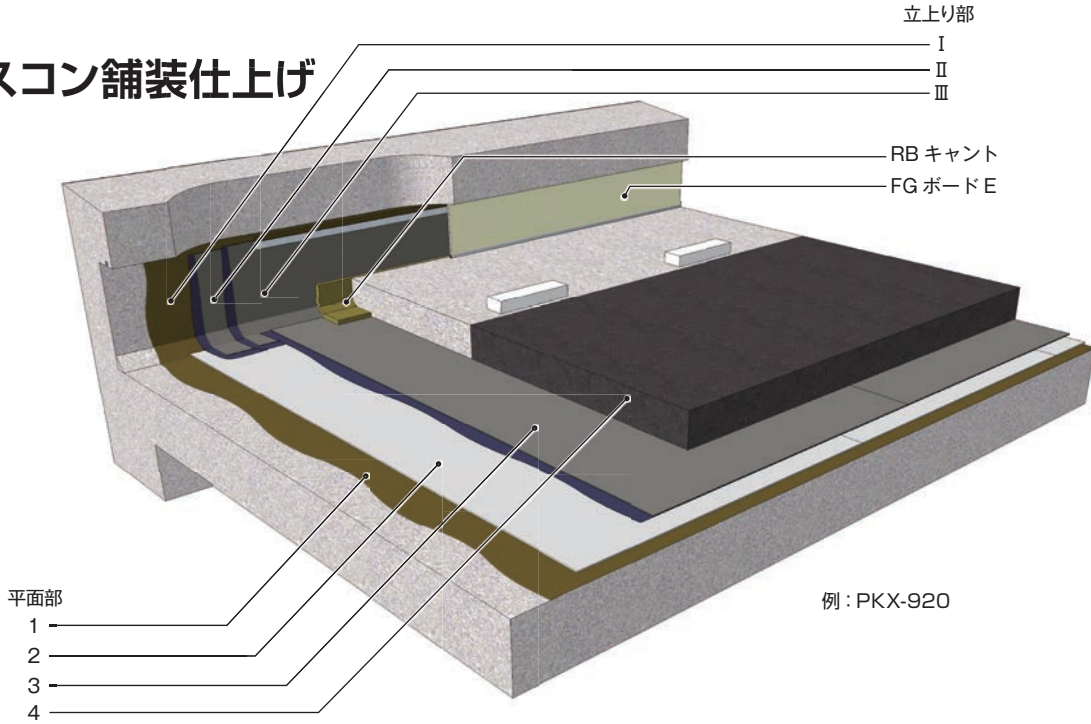
ラス類
メタルラス(平ラス2号)もしくは溶接金網

ラス類の立上がり端部
防水層立上がり端部より100mm以上上部の位置で金物を用いて
下地(躯体)に固定するか、防水層末端部の押え金物に固定する。

駐車場仕様

防水仕様

アスコン舗装仕上げ



例：PKX-920



PKX-920

適用部位：直下階 店舗・住居

適正勾配：1/100～1/50

重量目安：7kg/m²

平面部

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PKX-920
工程 2	強カストライプZ	
工程 3	ガムトップ25 ガムタイトクリーン・流し貼り 1.2kg/m ²	
工程 4	アスコン舗装(別途)	

立上り部

工程 I	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PKV-920
工程 II	ガムトップ25 ガムタイトクリーン・流し貼り 1.2kg/m ²	
工程 III	ガムトップ25 ガムタイトクリーン・流し貼り 1.2kg/m ²	

PK-915

適用部位：直下階 駐車場

適正勾配：1/100～1/50

重量目安：8.5kg/m²

平面部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PK-915
フリースポット	
ガムトップ25 ガムタイトクリーン・流し貼り 1.8kg/m ²	
アスコン舗装(別途)	

立上り部

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PKV-920
ガムトップ25 ガムタイトクリーン・流し貼り 1.2kg/m ²	
ガムトップ25 ガムタイトクリーン・流し貼り 1.2kg/m ²	

PKM-915

適用部位：地下駐車場などの簡易用途

適正勾配：1/100～1/50

重量目安：5.5kg/m²

平面部

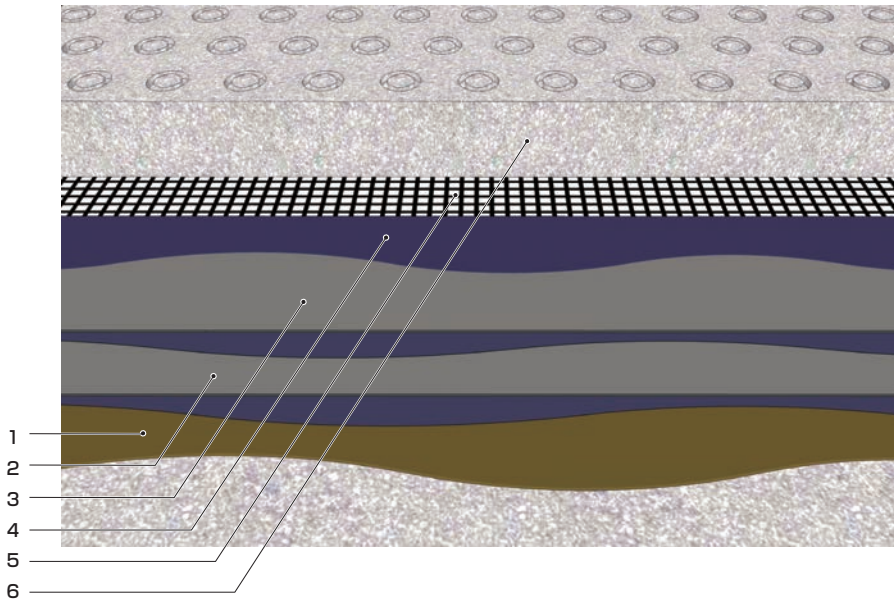
水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PKM-915
ガムトップ30 ガムタイトクリーン・流し貼り 1.2kg/m ²	
アスコン舗装(別途)	
—	

駐車場仕様

ストライプ/クリーン熱

- ・季節・立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマーかアスファルトプライマーSS等を用いることもあります。
- ・立上り隅部に押えコンクリートを打設する場合、RBキャントを使用します。(価格は別途)
- ・立上り部乾式保護パネル・FGボードEの価格は別途。
- ・貼仕舞は強力ガムシールで処理します。

真空コンクリート仕上げ



例: PKM-920S

クリーン熱工法

PKM-915S

適用部位: スロープ
 適正勾配: 1/100~1/6
 重量目安: 7kg/m²

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PKM-915S
工程 2	ガムトップ30 ガムタイトクリーン・流し貼り 1.2kg/m ²	
工程 3	ガムタイトクリーン・刷毛塗り 1.5kg/m ²	
工程 4	絶縁クロス1000※	
工程 5	真空コンクリート(別途)	
工程 6	—	

※絶縁クロス1000は勾配等により省略することもあります。

クリーン熱工法

PKM-920S

適用部位: スロープ
 適正勾配: 1/100~1/6
 重量目安: 11kg/m²

水性プライマーAS 0.2kg/m ²	PKM-920S
ガムトップ25 ガムタイトクリーン・流し貼り 1.2kg/m ²	
ガムトップ25 ガムタイトクリーン・流し貼り 1.2kg/m ²	
ガムタイトクリーン・刷毛塗り 1.5kg/m ²	
絶縁クロス1000※	
真空コンクリート(別途)	

駐車場防水設計上の留意点

1) ストライプ工法・絶縁工法で通気システムをとる

下地の乾燥期間が標準でも、特に構造体がデッキプレートの場合の乾燥は望めません。また、アスコン工事は防水層がふくれの発生しやすい条件となるので、ストライプ工法・絶縁工法をおすすめします。

2) 室内、斜路の防水は密着貼りとします

地下駐車場など室内の場合は一般に密着工法とします。スロープも、すれを防止するため密着貼りとします。真空コンクリートのすれは躯体及び真空コンクリートでの対応で防止してください。

3) アスコンの厚さは、50mm以上にしてください

アスコンが50mm未満では、ふくれを抑えにくく、亀裂も生じやすくなります。また、下地防水層の段差の影響が表面に出やすいなどの支障をきたします。

4) 立上り際は押えコンクリート打設が望ましい

立上り際までアスコン舗装を行うと、転圧や締め固めが不十分になりやすく、また注意しないと防水層を傷つけやすくなります。

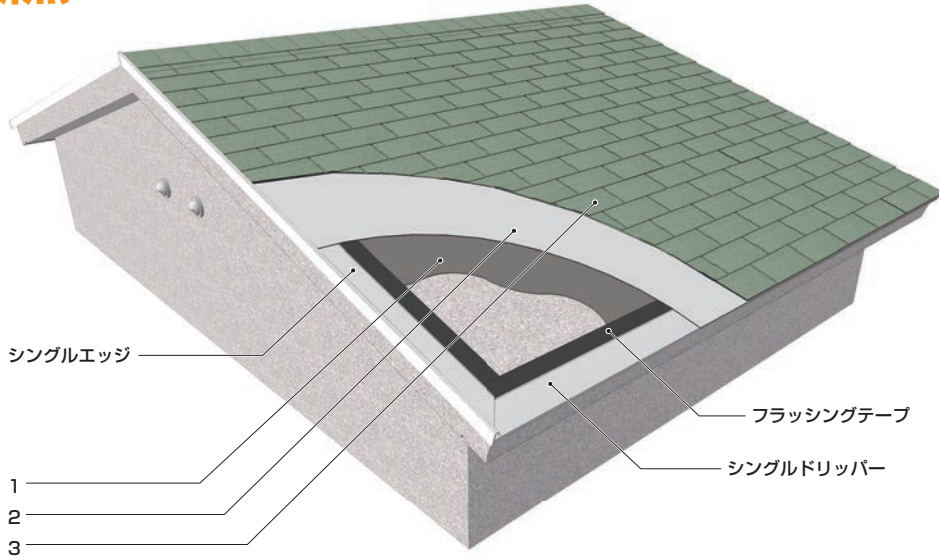
- ・保護材のオプションとして、「バリスター」を使用する場合はご相談ください。
- ・コンクリート保護とする場合は、JPX・PXタイプの仕様からお選びください。

・ここで対象とするアスコンは日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 JASS8 (2000)」に記載されている一般的な密粒度アスファルト混合物並びに粗粒度アスファルト混合物とします。

・(参考)「駐車場法施行令第8条三ハ: 傾斜部の縦断勾配は17%を超えないこと。」

勾配屋根仕様

非断熱



SGH-915・L

適用勾配: 2/10以上
重量目安: 17kg/m²

住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	SGH-915・L
工程 2	ガムクールM	
工程 3	シングルセメント 1.1kg/m ² ロフティ	

SGH-915・S

適用勾配: 2/10以上
重量目安: 13kg/m²

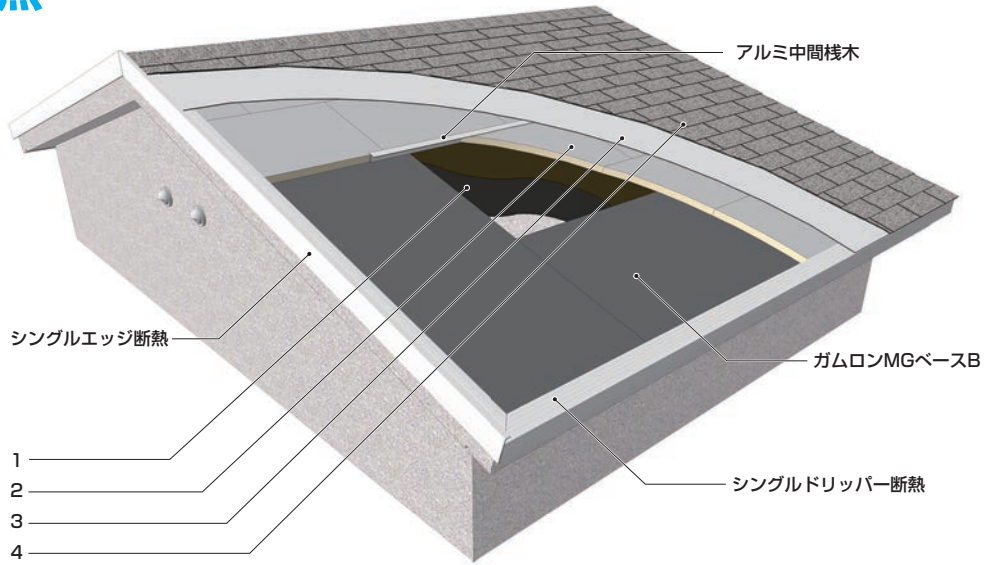
住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	SGH-915・S
	ガムクールM	
	シングルセメント 1.1kg/m ² シングル	



断熱



SGH-915G・L

適用勾配: 2/10以上

重量目安(断熱35mm): 20kg/m²

住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

工程 1	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	SGH-915G・L
工程 2	レイコーセメント 1.2kg/m ² ギルフォーム	
工程 3	ガムクールM	
工程 4	シングルセメント 1.1kg/m ² ロフティ	

SGH-915G・S

適用勾配: 2/10以上

重量目安(断熱35mm): 15kg/m²

住宅瑕疵担保履行法対応仕様

平面部

	水性プライマーAS 0.2kg/m ²	SGH-915G・S
	レイコーセメント 1.2kg/m ² ギルフォーム	
	ガムクールM	
	シングルセメント 1.1kg/m ² シングル	

・屋根勾配によっては、ズレ止め用釘を使用してください。詳細は施工基準書、施工要領書等をご参照ください。

・シングルセメントの代わりにアスタイトM、クリンタイトJを用いることもあります。

・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマーかアスファルトプライマーSS等を用いることもあります。

・勾配が2/10未満の場合はご相談ください。



工 法

環境に配慮した、東西アスファルト事業協同組合の

アスファルト防水 各工法

東西アス協組のアスファルト防水は周辺環境や作業環境など状況に合わせて、適材適所で工法が選べます。また、外断熱工法、屋上緑化、遮熱仕上げ、塗料仕上げなど様々な仕上げ材を組み合わせることができます。アスファルト防水ならではの、安心・安全な本格防水が目的や用途に合わせ各シーンで活用できます。

 BANKS工法 BANKS工法 ノンケトル冷熱併用工法	57
 ストライプ&クリーン工法 ストライプ工法 冷熱併用工法	59
 エコフィット工法 エコフィット工法 冷工法	60
 DIPS構法 DIPS構法 金属屋根の弱点を克服した本格アスファルト防水断熱構法	61
 アスレイヤ工法 アスレイヤ工法 改質アスファルト防水常温複合工法	63
 シングル	64
「耐用年数」の設定	65
PV-FIX ソーラーベースの耐力設定	67

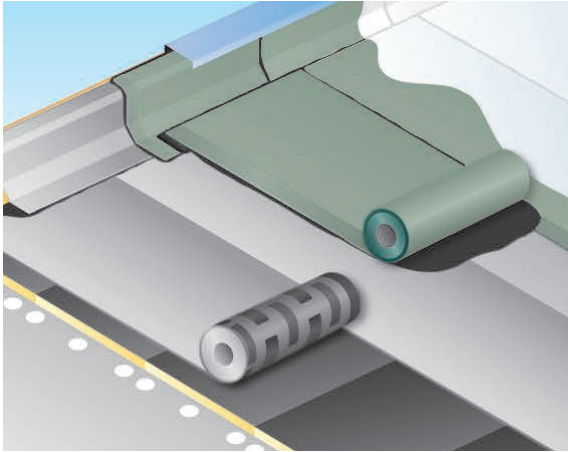


BANKS工法

ノンケトル冷熱併用工法

環境対応・次世代型
アスファルト防水

アスファルト防水は100年の歴史の中で防水性と耐久性の向上を図り、さらに持続可能な社会に向け環境へも配慮して、その工法は進化をとげてきました。その集大成が環境対応型改質アスファルト防水ノンケトル冷熱併用工法「BANKS工法」です。



- 1 全層改質アスファルトルーフィングの積層工法による高い防水信頼性があります。
- 2 ストライプ状自着層による安定したフクレ防止機能があります。
- 3 溶融釜を使わない本格アスファルト防水です。作業環境・周辺環境がクリーンで作業安全性が高い防水工法です。
- 4 近隣火災時の防火性能を確認する国土交通大臣による防火(飛び火)認定を取得しています。

溶融釜を使わないアスファルト防水

従来のアスファルト熱工法はルーフィングを積層するための溶融アスファルトを、溶融釜を用いて溶かし、施工しています。しかし、アスファルトを溶かす作業に伴い発生する臭いと煙が敬遠されています。

BANKS工法は、1層目に貼り付ける「強カバンクルーフ」の表面に溶解性・流動性の高いアスファルトをプレコートし、さらに溶解性の高いフィルムを張り合わせています。表面をあぶることでフィルムの溶け残りもなく、容易にバンク(溶け出しアスファルト)を形成し、従来のアスファルト防水熱工法と同様に溶け出しアスファルトを目視確認しながら施工することができます。

従来工法



溶融釜



BANKS工法



溶融釜を使用することなく、たっぷりの溶融アスファルトを使って、水密性を確保します。

Built up BANKS asphalt roofing on Kettle system

= 溶融釜を使わない
本格アスファルト防水

優れた施工性 — 改質アスファルトシート防水(トーチ工法)との違い

BANKS工法と同じような施工方法に、改質アスファルトシート防水(トーチ工法)があります。国土交通省の仕様で改質アスファルト系シート防水と分類されるトーチ工法は、シートの裏面をバーナーの炎であぶり、単なる接着剤として溶けたアスファルトを利用する工法です。防水層全体の水密性を向上させるために十分な量のアスファルトを溶かしルーフィング間に充填し積層防水層を形成するという従来の熱工法やBANKS工法とは、理論的に相違があります。

溶け出しアスファルトの違い

BANKS工法



改質アスファルトシート防水・トーチ工法



動画でその違いをご確認ください。

「強力バンクルーフ」の表面には融溶性の高いアスファルトがコーティングされています。BANKS工法はトーチ工法と比べて溶け出しアスファルトの量が多く、バンク(溶け出しアスファルト)を容易に形成できるため、水密性の高い積層防水を形成できます。

BANKS工法用灯油バーナー

エアコンプレッサーから灯油タンクにエアを送り、その圧力を利用して灯油とエアを同時にバーナーノズルに送ります。ノズルから灯油が霧状に噴出され、強い火力が安定的に発生します。燃料に灯油を使用することで、一般的なLPガスバーナーと比べて燃料調達を容易にし、燃料費のコストダウンを実現しました。(コンプレッサーは別途ご用意ください)

コンプレッサー(別途)

灯油タンク



バーナー*



※立上り用灯油バーナーは別途販売



ストライプ工法

冷熱併用工法

ふくれ防止機能・破断防止機能・防水機能を併せ持った改質アスファルトルーフィング「強力ストライプZ」を用いることで、従来の熱工法をさらに一步進化させました。溶融アスファルト供給システム「ACS」、低煙・低臭溶融釜「クリンケトル」、低煙・低臭工事用アスファルトを使用することで、工事現場での環境対応化が図れます。



- 1 省層化による防水工事用アスファルトの使用量低減とCO₂発生量を削減できる工法です。
- 2 ストライプ状自着層による安定したふくれ防止機能があります。
- 3 粘着層による軟接着が生む下地挙動追従性があります。

環境対応 - 低臭対応

CO₂削減対策として溶融アスファルト供給システムACSや作業環境の安全性向上・クリーン化のためのクリンケトル導入などでさらに環境対応の工事が可能です。



ACS (アスファルトコンテナシステム)

工事現場でバーナーを使用せず、溶融時の煙・臭いの発生をほとんど無くしたアスファルト供給システムです。

クリンケトル/ミニケトル

溶融温度管理を容易にし、セラミック断熱材の採用により保温性を高め、クリーン化・省力化を実現した低臭・低煙溶融釜です。

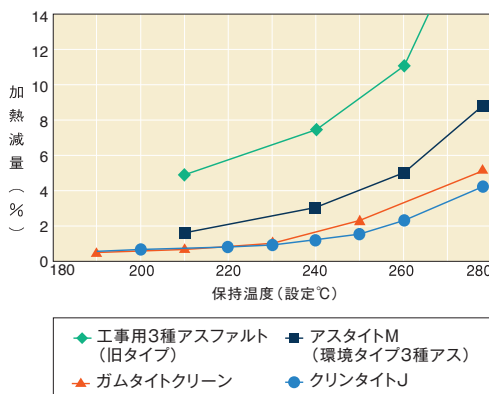


エレベーターで搬入出できるミニケトル

防水工事用アスファルト

クリンタイトJ、ガムタイトクリーン、アスタイトMは、共に臭いと発煙量を抑える目的で開発された防水工事用アスファルトです。それぞれに設定された適温で施工することで、その性能を十分に発揮します。

溶融時の発煙・臭気について



ガムタイトクリーン 適温 (230℃)



クリンタイトJ 適温 (240℃)



アスファルトの煙にはオイルミストが多く含まれています。オイルミストの発生量は加熱減量で測定できます。施工温度上限での加熱減量を比較すると、アスタイトM、クリンタイトJ、ガムタイトクリーンは、従来の工事用3種アスファルトに比べて大幅に低いことがわかります。



エコフィット工法

冷工法

防水層の貼り付けに防水工事用アスファルトを用いない、都市型・次世代の環境対応型防水工法です。従来の熱工法の問題とされる、臭いと煙の発生を抑えるため、ゴムアス粘着層による強力な粘着材を利用し、大型火器や大型工具を用いることなく確実な防水層の施工が可能です。



- 1 全層改質アスファルトルーフィングの積層工法による高い防水信頼性があります。
- 2 GCライン、ガムラップ、ガムホット、エンシンシートなどの副資材を併用することで、確かな水密性を得ることができます。
- 3 大幅なCO₂発生量の削減と低煙・低臭化が図れます。
- 4 粘着層による軟接着が優れた下地挙動追従性を発揮します。

エコフィットを支える脇役たち

防水のポイントとなるルーフィングのラップ(重ね)や、出入隅角、配管廻りなどの複雑部位を納めるのに欠かせないのが副資材です。エコフィット工法では、熱熔融施工する改質アスファルト系の「ガムホット」、常温で施工できる「ガムラップ」、変成シリコン系の「GCライン」、延伸性のある「エンシンシート」などを用意しています。これらの脇役たちがエコフィットの確かな防水機能を支えています。

■ガムホット



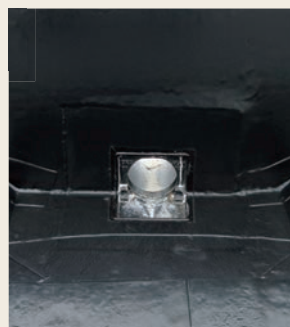
ガムホットサーバー



■GCライン



■エンシンシート





DIPS構法

金属屋根の弱点を克服した本格アスファルト防水断熱構法

単体で耐火認定を取得しているデッキプレートと、アスファルト防水断熱工法をシステム化して金属屋根の弱点を克服した本格屋根システムがDIPS構法です。

1 アスファルト防水の高い水密性能

アスファルト防水は、主要防水の中で唯一、一般的に保護コンクリート仕上げを採用しています。コンクリートの重量(100mm厚で約200kg/m²)が載っても、その圧力で漏水しない水密性がアスファルト防水にはあります。また、大型の浴場などの実績も多く、アスファルト防水の水密性が高いことを示しています。

- ▶▶ 凍結や緩勾配の影響で雨水がたまって漏水にはつながりません。(防水の立上り高さを越えない場合に限りです)

2 徹底した結露対策システム

RCや合成スラブを下地としている場合では、多少の結露が発生しても、コンクリートがある程度吸水してくれる為、トラブルにならないケースがほとんどです。しかし、コンクリートを下地としない場合には、発生した結露水は落水につながり易い為、システムをシビアに検討する必要があります。

- ▶▶ DIPS構法の各システムは、必要に応じた結露対策をシステム化しています。

3 鋼製デッキプレートの特性に合わせた確実な固定方法

温度変化による伸縮・風圧・载荷によるたわみ・構造体の挙動に伴う影響などがあっても、長期に渡り、確実に防水層がデッキプレートに固定される必要があります。

- ▶▶ DIPS構法では、鋼製デッキプレートの特性を考慮して、接着とビス固定を組み合わせることによって、断熱防水層の確実な固定を実現しています。

	長所	短所
ビス固定	<ul style="list-style-type: none"> ・初期の固定強度の発現が確実。 ・伸縮、たわみなどに対する拘束力に優れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・点での固定となる。 ・連続での振動に弱い。
接着	<ul style="list-style-type: none"> ・面での固定となり、接着面積が広がる。 ・振動に対しても安定した接着力維持が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初期の接着力発現に時間がかかる。 ・一定以上の伸縮、たわみに弱い。

4 優れた改修性

20年、30年と建物を耐用していくことを考えた場合、改修工事は避けて通れません。改修の際にいかにスムーズな方法で改修できるか、ということも重要なファクターです。

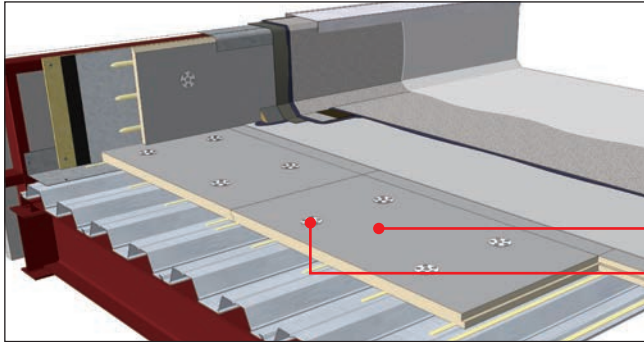
- ▶▶ DIPS構法は防水改修の際、アスファルト系防水工法のかぶせ工法を採用することで確実かつ容易、経済的に防水改修が可能です。

5 フレキシブルな断熱設計

省エネの意識の高まりにつれ、断熱材の厚みも厚くなる傾向があります。

- ▶▶ DIPS構法は最大225mmの厚みまで断熱材を厚くすることが可能です。

HT-ASシステム (断熱材厚さ 40・45・50mm)

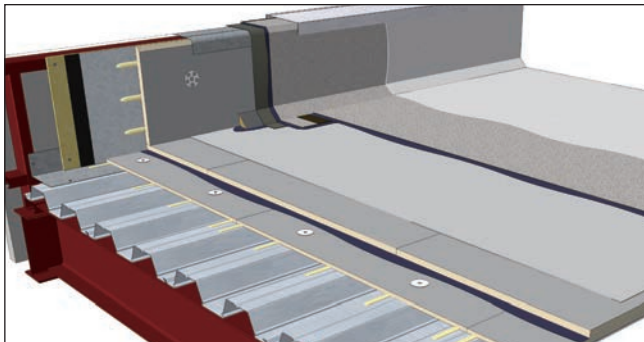


相じゃくり断熱材を使用し、断熱材のつぎ目から熱が逃げるのを防ぎ、溝型の単体耐火認定デッキプレートを下地としてシステム化した構法。

相じゃくりの断熱材を用いることで突付部の結露を解消。
※相じゃくり断熱材はすべて受注生産品

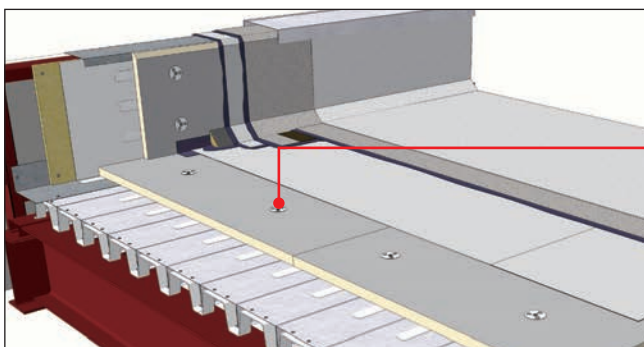
結露抑制用特殊ディスク「HTUワッシャー」を用いることでビスがヒートブリッジとなることを抑制。

HT-AWシステム (断熱材厚さ 50~225mm)



HT-ASシステムでは対応できない高断熱のシステムに対応した構法。

IRシステム (断熱材厚さ 30~225mm)



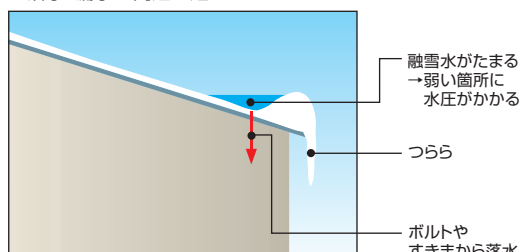
フラットルーフデッキ等を用いることで厚さ30mmの断熱材にも対応した構法。

結露抑制用特殊ディスク

金属屋根の弱点

1. すがもり

特に寒冷地においては「すがもり」を原因とした落水・漏水の問題が起りやすい。



2. 結露による落水

通常の金属屋根工法では、様々な要因により内部結露が発生しやすい。

①内断熱の採用による場合 ②ボルト部分がヒートブリッジになった場合

3. 緩勾配への対応

金属屋根の納まりは、水を溜めることには適していないため、勾配をゆるくしてしまうと、たまった雨水により漏水する可能性が高くなる。

4. 屋上緑化や太陽光システムの設置にあたっては、
難易度が高く、メンテナンスがしにくい。

5. 雨音が響く。

6. 屋根を修復する際は金属屋根のカバー工法が
一般的だが費用が高い。



アスレイヤ工法

改質アスファルト防水 常温複合法

工
法

アスレイヤ工法は、改質アスファルトルーフィングと二液性の常温反応型貼付材による複合防水工法です。定型材のシートと、流動体の貼付材を組み合わせることで、従来のアスファルト防水熱工法と同様に信頼性の高い積層防水層を形成します。屋上の保護防水、浴室・厨房・トイレなどの室内防水、人工地盤等の外構防水など、幅広く活躍します。



レイヤコート A剤 レイヤコート B剤 レイヤコート 立上り用B剤 レイヤルーフ

- 1 改質アスファルトルーフィングが防水層としての耐久性を、貼付材が水路をふさぐ水密性を担保します。
- 2 耐水性・耐アルカリ性に優れており、コンクリート、モルタルなどで保護する押え工法や室内用途に最適です。
- 3 気温に左右されにくい二液性反応硬化タイプの貼付材ですので、規模に応じて1日で上掛け工程までの施工も可能です。
※塗布2工程・ルーフィング1工程の場合。面積や作業人員により異なります。
- 4 環境対応溶剤を使用し、ホルムアルデヒド拡散等級においてF☆☆☆☆を取得しています。
※室内での施工時は換気を充分に行ってください。



レイヤコートA剤とB剤を混合攪拌



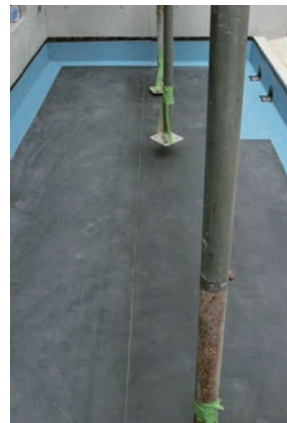
攪拌したレイヤコートをを用いてレイヤルーフを流し貼り



プライマー塗布



レイヤベースFS貼付(平面部)



レイヤベースF貼付(立上り部)



レイヤコート塗布

ア
ス
レ
イ
ヤ
工
法



シングル

シングルは北米を中心にして80~90年以上にわたって住宅の80%以上に使用され、日本でも45年以上に及ぶ数多くの実績があります。軽量で下地になじみが良く、耐風圧性に優れ、意匠性も高い為、特にRC造の中層建築物の勾配部に最適な防水材料です。



1 美しく柔らかな外観

屋根は建物の顔、シンボルともいえる部分です。周囲の環境とよく調和しながら、ソフトで気品のある質感は、他の屋根材にはみられません。

2 防火(飛び火)認定取得

近隣火災時における防火性能を証明する、国土交通大臣による防火認定を取得。【DR-0351~0358, 0401~0408】

3 優れた防水システム

アスファルト冷工法とシングル独自の接着工法を複合することで、従来の屋根仕上げ工法と比較して、格段に優れた防水効果を得られ、耐久性も向上します。

4 耐久性と耐候性

寸法安定性の極めて高い無機質機材に良質のアスファルトを含浸塗覆し、さらに表面に天然スレート砂や彩色焼成砂を撒着させました。丈夫で長持ちも屋根材の重要なポイントです。

5 軽量でなじみが良い

重さは瓦の1/5以下(約12kg/m²)。建物に負担をかけず、下地とのなじみも良いので、複雑な形状の屋根にも容易に使用できます。

6 風に強い

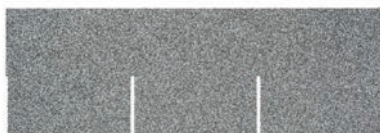
軽量でありながら、風に対する安全性は抜群。約40年にわたり度重なる台風などの遭遇にも、標準施工がなされたものについては、天災と考えられるもの以外、被害の発生がありません。

7 ノン・アスベスト

シングルは、その構成する原材料の中に、石綿を使用しておりませんので、環境・人体に対してクリーンな材料です。

シングル

長い歴史と豊富な実績を持つ屋根仕上げ材。防汚性に優れた光触媒効果のある焼成彩色砂仕上げタイプも登場。



〈一般焼成彩色砂シリーズ〉



SA-8 アンティークグリーンⅡ



SA-12 パイングローブⅡ



SA-310 パイニーブラウンⅡ



SA-320 ブライトグレー



SA-330 クラシックレッド



SA-401 リッチブラウン*



SA-402 ディープブルー*



SA-200 ブラックスワンⅡ



SG-601 クロスグレー*

〈光触媒シリーズ〉



SC-501 シルキーグレー*



SC-502 カシスブラウン*



SC-505 ハイブリッドホワイト*



SC-701 グランホワイト*

ロフティー

変退色の少ない大粒天然スレート砂仕上げタイプ。厚みがあり、天然石ならではのしっとりとした仕上がり感が特長です。



LA-1 ロイヤルブラックⅡ



LA-4 メッドブラウンⅡ*

*受注生産品(納期約2週間)。各色は印刷のため現物との色差がありますので、ご決定の際は色見本帳などをご参照ください。

「耐用年数」の設定

- 本仕様書に表示する「耐用年数」は、一般的条件の下での施工により形成される防水層自身の寿命としての目安です。
- 「耐用年数」の設定に使用した資料は、実際の現場から採取した1,000件以上に及び経年防水層の分析試験を行い、その累積結果を統計処理したものです。
- 経年防水層の分析手法は、総プロットの3次診断とほぼ同じ方法で行い、評価・診断については、総プロットの間考え方を基礎として、さらに改良を加えた分析結果をもとに、「耐用年数」を具体的な数値として設定しております。

総プロ:昭和55年度から5年間にわたり実施された建設省総合技術開発プロジェクト「建築物の耐久性向上技術の開発」の略称。

防水層の耐用年数

- ①経年防水層の分析結果からアスファルトの針入度を評価項目として防水層の「劣化度区分」と「判断基準」を(表-1)と(表-2)に示します。

針入度とは:
アスファルトのかたさを示す指標で、アスファルトが軟らかければ針入度は大きな値を示し、劣化によってかたくなると針入度の値は小さくなります。

■表-1

評価事項	劣化度区分			
	3	2	1	0
アスファルトの針入度	全層≤5	5<最良の1層<10	1層以上>10	全層≥10

■表-2

劣化度	判定基準	漏水時の処置
3	余命なし(耐用限界超過)	即時全面改修
2	余命なし(耐用限界にある)	応急処置後全面改修
1	やや余命あり	部分補修で短期延命
0	十分余命あり	部分補修で中期延命

- ②耐用年数と劣化度との関係:劣化度1と劣化度2の境界域 **1.5**を耐用年数とします。

耐用年数=劣化度1.5に達する経年数

- ③平均劣化度の算出:経年数別に各試料の劣化度を判定し、その総和を試料数で除した値をその経年数の平均劣化度とします。

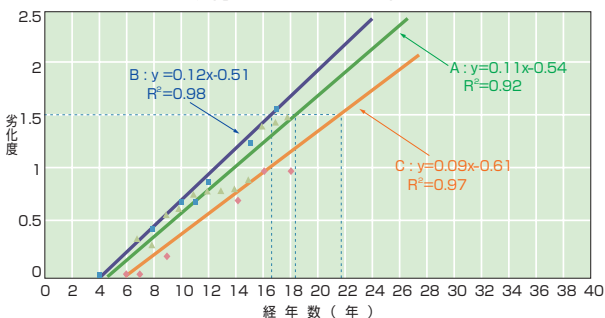
- ④「平均耐用年数」の設定:経年数に対する平均劣化度の変化をグラフにプロットし(▲)、全プロットの平均を表わします。回帰直線Aと劣化度1.5との交点を「平均耐用年数」として設定します。

平均耐用年数	砂付ルーフィング仕上げ	18年	グラフ-1
	押えコンクリート仕上げ	26年	グラフ-2

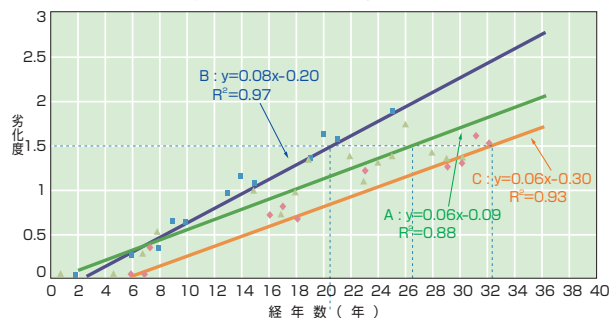
- ⑤「耐用年数の幅」の設定:耐用年数は防水仕様のグレード等により年数に幅を生じます。ここでは、その標準的な幅について設定します。グラフ-1及びグラフ-2で直線Aより左端に位置するプロット(■)を回帰直線Bで、右端に位置するプロット(◆)を回帰直線Cで表わし、それぞれの劣化度1.5との交点で示される範囲を耐用年数の幅とします。

耐用年数の幅	砂付ルーフィング仕上げ	17~22年	グラフ-1
	押えコンクリート仕上げ	20~32年	グラフ-2

■ グラフ-1 砂付ルーフィング仕上げ



■ グラフ-2 押えコンクリート仕上げ



- ⑥「断熱仕様の耐用年数」の設定:露出断熱仕様は非断熱仕様 비해防水層温度が高くなり、押え断熱仕様は非断熱仕様 비해防水層温度が低くなります。非断熱仕様に対する断熱仕様の耐用年数を設定しました。

断熱仕様の耐用年数	露出断熱	-5年
	押え断熱	+5年

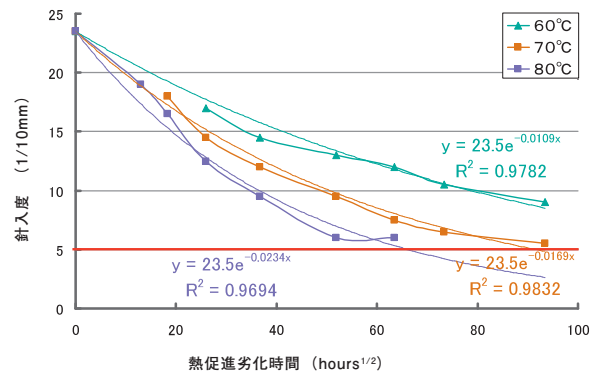
露出防水における保護塗料による防水層の劣化抑制効果

① 針入度と熱劣化の関係

● 針入度 vs. 熱劣化(促進試験)

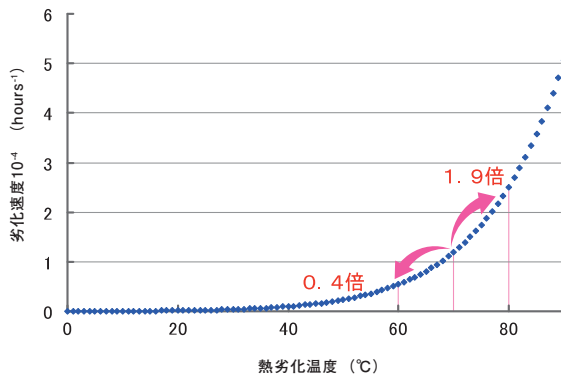
アスファルト防水層は熱や紫外線など様々な因子で劣化します。特に熱の影響で劣化が促進されることが分かっており、針入度と熱履歴との間に高い相関性があることが学術的に究明されています。

右のグラフは60、70、80℃のオープンで防水工事用アスファルトの熱促進劣化を行った結果を示したものであり、温度が高いほうが針入度の低下が大きく、劣化が速いことがわかります。



● 劣化速度の算出

この結果をもとに各温度における劣化速度を算出すると以下のグラフで表されます。



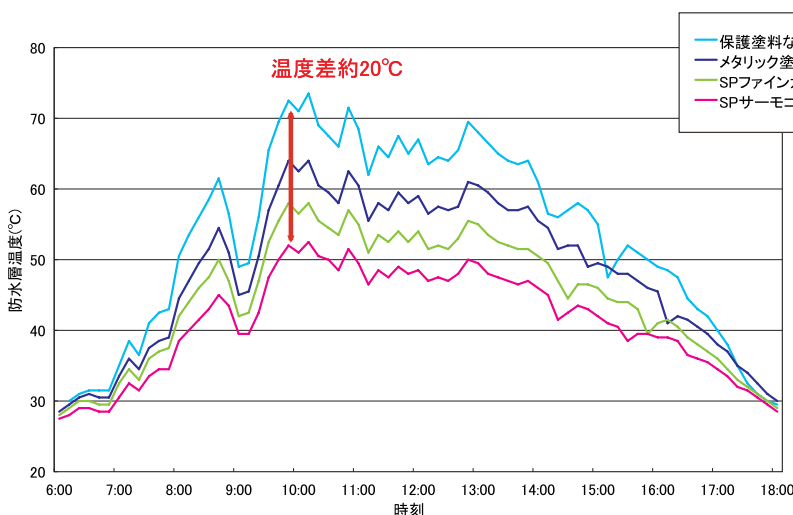
低い温度領域では劣化速度が極めて遅いのに対して、高い温度領域では劣化速度がかなり速いことがわかります。左のグラフから、70℃の劣化速度を中心として考えると、80℃では1.9倍、60℃では0.4倍となります。温度上昇を抑えることによる防水層の劣化抑制効果は、防水層の温度が高くなる断熱露出仕様においてこそ大きいといえます。

【2010年度 日本建築学会大会「防水材料の耐候性試験 その27 アスファルト防水層の耐候性予測方法の提案」より】

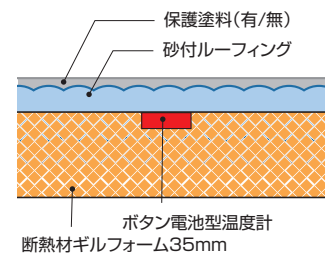
② 保護塗料の温度抑制性能と劣化抑制効果

● 保護塗料別の温度抑制効果

下のグラフは試験場において実測した保護塗料別の温度変化をプロットしたものです。塗料を塗布しない場合、夏場では防水層の表面温度が80℃を超えることがあります。保護塗料を塗布することで、防水層の表面温度を抑制する効果が得られます。



- 測定日:2010年8月24日
- 測定場所:東京都内試験場
- 最高気温:35℃



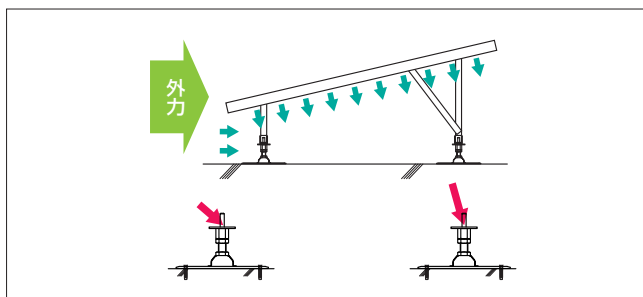
試験場実験風景

PV-FIX ソーラーベースの耐力設定

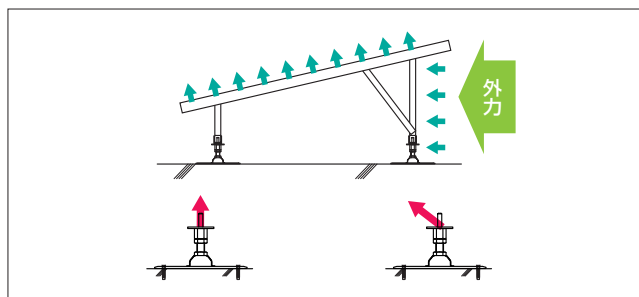
ソーラーベース(基礎)には、風荷重・地震荷重・積雪荷重等、様々な力が働きます。これらは、建物条件、架台の構造によって異なり、様々な方向に作用することを考慮しなければなりません。

ソーラーベースに作用する力

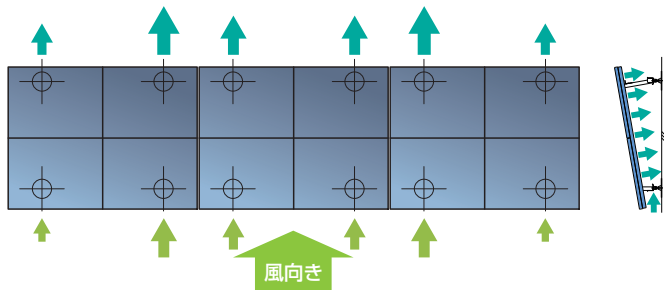
架台の構造・基礎の配置によって、個々の基礎に作用する力の向き・大きさは異なります。



➡ 外力の方向 ➡ パネルや架台にかかる力の方向



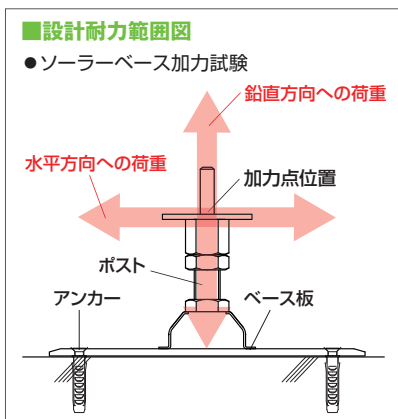
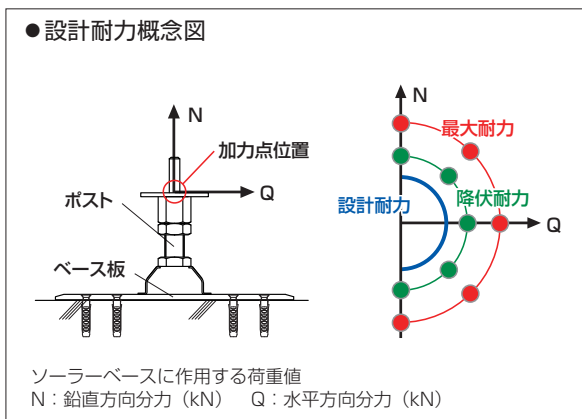
➡ ソーラーベースにかかる力の方向



● 基礎に作用する力は、架台の形状・性状により異なります。ソーラーベースに作用する力(風・地震・積雪)については、架台設計者の責任のもと構造計算を行い算出してください。

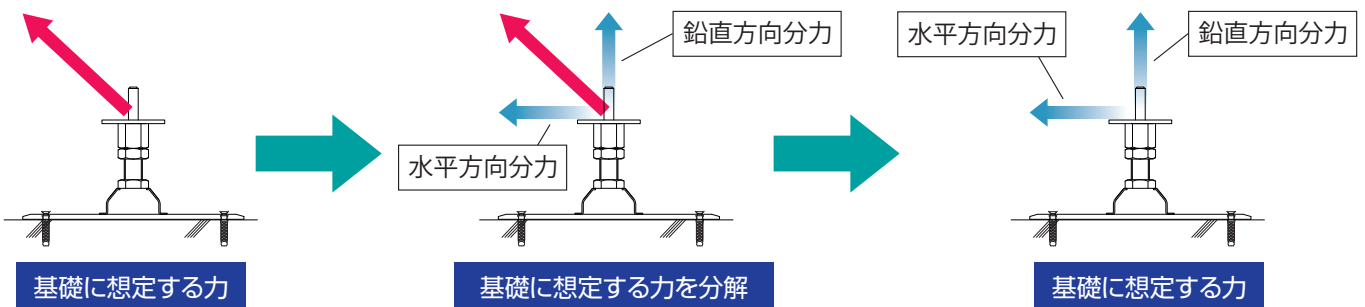
ソーラーベースの耐力設計

製品本体を用いて、実際に力が作用する箇所に载荷した加力実験を行っています。得られた値を基に、十分に安全率を考慮し設計耐力値を設定しています。

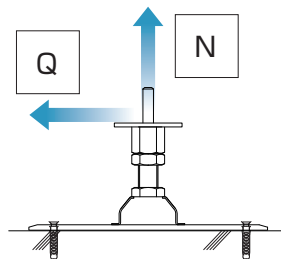


| ソーラーベースの耐力検討

使用する架台の構造計算によって求められた基礎に作用する力とソーラーベースの耐力とを比較・検討します。基礎に作用する力は、多くの場合斜め方向の力として算出される為、その力の鉛直方向分力と水平方向分力に分解されて表します。これらは分力となるので、分力が同時に作用するものとして、ソーラーベースの鉛直方向耐力と水平方向耐力を用いた耐力判定式に値を代入して耐力検討、安全性判断を行います。

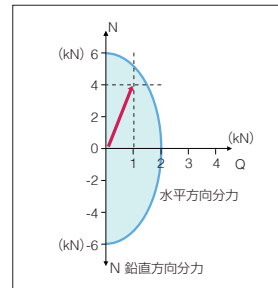


■ソーラーベースSの場合の検討例



基礎に想定する力を
鉛直方向分力 N=4.0(kN)
水平方向分力 Q=1.0(kN)
と仮定すると、

$$\left(\frac{N}{6}\right)^2 + \left(\frac{Q}{2}\right)^2 = 0.69$$



耐力判定式

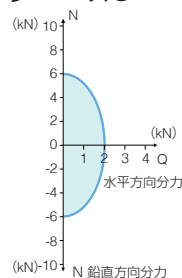
$$\left(\frac{N}{6}\right)^2 + \left(\frac{Q}{2}\right)^2 \leq 1$$

※ / 基礎にかかる力の大きさのと向き

	設計耐力(kN)		最大耐力(kN)	
	鉛直方向	水平方向	鉛直方向	水平方向
ソーラーベースS	6.0	2.0	20以上	8以上
ソーラーベースW70	10.0	5.0	50以上	15以上

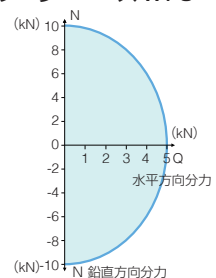
■設計耐力範囲図

•ソーラーベース S

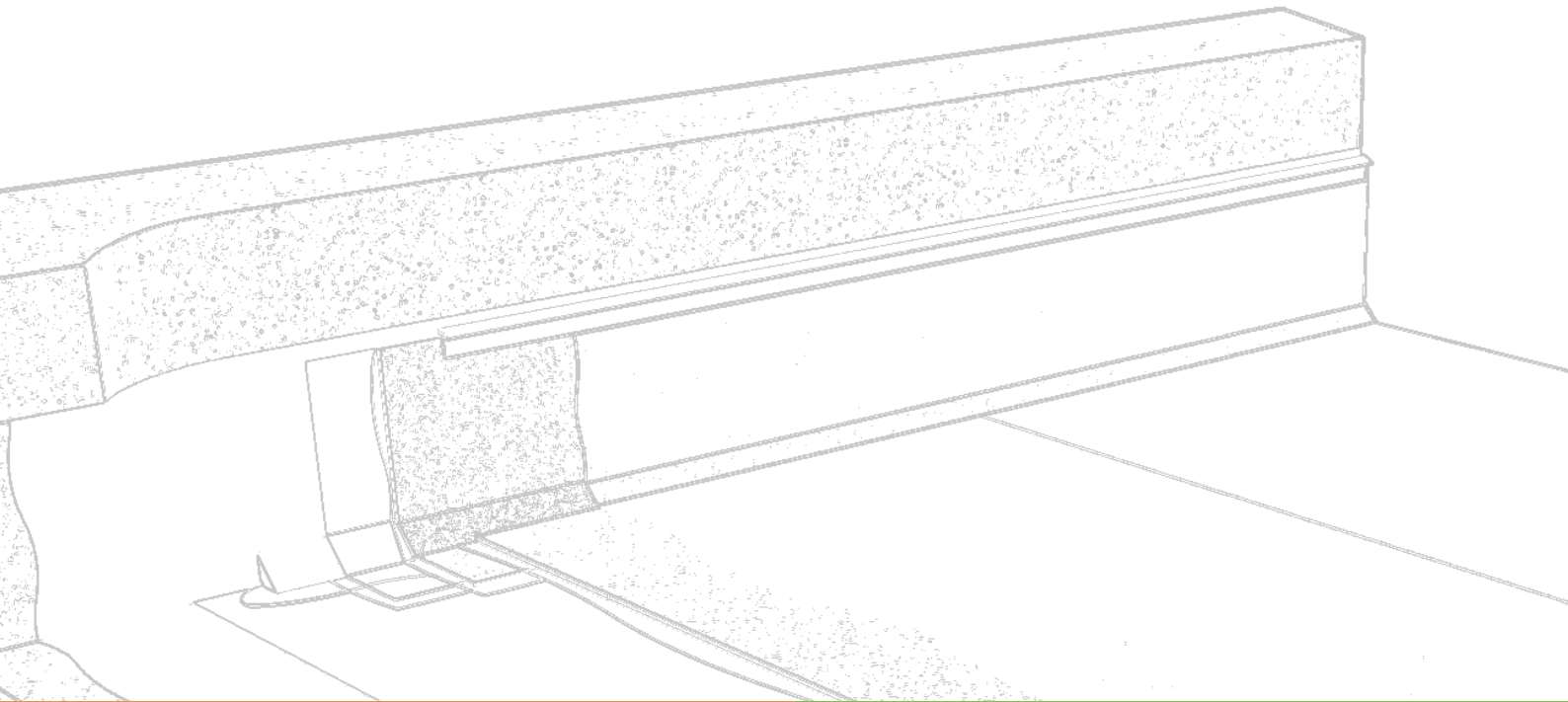


耐力判定式 $\left(\frac{N}{6}\right)^2 + \left(\frac{Q}{2}\right)^2 \leq 1$

•ソーラーベース W70

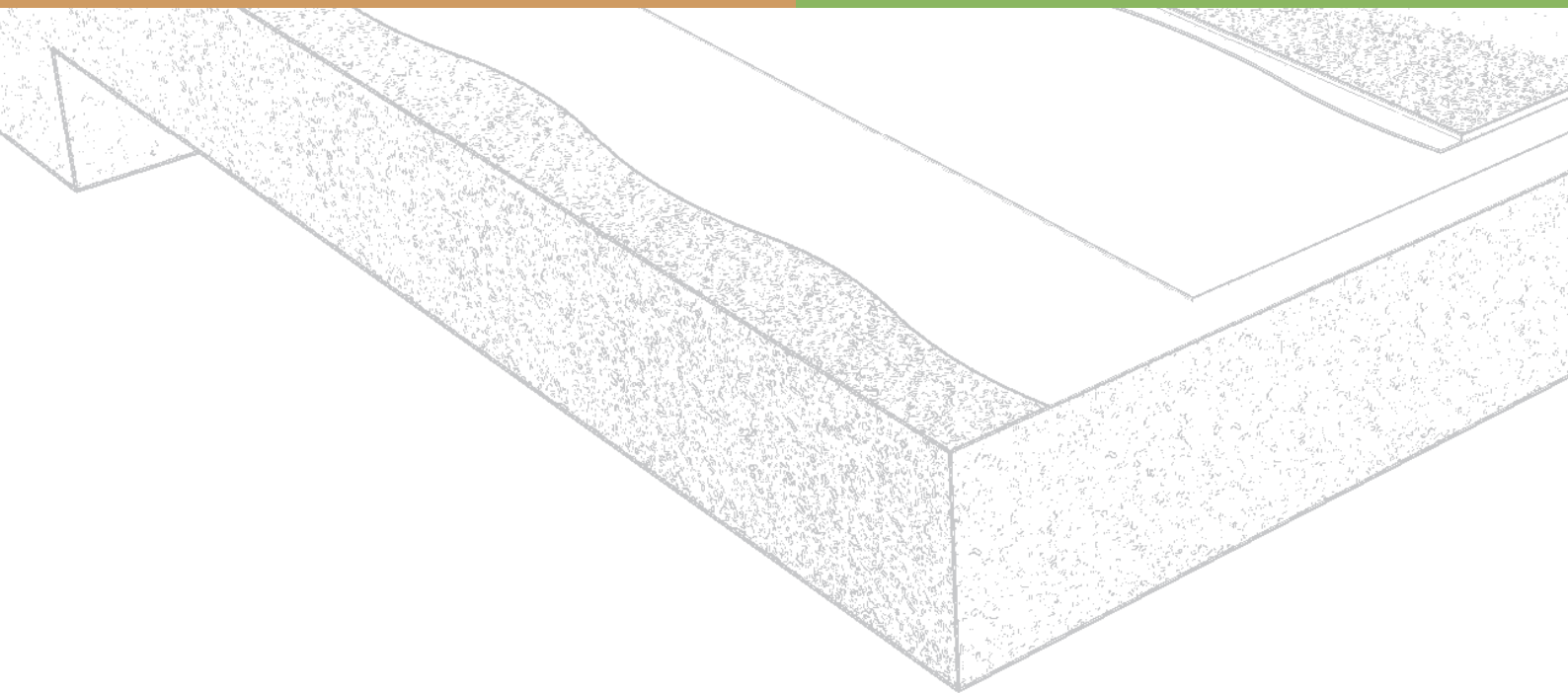


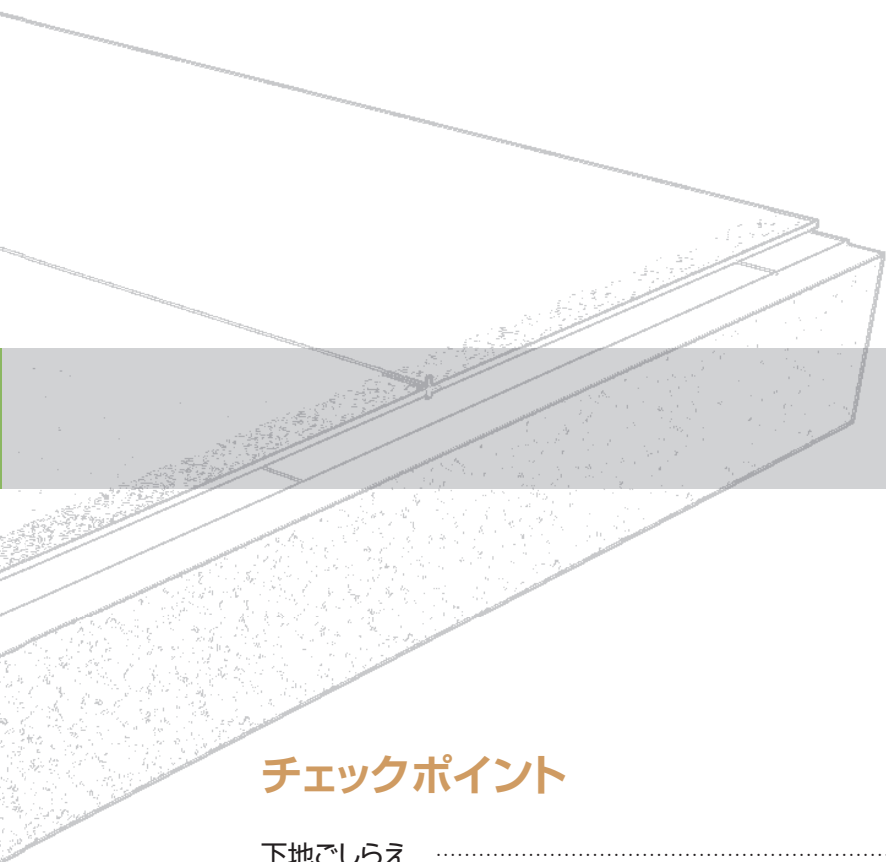
耐力判定式 $\left(\frac{N}{10}\right)^2 + \left(\frac{Q}{5}\right)^2 \leq 1$



チェックポイント

材料紹介



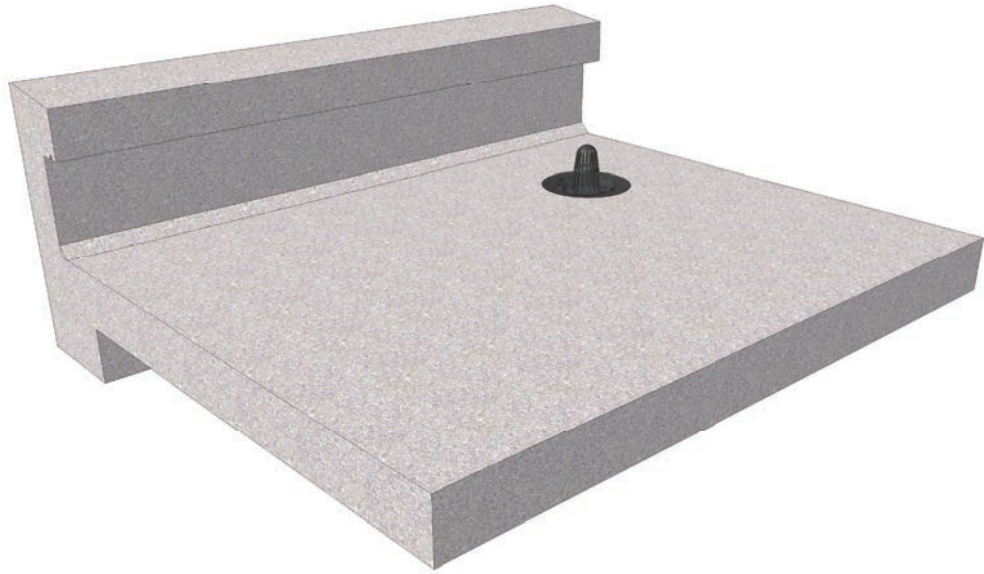


チェックポイント

下地ごしらえ	71
砂付ルーフィング仕上げ	73
押えコンクリート仕上げ	73
室内防水	74

材料紹介	75
------------	----

下地ごしらえ



下地の種類と注意

鉄筋コンクリートのスラブ

・亀裂が比較的小さく動きにくい。

デッキプレートに普通コンクリート 又は軽量コンクリート打ちの下地

- ・梁やデッキプレートのジョイント部に亀裂や動きが集中する。
- ・スラブ下面が密閉された片面乾燥のため、各種防水下地の中では最も乾燥が遅い。
- ・現場打ちコンクリートは表面にレイタンスが発生し易く、防水層との接着阻害を引き起こす場合があるので注意を要する。

ALCパネル

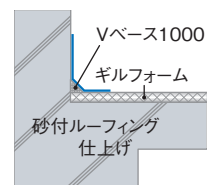
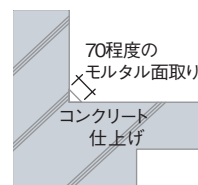
- ・目地に段差が生じないよう堅固に取り付ける。
- ・吸水しやすく、十分な乾燥が期待できないので注意を要する。
- ・梁上の短辺ジョイント部には、種々の要因によるムーブメントが想定されるため、必要に応じて絶縁処理や増貼りを行う。
(ALCの線膨張係数は $7 \times 10^{-6}/^{\circ}\text{C}$ である)

PCa板

- ・目地に段差が生じないよう堅固に取り付ける。
- ・板相互の突付のジョイント部にムーブメントが想定されるため、必要に応じて絶縁処理や増貼りを行う。
(コンクリートの線膨張係数は $10 \times 10^{-6}/^{\circ}\text{C}$ である)

① 入隅

- ・押えコンクリート仕上げの場合は、ルーフィング類の貼付けを確実にするため70mm程度の面を取り、それ以外は直角とする。
- ・押え断熱仕様では面をとらず直角にすることもある。
- ・冷工法エコフィット工法、BANKS工法押えコンクリート仕上げ(非断熱・断熱)の場合は直角に仕上げる。



② 立上り部

- ・立上り面は型わく精度を高め、原則として打ち放仕上げで平滑な面とする。
- ・目違いはサンダーがけし、ジャンカなどはモルタル用接着剤を用いて補修する。
- ・ペントハウスや工作物廻りにはアゴを設ける。
 - ①アゴは躯体と一体打ちとし、アゴ上面と躯体が剥離しないようにする。
 - ②アゴ下端には水切溝を設ける。

③ 排水

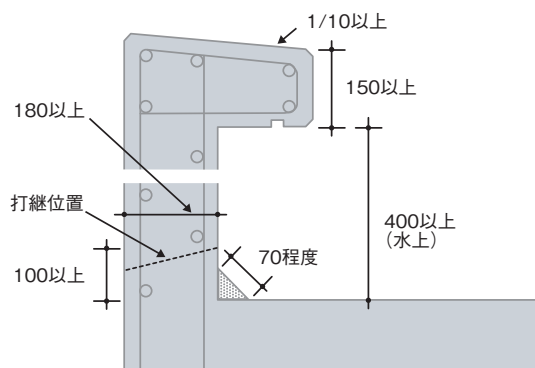
- ・ルーフトレンの排水分担面積は十分に余裕を持たせる。
- ・ドレンはJCW(日本鋳鉄ふた・排水器具工業会)のルーフトレン規格品(JCW301)を基準とする。
- ・ドレンは打込みタイプとし、防水層の厚みを考慮して必ず周囲より低めに取付ける。(30~50mm程度)
- ・ドレンと立上りとの間隔は十分にとって(300mm程度)、防水施工がしやすいようにする。
- ・設置数はSHASE-S206(給排水衛生基準)の「雨水排水管径の決定」を参考とする。
- ・小面積であっても不慮の排水不良を想定して2個以上設置するか、もしくはオーバーフロー管の設置が望ましい。
- ・オーバーフロー管は防水層の貼りかけ代のある専用部材とする。

推奨ドレン (第一機材株式会社製)
防水貼りかけ代幅(ドレンつば)100mm品



④ パラペット

- ・スラブと同時打ちが原則である。やむを得ず打ち継ぐ場合は、防水保護仕上げ面より上(100mm以上)とし、打継ぎ面は外勾配とする。
- ・立上がり厚は180mm以上、アゴの見付厚は150mm以上とし、ダブル配筋とする。
- ・パラペットの仕上げは金属笠木を標準とする。
(金属笠木を用いない場合、天端は1/10以上の水勾配をつける)
- ・パラペット天端は、コンクリート打設時に直仕上げとし、モルタルの塗り足しは行わないこと。



例: 押えコンクリート仕上げの場合

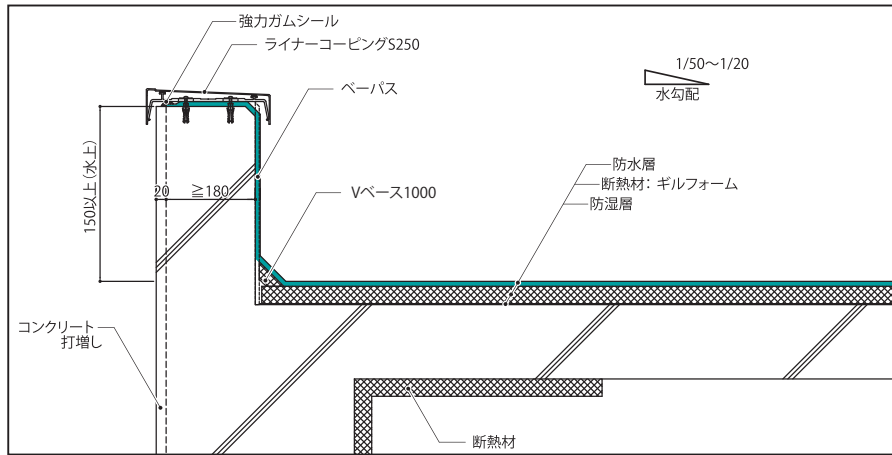
⑤ 平坦部

- ・下地の表面は凹凸無く平滑な面とする。
- ・現場コンクリート下地の場合は金で仕上げとする。
- ・ALCパネル・PCa板の場合には継手部の目地に段差がないこと。目地部に充填したモルタルの表面は平坦で浮きや剥離のないこと。
- ・剥離、ふくれ防止のため、下地は十分に乾燥させるよう特に注意する(目安として打設後約4週間の乾燥期間を基準とする)。
- ・防水下地に耐震スリットが入らないようにする。
- ・貫通配管の立上りからの距離は500mm以上、配管相互の間隔は100mm以上とする。

⑥ 勾配

- ・勾配は必ず躯体でとる。
- ・勾配は仕上げ方法により異なる。(防水仕様P17~52を参照。)
- ・押えコンクリートの表面でも速やかに排水できるようにする。

砂付ルーフィング仕上げ



① 入隅+立上り1層目

- ・Vベース1000はコーナー部の緩衝材の役目も果たすので、プレキャスト部材による屋根下地の隅部の補強にも有効である。
- ・断熱仕様の場合には、隅を直角とし、ギルフォームを貼付けたのちVベース1000を使用する。

② 平坦部

- ・コンクリート下地の場合は、十分平滑な面とする。勾配は必ず躯体自身でとり、1/50~1/5が望ましい。(1/100勾配は、水はけが困難なので、できるだけさける。)

③ 断熱仕様の場合

- ・デッキプレートにコンクリート打ちの下地や寒冷地の屋根では、下地の十分な乾燥が期待できないのでギルフォーム防湿断熱仕様を採用のこと。

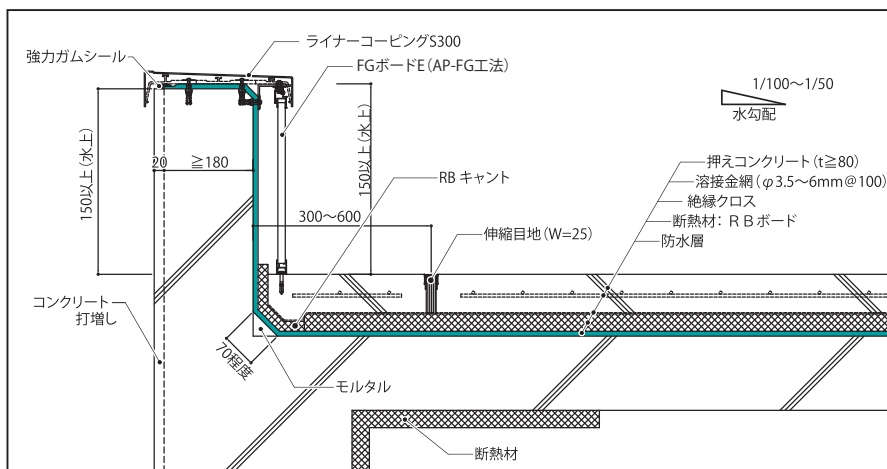
④ 保護塗料

- ・保護塗料を塗布する場合は、必ずSPシリーズを使用すること。

※やむを得ず重量物を設置する場合

- ・基礎は躯体から立ち上がるのが望ましい。
- ・砂付ルーフィング仕上げに基礎を設置する場合の注意事項
 - ①砂付ルーフィング仕上げの上に直接基礎を設置すると、防水層を損傷するので絶対行わない。
 - ②やむを得ず設置する場合は、集中荷重とならない様に基礎面積を広くとり、防水層の上に保護材を使用すること。

押えコンクリート仕上げ



① 保護コンクリート

- ・普通コンクリートとし、水上から水下まで一定の厚さとする。
- ・厚さ80mm以上が必要で、溶接金網(φ3.5~6mm、@100)を挿入してひび割れの防止をはかる。
- ・保護コンクリートは防水層施工後すみやかに打設すること。
- ・コンクリートポンプ車の庄送管が防水層に直接触れないようにする。

- ・モルタル押えは割れやすく、剥離して反り、あばれなどを起こすので使用しない。
- ・断熱防水でRBボード仕様の場合は次の点に注意する。
 - ①RBボード貼付後、できるだけ早期にコンクリートを打設する。
 - ②コンクリートを打設するとき、RBボードを傷つけないようにする。

乾式工法「AP-FG工法」



② 立上り保護(乾式工法)

- ・FGボードEの高さは、水で600mm以内を基本とする。
- ・下部ホルダー固定部のコンクリートは、厚さ50mm以上、80mm程度を確保する。

③ 手摺

- ・パラペット部分への取付けは事故が多いので避ける。
- ・コンクリートなどの基礎を用いて平坦部に独立させて設ける。

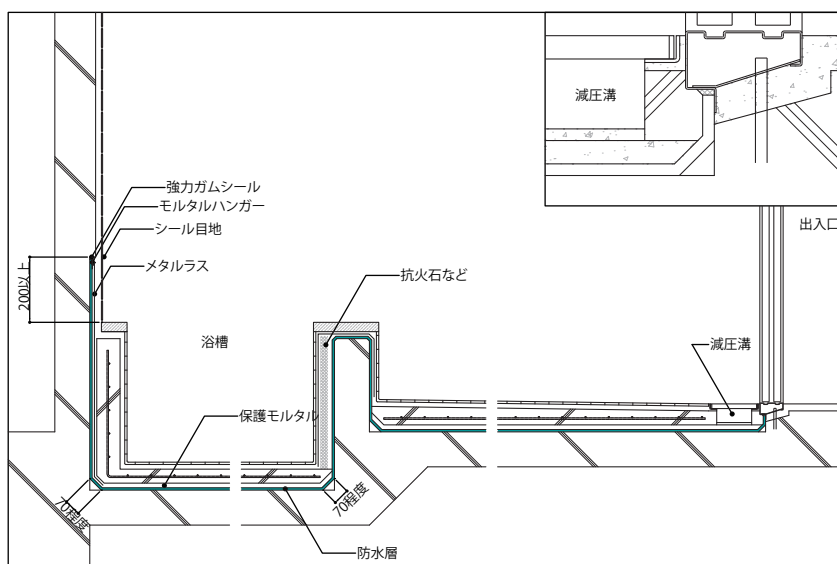
④ 伸縮目地

- ・伸縮目地の不備による事故例が多いので十分注意すること。
- ・防水層絶縁材の表面に達する深さまでとること。
- ・防水押えの種類や厚さによって異なるが、通常は立上り押えの仕上面から300mm～600mmの位置に幅25mm以上のボーダー目地をとり、さらに屋根全面には幅20～25mmの目地を2～3mのます型に設ける。また各自地は立上りの際まで通して切る。
- ・伸縮目地材を取付けの際、防水層に釘などを絶対打たないこと。
- ・防水層施工後、入隅にRBキャントを貼付ける。

RBキャント



室内防水



屋根と異なり温度変化が少なく、下地の動きが小さい利点はあるが、設備が多くなされるため、パイプなどが下地を貫通し複雑な納まりとなる箇所が多い。

- ・壁面は湯水のかからない高さまで、防水層の立上りを十分にとる。(浴槽が壁際に設置される場合やシャワーまわりでは特に注意)
- ・入口の立上り高さは床仕上面より150mm以上とする。確保できない場合は、グレーチングタイプの排水トラップ等を設置する。
- ・重要度の高い室内では、ピットなどを設置する。
- ・高温用タイプを通す場合はスリーブ管を用い、防水層は必ずスリーブ管に接合させる。
- ・高温用タイプとスリーブ管の間は、断熱処理をおこなう。

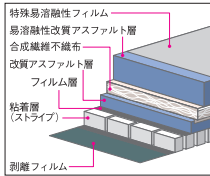
材料紹介

ルーフィング

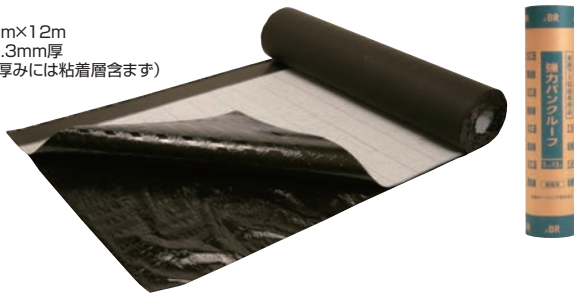
強カバンクルーフ

改質 絶縁 粘着

表面に特殊処理を施したフィルムをラミネートした、粘着層付改質アスファルトルーフィングです。表面フィルムの下には熔融性の高い改質アスファルト層がコーティングしてあり、ルーフィング表面をバーナーで溶かすことで2層目のルーフィングを流し貼りのように施工することができます。



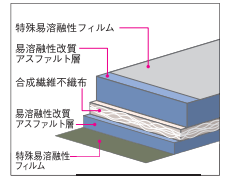
- 1m×12m
- 2.3mm厚
(厚みには粘着層含まず)



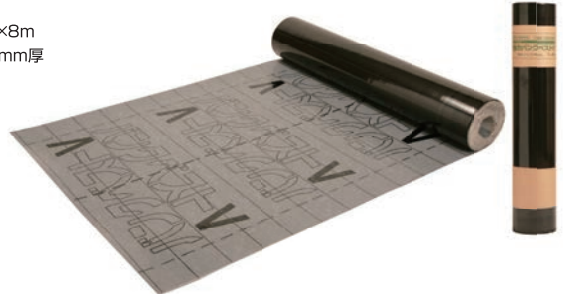
強カバンクベストV

改質

BANKS工法用の立上り用中貼改質アスファルトルーフィングです。裏面にも熔融性の高い改質アスファルトとフィルムが積層しており、裏面をあぶって貼り付けます。



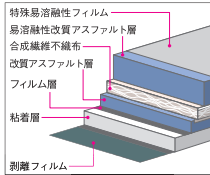
- 1m×8m
- 2.5mm厚



強カバンクルーフV

改質 粘着

BANKS工法用の立上り用粘着層付改質アスファルトルーフィングです。表面は強カバンクルーフ同様に溶けやすい改質アスファルト層がコーティングしてあり、2層目のルーフィングをまき上げ工法のように施工することができます。



- 1m×12m
- 2.4mm厚

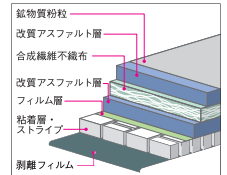


強カストライプZ

改質 絶縁 粘着

改質アスファルトルーフィングの裏面の粘着層がストライプ状になっています。ふくれ防止絶縁機能と中貼材の機能を併せもつ高機能ルーフィングです。

※T-強カストライプZ
規格等はすべて強カストライプZに同じで、表面のみ黒色



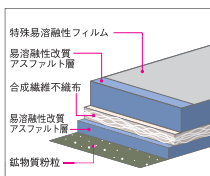
- 1m×16m
- 1.4mm厚
(厚みには粘着層含まず)



強カバンクベスト/強カバンクベストII

改質

表面に特殊処理を施したフィルムをラミネートし、表側には熔融性の高い改質アスファルト層をコーティングしたBANKS工法用中貼改質アスファルトルーフィングです。



- 強カバンクベスト
- 1m×16m
 - 2.0mm厚

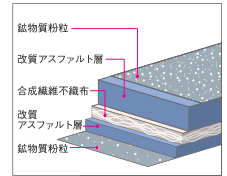
- 強カバンクベストII
- 1m×12m
 - 2.5mm厚



強カライズ

改質

合成繊維不織布基材に改質アスファルトを十分に含浸塗覆した高級ルーフィングです。破断抵抗性・耐久性にすぐれています。



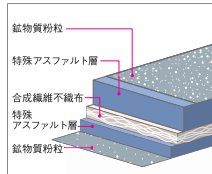
- 1m×16m
- 1.7mm厚



※各材料の寸法等は、実際の製品と若干異なる場合があります。

強力アドバン

合成繊維不織布基材の高級ルーフィングです。破断抵抗性・寸法安定性など中核材としての性能をさらに高めたストレッチルーフィングです。



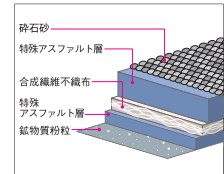
- 1m×16m
- 1.7mm厚



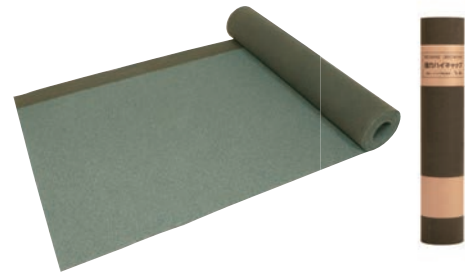
強力ハイキャップ

砂付

寸法安定性にすぐれ、碎石砂を表面に密着させた砂付ストレッチルーフィングです。

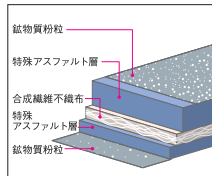


- 1m×8m
- 2.9mm厚



強力ギル

新設計の不織布技術で作られた基材をベースにした高剛性強力不織布ルーフィングです。安定した信頼性の高い防水層を形成します。



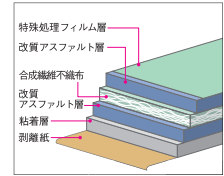
- 1m×16m
- 1.4mm厚



新強力エコフィットF

改質 粘着

全層に特殊配合の改質アスファルトを使った冷工法用の中核材です。片面が粘着層、片面が特殊処理を施したフィルムになっています。



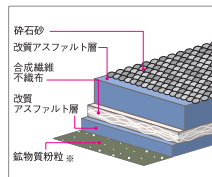
- 1m×16m
- 1.5mm厚



強力ガムフェース／EX／V

砂付 改質

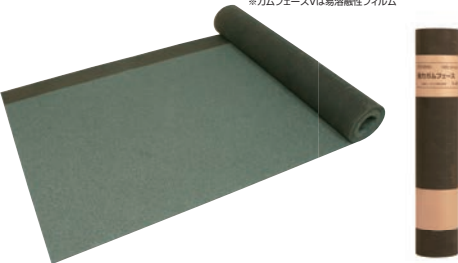
ラップ部分に溶融性の高い改質アスファルト層をコーティングした砂付改質アスファルトルーフィングです。厚手タイプの強力ガムフェースEXとBANKS工法立上り施工用に裏面を特殊易溶融性フィルムをラミネートした強力ガムフェースVもあります。



- 強力ガムフェース
- 1m×8m
- 3.2mm厚

- 強力ガムフェースEX
- 1m×8m
- 3.4mm厚

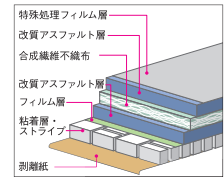
- 強力ガムフェースV
- 1m×8m
- 3.4mm厚



新強力エコフィットFS

改質 絶縁 粘着

部分接着機能と中核材の役割を併せ持つ、省力化志向のふくれ防止用ルーフィングです。ストライプ状の粘着層が下地からの湿気を拡散します。



- 1m×16m
- 1.0mm厚
- (厚みには粘着層含まず)



材料紹介

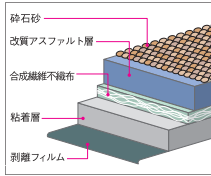
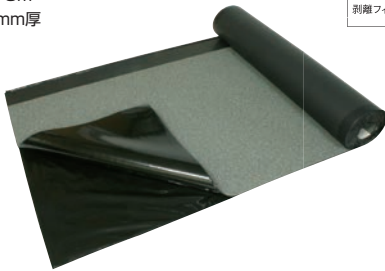
ルーフィング

新強力エコフィットC

砂付 改質 粘着

特殊基材と特殊配合の改質アスファルトで構成し、裏面に粘着層を設けた冷工法用砂付ルーフィングです。

- 1m×8m
- 2.9mm厚

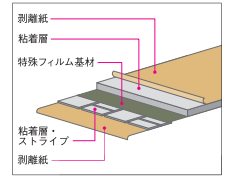


ダンパーシート

防湿 改質 粘着

両面に粘着層を設けた防湿用シートです。ギルフォームの下に貼付けることで防湿機能をプラスできます。

- 1m×32m
- 0.8mm厚
(厚みは粘着層含む)

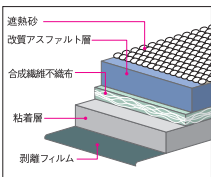
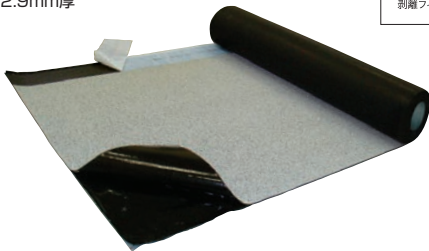


強力エコフィットサーモ

遮熱 砂付 改質 粘着

表面に遮熱機能を付与した砂粒を密着させた、冷工法用砂付ルーフィングです。ルーフィング自体に遮熱効果があります。

- 1m×8m
- 2.9mm厚

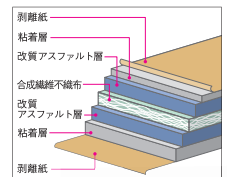


ガムロンMGベースB

改質 粘着

合成繊維不織布基材に改質アスファルトをコーティングし、両面に粘着層を設けたルーフィングです。

- 1m×12m
- 1.5mm厚



防水工用アスファルト

アスタイトM



クリーンタイプの防水工用アスファルトです。煙と臭いの発生を抑えることでクリーンな作業環境で防水工事ができます。ACS・クリンケトルと組み合わせて使用することで、作業環境から大幅に臭いと煙の発生を減少させることができます。

- 25kg/袋

クリンタイトJ

低煙・低臭・クリーンタイプの改質アスファルトです。発煙量が少なく都市型現場に最適です。フィルム包装のため溶融釜にそのまま投入が可能です。



- 10kg/袋

ガムタイトクリーン

広い温度範囲で安定した性能を発揮する防水工用改質アスファルトです。ACS・クリンケトルと組み合わせて使用することで、作業環境から大幅に臭いと煙の発生を減少させることができます。フィルム包装のため溶融釜にそのまま投入が可能です。



- 10kg/袋

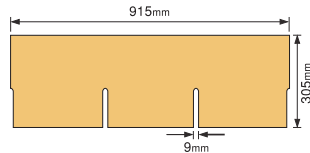
※各材料の寸法等は、実際の製品と若干異なる場合があります。

勾配屋根材

ロフティー

シングルの特性を受け継ぎ、表面砂を大粒スレート砂に変え、また製品厚みのアップにより、さらに優れた意匠性と耐久性を実現しました。

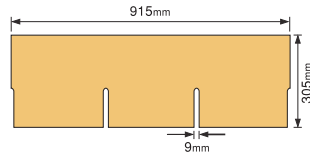
- 本体 ●915mm×305mm
- 4.0mm厚
- 14枚/束
- 棟用 ●915mm×305mm
- (1シート:305mm×305mm×3枚)
- 14シート(42枚)/束
- 谷用 ●925mm×6m



シングル

寸法安定性に優れたガラス繊維からなる丈夫で柔軟な基材に良質なアスファルトを十分に含浸塗覆し、表面に特殊な顔料で焼成着色した珪物粒(彩色砂)を圧着した屋根材です。

- 本体 ●915mm×305mm
- 2.8mm厚
- 20枚/束
- 谷用 ●925mm×6m

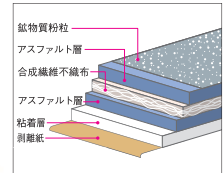


ガムクールM

改質 粘着

改質アスファルトを主原料とし、裏面に粘着層を設けたシングル専用下着材です。

- 1m×10m巻
- 1.5mm厚



断熱材

ギルフォーム

非常に大きな断熱効果が得られる板体の高級断熱材です。クールボンドでの接着のほか、熱アスファルトでの接着も可能です。環境問題に十分配慮した「ノンフロン」の断熱材でSとWの2タイプがあります。

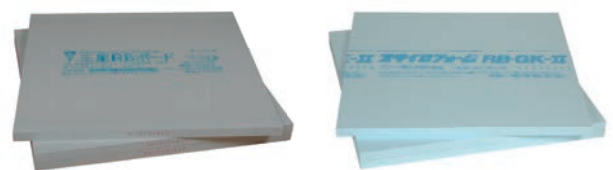
(W:受注生産品 20梱包より 納期約2週間)



- | | |
|---------------------|-----------------------|
| ギルフォームS 605mm×910mm | ギルフォームW 1,200mm×900mm |
| ●25mm 16枚/梱包 | ●25mm 10枚/梱包 |
| ●40mm 10枚/梱包 | ●40mm 6枚/梱包 |
| ●30mm 14枚/梱包 | ●30mm 8枚/梱包 |
| ●50mm 8枚/梱包 | ●50mm 5枚/梱包 |
| ●35mm 12枚/梱包 | ●35mm 7枚/梱包 |
| ●60mm 7枚/梱包 | ●60mm 4枚/梱包 |

RBボード/スタイロフォームRB-GK-II

連続押し出し発泡による気密性の高い独立気泡で構成された硬質ポリスチレンフォーム製のノンフロンタイプ断熱材です。



- | |
|------------------------------------|
| RBボード/スタイロフォームRB-GK-II 910mm×910mm |
| ●25mm 20枚/梱包 |
| ●30mm 15枚/梱包 |
| ●35mm 15枚/梱包 |
| ●40mm 10枚/梱包 |
| ●50mm 10枚/梱包 |
| ●60mm 8枚/梱包 |

通気材

ベーパー

部分接着工法によって拡散移行した下地からの水分を、立上り部から外へ逃がす働きをする通気材です。立上り部の長さ10mlに1カ所程度の割合で均等に設置します。下地に湿気が多い場合は状況により設置数を増やします。

- 高さ:350-500-700-1,000mm
- 各5本入/箱



ステンレスベーパー/W

平面部から通気を行うためのステンレス製の通気材です。70~80m²当たり1カ所の割合で均等に設置します。下地に湿気が多い場合は状況により設置数を増やします。断熱工法の場合は2重通気タイプのステンレスベーパーWを用います。

- 300mm×300mm×H205mm



ステンレスベーパー

ステンレスベーパーW

材料紹介

アルミ製雨仕舞材

ライナーコーピングs

安全設計された強化タイプカ板の採用で笠木強度の信頼性を大幅に向上させたアルミ製笠木です。パラペット幅80mmから500mm以上まで幅広く対応します。

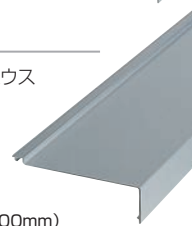
(表面処理:アルマイト9μ+アクリルクリアー7μ 長さ:4,000mm)



ライナーキープs

ライナーコーピングsのパートナーとして、ペントハウス周りで対応するアルミ製笠木です。

(表面処理:アルマイト9μ+アクリルクリアー7μ 長さ:3,000mm)



フラッシュエッジ70A・110A

パラペット天端用の雨仕舞材です。上下に分かれた金物で防水層端部を挟み込むように納めるため、風に強く優れた防水機能を発揮します。

(長さ:3,000mm)



フラッシュトップ60

立上り端部からの雨水浸入を確実に防ぐため、剛性の高いトップアングルで防水層を押さえた後、本体でカバーする二重方式を採用した雨仕舞材です。

(長さ:2,995mm)



仕上げ材

SPサーモコート／SPスーパーサーモコート

アクリル樹脂に特殊骨材を加えて構成した防水層保護塗料です。

- ・遮熱性に優れ、防水層の温度上昇を防ぎます。
- ・防火性能が高く、防水層を近隣の飛び火から保護します。
- ・エマルジョンタイプなので、火災や中毒の危険性がありません。

- 18kg/缶
- 色:SPサーモコート3色 SPスーパーサーモコート1色

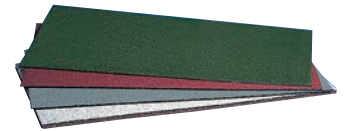


バリキャップ

厚さ6mmの砂付タイプ板状成型品で、表面に焼付彩色した砂粒や自然色砂粒を隙間なく密着させた軽歩行用の保護仕上げ材です。施工性にすぐれ、2色あるいは3色を組み合わせるとカラフルで美しいパターンの屋上が仕上げられます。バリキャップの裏面に剥離フィルムを貼りつけた冷工法用のバリキャップPもあります。

(粘着層は付いていません)

- 0.5m×1.0m ●6mm厚
- 5.1kg/枚
- 色:自然色・ライトグレー・新緑・赤茶



SPファインカラー／SPミッドカラー SPクリーンカラー

アクリル樹脂を主成分とする防水工専用保護塗料で、耐候性、耐久性に優れた防水層を熱や紫外線から保護します。

- ・エマルジョンタイプなので、火災や中毒の危険性がありません。



- SPファインカラー
- 18kg/缶
- 色:4色 (10ページ参照)



- SPミッドカラー
- 18kg/缶
- 色:4色 (10ページ参照)

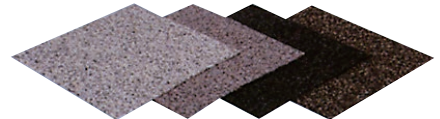


- SPクリーンカラー
- 18kg/缶
- 色:3色 (10ページ参照)

ステップスクエア500

天然の細かい砂粒と特殊配合樹脂のバインダーを混合してつくった成型板タイプの仕上げ材で、自着層付なので裏面の剥離紙を剥がして圧着するだけで施工できます。2色あるいは3色を組み合わせるとカラフルでデザイン性豊かな屋上が仕上げられます。

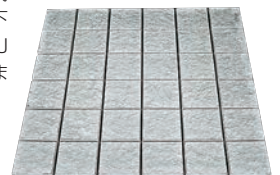
- 500mm×500mm
- 7.5mm厚
- 2.9kg/枚
- 色:4色



エイブロックBF・BJ

合成樹脂ネットで補強されたセメント系成型パネルです。目地部分で折り曲げて下地の不陸等に馴染ませて設置します。BJタイプは、専用ビスで連結して敷設します。(BF,BJ共に受注生産品)

- 600mm×600mm
- 25mm厚
- 20kg/枚



※各材料の寸法等は、実際の製品と若干異なる場合があります。

塗膜防水材

レイヤコート/レイヤコート立上り用

常温反応型改質アスファルト塗膜材です。シックハウスの原因となるホルムアルデヒドを含んでおりませんので室内での防水に最適です。また、アスファルト防水との接着性に優れていますので、架台廻りの複雑部位に施工し、平面部はアスファルト防水を施工することでより信頼性の高い防水層が形成できます。

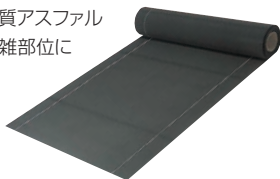
- レイヤコート
19.5kg/セット
(A剤:1.5kg/缶、B剤:18kg/缶)
- レイヤコート立上り用
12.0kg/セット
(A剤:1.5kg/缶、立上り用B剤:10.5kg/缶)



レイヤルーフ

レイヤコートと組み合わせることで従来のアスファルト防水熱工法と同様に信頼性の高い積層防水層を形成できる改質アスファルトシートです。柔軟性が高く、立上り部や複雑部位にもなじみが良く確実な施工ができます。

- 1m×16m
- 1.5mm厚

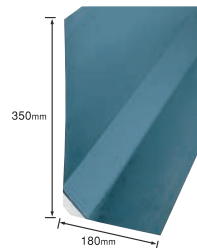


立上り用防水材

Vベース1000

コーナーキョント付冷工法プレハブ防水材です。

- 長さ:1000mm(ラップ部分100mm)
- 有効長さ:900mm
- 12枚/箱



エンシンシート

役物やドレン廻りなど複雑部位を切り込みを入れずに施工できる延伸性に優れたシートです。主にエコフィット工法で使用します。

※アスクールと組み合わせての使用はできません

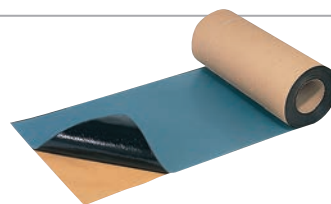
- 0.45m×8m
- 1.5mm厚



FV-50

立上り部の施工性を高めるために、2層仕上げ用の第1層目に用いる粘着層付改質アスファルトルーフィングです。

- 0.5m×16m
- 1.5mm厚

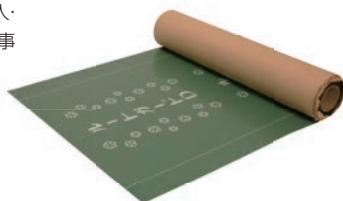


屋上緑化部材

ルートガードD 粘着型耐根シート

生長した植物の根が、防水層に侵入・貫通することによって起こる漏水事故を防ぐ粘着型耐根シートです。

- 1m×16m(ラップ100mm)
- 1.0mm厚



ルートガードテープ

ルートガードDのラップ部分の段差を覆うように増し貼りして、耐根性能を万全にするテープです。

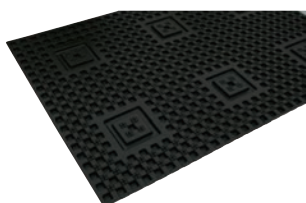
- 100mm×50m
- 0.2mm厚



FDドレインLN 保水・排水成型パネル

上部溝には植栽に必要な水分量を保水し、裏面の空間を排水暗渠として、余剰水を速やかに排水します。
※リサイクルポリスチレン製

- 1m×1.5m
- 10枚/セット



FDフィルター 土壌流出防止フィルター/FDピン FDフィルター固定用ピン

客土中の水分を排出し、客土流出を防ぐ合成繊維不織布フィルターです。長時間、目詰まりすることなく機能します。

- FDフィルター1000
●1m×25m ●0.8mm厚

- FDフィルター2000
●2m×25m ●0.8mm厚

- FDピン
●100個/箱



FDフィルム 耐根補助フィルム

ルートガードの耐根性能を補助するためのフィルムです。1m程度重ねて使用します。

- 2m×25m
- 0.3mm厚



材料一覧表

	品名	品種・用途	規格
中核材 ルーフィング	強力バンクベスト	BANKS工法用改質アスファルトルーフィング	1m×16m 2.0mm厚
	強力バンクベストII	BANKS工法用高級改質アスファルトルーフィング	1m×12m 2.5mm厚
	強力バンクベストV	BANKS工法用立上り改質アスファルトルーフィング	1m×8m 2.5mm厚
	強力ギル	高級中核材ルーフィング	1m×16m 1.4mm厚
	強力アドバン	高級中貼用ルーフィング	1m×16m 1.7mm厚
	強力ライズ	高級改質アスファルトルーフィング	1m×16m 1.7mm厚
	新強力エコフィットF	冷工法用改質アスファルトルーフィング	1m×16m 1.5mm厚
	ガムロンMGベースB	冷工法用両面自着層付き改質アスファルトルーフィング	1m×12m 1.5mm厚
	ガムトップ25	駐車場防水用改質アスファルトルーフィング	1m×8m 2.5mm厚
	ガムトップ30	駐車場防水用高級改質アスファルトルーフィング	1m×8m 3.0mm厚
ルー付 砂付 ルーフィング	強力ガムフェース	改質アスファルト砂付ルーフィング	1m×8m 3.2mm厚
	強力ガムフェースEX	高級改質アスファルト砂付ルーフィング	1m×8m 3.4mm厚
	強力ガムフェースV	改質アスファルト砂付ルーフィング	1m×8m 3.4mm厚
	強力ハイキャップ	砂付ルーフィング	1m×8m 2.9mm厚
	新強力エコフィットC	冷工法用改質アスファルト砂付ルーフィング	1m×8m 2.9mm厚
	強力エコフィットサーモ	冷工法用改質アスファルト遮熱砂付ルーフィング	1m×8m 2.9mm厚
	下貼り用 ルーフィング	強力バンクルーフ	BANKS工法用通気絶縁用改質アスファルトルーフィング
強力バンクルーフV		BANKS工法用改質アスファルトルーフィング	1m×12m 2.4mm厚
強力ストライプZ		通気絶縁用改質アスファルトルーフィング	1m×16m 1.4mm厚(厚みには粘着層含まず)
T-強力ストライプZ		通気絶縁用改質アスファルトルーフィング	1m×16m 1.4mm厚(厚みには粘着層含まず)
新強力エコフィットFS		冷工法用通気絶縁用改質アスファルトルーフィング	1m×16m 1.0mm厚(厚みには粘着層含まず)
ダンパーシート		防湿層用改質アスファルトシート	1m×32m 0.8mm厚(厚みには粘着層含む)
フリースベスト		防湿用ルーフィング	1m×8m 2.3mm厚
Vベース1000		コーナーキャント付立上り防水材	有効長さ 900mm/1枚 12枚/箱
FV-50		立上り用改質アスファルトルーフィング	0.5m×16m 1.5mm厚
防水工事用 アスファルト		アスタイトM	クリーンタイプ・アスファルト
	クリンタイトJ	クリーンタイプ・改質アスファルト	10kg/袋
	ガムタイトクリーン	最高級クリーンタイプ・アスファルト	10kg/袋
塗膜防水材	レイヤコート	常温反応型改質アスファルト貼付材	19.5kgセット(A剤:1.5kg/缶 B剤:18kg/缶)
	レイヤコート立上り用	常温反応型改質アスファルト貼付材立上り用	12kgセット(A剤:1.5kg/缶 立上り用B剤:10.5kg/缶)
	レイヤルーフ	改質アスファルトシート	1m×16m 1.5mm厚
	レイヤベースF	粘着層付改質アスファルトシート	1m×16m
	レイヤベースFS	部分粘着層付改質アスファルトシート	1m×16m
	Pシート	モルタル仕上げ用不織布シート	1,020mm×20m
	マットFC	立上り用不織布シート	1,050mm×50m
下地材 接着剤	水性プライマー-AS	ゴムアスエマルジョン系プライマー	17kg/缶
	アスファルトプライマー	アスファルト溶剤系プライマー	15.5kg/缶
	アスファルトプライマー-SS	速乾タイプ溶剤系プライマー	16kg/缶
	クールベース	ゴムアスエマルジョン系下地調整材	混和液:8kg/缶 パウダー:16kg/袋
	レイコーセメント	改質アスファルト系接着剤	18kg/缶
	クールボンド	エマルジョン系ギルフォーム用接着剤	16kg/缶
	RBセメント	RBボードおよびスタイロフォームRB-GK-II用接着剤	20kg/缶
通気材	ペーパス	ふくれ防止用通気材 立上り部用	高さ:350-500-700-1,000mm 各5本入/箱
	ステンレスペーパス	ステンレス製ふくれ防止用通気材平面部用	300mm×300mm×H205mm
	ステンレスペーパスW	2重通気タイプ・ステンレスペーパス	300mm×300mm×H205mm アンダーペーパス200mm×200mm×H205mm
補助材	RBキャント 1500	押えコンクリート仕上げ用防水層保護コーナー部材	1,500mm×150mm 20mm厚 34本/箱
	ギルキャント	入隅部用コーナー部材	長さ=910mm 50本/箱
	メルトテープR	砂面処理シール材	150mm×25m
	ガムホット	ホットメルトタイプシール材	265g/本 20本/箱
	GCライン(カート/ジャンボ)	変成シリコン系シーリング材	320cc詰替型ソフトカート/850ccジャンボカート 各10本/箱
	ガムラップ	冷工法用ラップシール材	1.6kgチューブ 11本/箱
	強力ガムシール	改質アスファルト系シーリング材	330ccカートリッジ 20本/箱 9kg/缶 20kg/缶
	エンシンシート	コーナーやドレン廻り用シート	0.45×8m 1.5mm厚
	バリテープH	BANKS工法コーナー用テープ	100mm×10m
	アスキング	防水工事用アスファルト専用マスキング剤	1kg/缶

	品名	品種・用途	規格
断熱材	ギルフォームS	耐熱型硬質ポリウレタン系フォーム	605mm×910mm 厚さ:25・30・35・40・50・60mm
	ギルフォームW(受注生産品)	耐熱型硬質ポリウレタン系フォーム	1,200mm×900mm 厚さ:25・30・35・40・50・60mm
	ギルフォームHT40I/45I/50I	DIPS構法用耐熱型硬質ポリウレタン系フォーム(あいじゃくり15mm)	1,215mm×915mm 厚さ:40・45・50mm(全種受注生産品)
	RBボード	連続押出発泡硬質ポリスチレンフォーム	910mm×910mm 厚さ:25・30・35・40・50・60mm
	スタイロフォームRB-GK-II	連続押出発泡硬質ポリスチレンフォーム	910mm×910mm 厚さ:25・30・35・40・50・60mm
保護仕上げ塗料	SPファインカラー	高反射エマルジョン系アクリル保護塗料	18kg/缶 4色
	SPミッドカラー	高反射エマルジョン系アクリル保護塗料	18kg/缶 4色
	SPクリーンカラー	高反射エマルジョン系アクリル保護塗料	18kg/缶 3色
	SPマルチカラー	エマルジョン系アクリル保護塗料	18kg/缶 3色
	SPサーモコート/SPスーパーサーモコート	エマルジョン系遮熱・防火塗材	各18kg/缶 (SPサーモ3色、SPスーパーサーモ1色)
	SPシルバー	溶剤系シルバー保護塗料	15.5kg/缶
仕上げ材・絶縁材	絶縁クロス1000	ポリプロピレン絶縁用シート	1m×100m
	バリキャップ	砂付成型板タイプ軽歩行用屋上仕上材	0.5m×1.0m 6mm厚 5.1kg/枚 色:自然色・ライトグレー・新緑・赤茶
	ステップスクエア500	天然砂粒成型板タイプ軽歩行用化粧仕上材	500mm×500mm 7.5mm厚 2.9kg/枚 4色
	エイブロックBF-BJ	乾式歩行用屋根仕上材	600mm×600mm 25mm厚 20kg/枚(受注生産品)
	エイマット	エイブロック養生マット	1m×1m 7mm厚 35枚/箱
屋上緑化材	FDドレインLN	保水・排水成型パネル	1m×1.5m 10枚/セット
	ルートガードD	粘着型耐根シート	1m×16m 1.0mm厚
	ルートガードテープ	ルートガード用ラップ増し貼りテープ	100mm×50m 0.2mm厚
	FDフィルム2000	ポリエチレン製耐根補助フィルム	2×25m 0.3mm厚
	FDマット1000/2000	防水層保護マット	FDマット1000:1×25m 5mm厚 13g/巻 FDマット2000:2×25m 5mm厚 27g/巻
	FDフィルター1000/2000	客土流出防止フィルター	FDフィルター-1000:1×25m 0.8mm厚 FDフィルター-2000:2×25m 0.8mm厚
	ホワイトローム	保水排水補助材	66ℓ/袋 6kg/袋
	エコムテープ20	システム接着用テープ	200mm×15m 0.6mm厚 4巻/箱
勾配屋根材	ロフティー	高耐久勾配屋根仕上材	915mm×305mm 4.0mm厚 14枚/束
	ロフティー棟用	棟用ロフティー	915mm×305mm(1シート:305×305mm×3枚) 14シート(42枚)/束
	ロフティー谷用	谷用ロフティー	925mm×6m
	シングル	勾配屋根仕上材	915mm×305mm 2.8mm厚 20枚/束
	シングル谷用	谷用シングル	925mm×6m
	シングルセメント	シングル専用接着剤	20kg/缶 シングルセメントバック11本/箱
	ガムクールM	シングル用自着層付き下葺防水材	1m×10m 1.5mm厚
	フラッシングテープ	アルミ雨仕舞用テープ	16cm×25m
	シングルドリッパーS	軒先・ケラバ用アルミ雨仕舞材	長さ=2m 色:シルバー・茶
	シングルエッジS	ケラバ用アルミ雨仕舞材	長さ=2m 色:シルバー・茶
	シングルドリッパーT25/T30/T35/T50	断熱仕様軒先・ケラバ用アルミ雨仕舞材	長さ=2m 色:シルバー・茶
	シングルエッジT25/T30/T35/T50	断熱仕様ケラバ用アルミ雨仕舞材	長さ=2m 色:シルバー・茶
	アルミ中間棧木25S/30S/35S/50S	断熱材ズレ止め用部材	長さ=2m 色:シルバー
アルミ製雨仕舞材	ライナーコーピングs	アルミ製押出成型笠木	長さ=4m
	ライナーキープs	アルミ製押出成型笠木	長さ=3m
	フラッシュトップ60	立上り部防水雨仕舞材	長さ=3m
	フラッシュエッジ70A/110A	軒先部防水雨仕舞材	長さ=3m
	フラッシュライン	立上り部防水雨仕舞材	長さ=2m
	アルミドリッパー43A/75A	軒先部防水雨仕舞材	長さ=3m
	施工機械・工具類	バンクスローラー平場用/平場用II	BANKS工法用ルーフ押し器
バンクスローラー立上り用		BANKS工法用立上り部ルーフ押し器	
灯油バーナー		BANKS工法用バーナー	バーナー、灯油タンク 各1個/セット
立上り用灯油バーナー		BANKS工法用バーナー	バーナーのみ
ACSアスファルトコンテナシステム		環境対応型アスファルト供給システム	
クリンクトル300L		低煙低臭溶融釜	
釜番君		アスファルト溶融用ブザー・警報器	
ミニ釜君		小型軽量溶融釜	
ガムホットサーバー		ガムホット溶融・保温用ポット	
ガン1400		ガムラップ用大型コーキングガン	
レイコーディッシャー	レイコーセメント塗布用工具	2個/箱	

※各材料の寸法等は、実際の製品と若干異なる場合があります。

※アスファルトルーフィングシート類につきましては、納品時に一定の割合で1ヵ所切断している製品(2ピース品)が混在しておりますので、ご了承ください。

使用上の注意と定期的なメンテナンス

防水層が長期にわたり防水性能や意匠性を発揮するためには、定期的な点検とメンテナンスを実施することが必要不可欠です。

使用上の注意

砂付ルーフィング 仕上げ

- ・通常時における防水層上の歩行及び使用は厳禁です。
- ・維持補修の目的で防水層上を歩行する際には、防水層を損傷する可能性の低い履物(ゴム底の靴などの柔らかい履物)を使用してください。
- ・防水層の表面が雨や雪でぬれていたり、落葉・苔・砂・埃などが堆積していると防水層上は滑りやすくなりますので、歩行の際には転倒にご注意ください。
- ・防水層上に溶剤・油・薬品類をこぼさないよう、注意してください。万が一、こぼれてしまった際には専門工事店にご相談ください。
- ・防水層に傷をつけたり、防水層上でものを落としたり、引きずったりすることは避けてください。
- ・雪下ろしには、金属製のスコップなどの防水層を損傷させやすい道具を使用しないでください。
- ・防水層の上に、重量物や振動物を載せないでください。やむを得ない場合には、バリキャップや防振ゴム等、防水層の養生となるもので防水層本体を保護してください。
- ・たばこの火の投げ捨てや防水層の上で火気の使用は厳禁です。
- ・防水層上に直接客土して草木の植栽を行わないでください。植栽をご希望の際には、専門工事店にご相談ください。

押えコンクリート、アスコン舗装 仕上げ

- ・火気の使用、直接客土して草木の植栽を行わないでください。植栽をご希望の際には、専門工事店にご相談ください。
- ・植物の生育が確認された場合には、専門工事店にご相談ください。

Gウェイブ 仕上げ

- ・植栽層の上は、芝などで歩行に供する場合を除き、基本的に歩行厳禁です。歩行の必要がある場合には、あらかじめ歩行用部材などを用いて歩行部を設定してください。また、メンテナンス目的でやむを得ず立ち入る際には、植栽を損なわないよう十分注意を払ってください。
- ・植栽の手入れの際には、金属製のスコップなどの防水層を損傷させやすい道具を使用しないでください。
- ・植栽層の上は、火気厳禁です。火気を使用する際には、植栽層の上を避けた上で周辺に影響を及ぼさないような容器、器具(バーベキューコンロ等)を必ずご使用ください。

ステップスクエア 仕上げ

- ・ステップスクエア上での運動はお控えください。歩行の際には、柔らかいゴム底靴などの履き物をご利用ください。
- ・表面が雨や雪でぬれている場合、歩行時の転倒にご注意ください。
- ・火気の使用、直接客土して草木の植栽を行わないでください。植栽をご希望の際には、専門工事店にご相談ください。
- ・植物の生育が確認された場合には、専門工事店にご相談ください。
- ・断熱工法の場合は、原則として歩行利用はできません。

バリキャップ 仕上げ

- ・バリキャップ上での運動はお控えください。歩行の際には、柔らかいゴム底靴などの履き物をご利用ください。
- ・表面が雨や雪でぬれている場合、歩行時の転倒にご注意ください。
- ・バリキャップのふくれなどで利用上支障が生じている際には、専門業者にご相談ください。
- ・火気の使用、直接客土して草木の植栽を行わないでください。植栽をご希望の際には、専門工事店にご相談ください。
- ・植物の生育が確認された場合には、専門工事店にご相談ください。
- ・断熱工法の場合は、原則として歩行利用はできません。

エイブロック 仕上げ

- ・エイブロック上での運動はお控えください。
- ・表面が雨や雪でぬれていると滑りやすくなりますので、歩行の際には転倒にご注意ください。
- ・表面が白くなるがありますが、強度には影響ありません。
- ・火気の使用、直接客土して草木の植栽を行わないでください。植栽をご希望の際には、専門工事店にご相談ください。
- ・植物の生育が確認された場合には、専門工事店にご相談ください。
- ・コンクリート製品ですので地域や気象条件により凍害や白華現象を生じる場合がありますのでご了承ください。また、凍害や白華現象の発生抑制のためできる限り排水を良くし、水たまりを作らないようにしてください。

砂付ルーフィング仕上げにおいては

砂付ルーフィング仕上げにおいては下記のような状況が見られる事がありますが、防水性能に支障はありません。

- ・ルーフィングのジョイント部からはみ出したアスファルトに生ずるひび割れ
- ・下地の含有水分による防水層のふくれや、砂付ルーフィングの砂粒の隙間に入り込んだ湿気による表層のふくれ
- ・雨水が滞留しやすい箇所(粉塵、泥、花粉、黄砂等)が堆積し、乾燥収縮する事で生ずる表層クラック
- ・砂付ルーフィングに付着している余剰砂の脱落
- ・砂に含有される鉄分による錆

※保護塗料は経年によりひび割れや減耗を生じます。これらの現象は防水性能に支障を及ぼすものではありませんが、保護塗料は定期的な塗り替えをご推奨します。

※端末シールは経年によりひび割れや減耗を生じます。納まりが適切であれば、これらの現象は防水性能に直ちに支障を及ぼすものではありませんが、端末シールは定期的な打ち替えをご推奨します。

定期的なメンテナンスのお願い

砂付ルーフィング 仕上げ

- ・防水層の表面状況の点検・・・1年に1回
防水層の亀裂・破断の発生状況、仕上げ塗料の減耗状況、大きなふくれの発生の有無、設備基礎廻りの劣化状況
- ・防水廻りの金物の点検・・・1年に1回
立上り押え金物の設置状況、金物廻りのシーリングの劣化状況、水切金物・笠木の設置状況
- ・ルーフトレン、排水溝、排水経路の点検、清掃・・・1年に2回
ゴミの清掃、ドレン廻りでの植物の生育状況
- ・保護塗料の塗り替え・・・塗料により塗り替え時期が異なるのでご相談ください。

押えコンクリート 仕上げ

- ・植物の発生状況の点検、清掃・・・1年に1回
伸縮目地部・ドレン廻りの植物の発生状況、伸縮目地部・ドレン廻りに堆積している土砂の除去
- ・防水廻りの金物の点検・・・1年に1回
水切金物・笠木の設置状況
- ・ルーフトレン、排水溝、排水経路の点検、清掃・・・1年に2回
ゴミの清掃

Gウェイブ FD-LP 仕上げ

- ・灌水・・・春、秋、冬一適宜 夏一毎日
手撒き灌水の場合、100㎡で約1時間。自動灌水の場合200㎡で約1時間。
- ・施肥、薬剤散布・・・1年に1～2回
- ・雑草の点検・除去、植栽植物の生育状況の点検・・・1年に6～12回
- ・防水廻りの金物の点検・・・1年に1回
立上り押え金物の設置状況、金物廻りのシーリングの劣化状況、水切金物・笠木の設置状況
- ・ルーフトレン、排水溝、排水経路の点検、清掃・・・1年に2回
ゴミの清掃、ドレン廻りでの植物の生育状況

ステップスクエア 仕上げ

- ・ステップトップの塗り替え・・・3年に1回程度
ステップトップ(主剤:15kg/硬化剤:3kg、塗布量0.2kg/㎡)
- ・ステップスクエア表面状況の点検・・・1年に1回
ステップスクエアの割れの発生状況の点検
- ・立上り防水層の表面状況の点検・・・1年に1回
防水層の亀裂・破断の発生状況、仕上げ塗料の減耗状況、大きなふくれの発生状況、設備基礎廻りの劣化状況
- ・防水廻りの金物の点検・・・1年に1回
立上り押え金物の設置状況、金物廻りのシーリングの劣化状況、水切金物・笠木の設置状況
- ・ルーフトレン、排水溝、排水経路の点検、清掃・・・1年に2回
ゴミの清掃、ドレン廻りでの植物の生育状況

バリキャップ 仕上げ

- ・バリキャップ表面状況の点検・・・1年に1回
バリキャップのふくれ・砂落ちの発生状況の点検
- ・立上り防水層の表面状況の点検・・・1年に1回
防水層の亀裂・破断の発生状況、仕上げ塗料の減耗状況、大きなふくれの発生状況、設備基礎廻りの劣化状況
- ・防水廻りの金物の点検・・・1年に1回
立上り押え金物の設置状況、金物廻りのシーリングの劣化状況、水切金物・笠木の設置状況
- ・ルーフトレン、排水溝、排水経路の点検、清掃・・・1年に2回
ゴミの清掃、ドレン廻りでの植物の生育状況

エイブロック 仕上げ

- ・エイブロック表面状況の点検・・・1年に2回
エイブロックの割れの発生状況の点検
- ・立上り防水層の表面状況の点検・・・1年に1回
防水層の亀裂・破断の発生状況、仕上げ塗料の減耗状況、大きなふくれの発生状況、設備基礎廻りの劣化状況
- ・防水廻りの金物の点検・・・1年に1回
立上り押え金物の設置状況、金物廻りのシーリングの劣化状況、水切金物・笠木の設置状況
- ・ルーフトレン、排水溝、排水経路の点検、清掃・・・1年に2回
ゴミの清掃、ドレン廻りでの植物の生育状況

防水層の点検・補修および仕上げ塗装の塗り替えは専門技術が必要です。弊社または専門工事店に依頼してください。(有償)

東西アスファルト事業協同組合 142社173事業所

(都道府県別・アイウエオ順) 2019年11月現在

※最新版の名簿については、東西アスホームページをご参照ください(<https://www.tozai-as.or.jp/>)

北海道

(株)アクアグレース 011(855)2621
 エスアイ工業(株) 0162(33)6407
 (株)綜合防水工事 011(771)8834
 東興アイテック(株) 0138(49)8571
 (株)濱建 011(261)5676
 ビルドプロテック(株) 011(884)2885
 北海化学防水(株) 0154(36)3458
 北開技研工業(株) 011(851)6711
 (株)札幌三星 011(618)3255
 (有)山建産業 0155(49)1111

東北

青森 (株)青建防水工業 017(788)4343
 秋田 (有)環清工業 0183(72)0038
 (株)東和 018(864)4561
 岩手 (株)アックス 019(662)5354
 山形 山建工業(株) 023(633)3003
 イトウ防水工業(株) 0238(23)8321
 宮城 旭日産業(株) 022(392)6122
 高山工業(株) 仙台営業所 022(294)5371
 東興アイテック(株)東北営業所 022(287)3410
 東江防水(株) 022(285)1191
 (有)東北ケミカル工業 022(229)2887
 中村瀝青工業(株) 仙台営業所 022(249)7021
 三星産業(株) 東北支店 022(262)5201
 嶺電工業(株) 022(375)8976
 福島 福島防水(株) 024(963)1230

関東

東京 (株)我妻工業 03(3894)6262
 井上瀝青工業(株) 03(3447)3241
 クニ化学防水(株) 03(3362)9321
 クリステル工業(株) 03(3372)2451
 桑原建材(株) 03(6411)0073
 (株)小島工務店 東京支店 03(3936)1020
 新パーレックス工営(株) 03(6807)1993
 (株)信佑 03(5691)8121
 (株)鈴木乃防水耐火板 03(3781)2343
 高田工業(株) 03(3620)6991
 高山工業(株) 03(3265)5631
 藤和防水工業(株) 03(5305)3618
 (株)長崎ケミカル 03(3732)6076
 中村瀝青工業(株) 03(3892)0131
 中村瀝青工業(株) 八王子営業所 042(662)7621
 (株)西尾産業 東京支店 03(3820)2403
 日本ガンツ工業(株) 03(3263)3366
 日本産業(株) 03(5547)6611

日本防水工業(株) 03(3998)8721
 三星産業(株) 03(3912)1262
 八州工業(株) 042(343)0311
 神奈川 (株)ケンショー工業 045(954)1670
 (株)清谷商店 横浜営業所 045(861)8886
 中村瀝青工業(株) 横浜支店 045(500)6601
 (株)西尾産業 横浜本社 045(531)2403
 八タノ工業(株) 045(820)2332
 北開技研工業(株) 関東支店 045(500)9355
 三星産業(株) 横浜営業所 045(548)9861
 埼玉 (株)ケーエス 048(242)3746
 高山工業(株) 北関東営業所 048(799)0720
 松坂屋建材(株) 048(524)0111
 (株)A.BMミツガシ 048(971)6666
 千葉 大裕工業(株) 043(258)0074
 高山工業(株) 千葉営業所 043(421)5451
 (株)日東 043(266)6831
 柏新建材工業(株) 047(155)0113
 藤防水工業(株) 047(365)2151
 上松工業(株) 043(271)8150
 栃木 アオキ工業(株) 028(689)0511
 (株)熊倉 0289(65)1500
 山建工業(株) 宇都宮営業所 028(658)8166
 群馬 阿部産業(株) 027(251)3115
 上毛産業(株) 027(364)4545
 日本ガンツ工業(株) 北関東営業所 0270(32)1149
 茨城 植田防水工業(株) 029(227)4181
 柳澤工業(株) 029(862)4711
 (株)山忠 029(221)9151

中部

新潟 阿部工業(株) 025(274)7621
 (株)大川防水工業 0258(34)7889
 北川瀝青工業(株) 新潟支店 025(283)8911
 シマツ防水(株) 025(524)4161
 長野 (株)五十鈴 0265(78)4331
 坂田工業(株) 026(286)3751
 静岡 (株)アイコービルサービス 054(273)9121
 岡田工業(株) 054(247)3126
 協同建材(株) 053(454)5461
 国際建資(株) 054(247)7761
 (株)清谷商店 0559(21)9610
 (株)西尾産業 静岡支店 054(258)2403
 (株)西尾産業 浜松支店 053(422)2403
 (株)西尾産業 富士支店 0545(63)2403
 松本工業(株) 0545(52)3030
 山梨 (株)土屋工業 055(251)4062

東海

愛知	(株)アイコービルサービス 名古屋支店	052(982)9964
	(株)エコノ	052(896)2088
	岡田建材(株)	052(571)7461
	オギノセメン(株)	052(771)2181
	木曾建材工業(株)	052(715)3391
	建材化工(株)	052(931)0765
	国際建資(株) 名古屋支店	052(779)7551
	(株)ゼンシン工業	0586(64)8563
	(株)ダイケン	052(693)0100
	中央瀝青工業(株)	052(762)1188
	(株)忠京	052(604)6255
	(株)中部レキセイ	0568(81)2120
	帝国商事(株)	0561(85)2111
	(株)東海工事	0532(62)7614
	富士建材工業(株)	052(808)3050
	名建商行(株)	052(524)0315
	(株)サプライ	0561(55)7037
岐阜	中日本防水(株)	058(229)5548
	(株)名神	058(271)7459
三重	(株)アートテックエンジニア	059(222)0533
	太田建材(株)	0593(45)0531
	(株)日建エンジニアリングサービス	059(227)3268

北陸

石川	北川瀝青工業(株)	076(241)1131
福井	北川瀝青工業(株) 福井支店	0776(54)2266
富山	北川瀝青工業(株) 富山支店	076(441)3261
	(株)小島工務店	0766(21)2463

近畿

大阪	(株)アサダ屋	072(650)0025
	旭技建(株)	072(650)6020
	(株)市原商会	06(6903)8850
	神原工事(株)	06(6909)1433
	(株)シンエー	06(6192)3331
	高山工業(株) 大阪支店	06(6386)9312
	(株)トーフ技研工業	06(4867)3362
	西川工業(株)	06(6697)0111
	日英工務(株)	06(6746)1700
	(有)ハンワ	072(281)8810
	(株)ホソタニ	072(727)4416
	三星産業(株) 大阪支店	06(6443)9721
	山崎工業(株)	06(6392)9471
京都	京都瀝青工業(株)	075(623)1320
	(株)興亜	075(672)0161
	三共建材(株)	075(801)6101
	三光工業(株)	075(622)3132

	(株)日商建材	075(314)2652
滋賀	(株)メイコウ	077(545)5512
兵庫	関西瀝青工業(株)	079(266)7878
	北川瀝青工業(株) 神戸支店	078(681)8191
	大成工材(株)	079(432)6811
	(株)マトバ	06(6401)1079
	(株)ヤマモト建工	0798(39)0211
和歌山	大芝建材(株)	0735(72)1111
	(株)ナルセ	073(424)5234
奈良	(有)飛鳥工業	0744(25)0722

中国

広島	アオケン(株)	082(292)3200
	(株)はまはら	0848(23)2760
	(株)森本組	082(233)0354
岡山	青盛建材(株)	086(241)1672
	大和防水(株)	086(252)2642
鳥取	アオケン(株) 鳥取営業所	0857(27)5969
島根	アオケン(株) 山陰支店	0852(21)9551
山口	アオケン(株) 下関支店	0832(32)3325
	(株)新防水工業	083(927)6565
	(株)はまはら 防府営業所	0835(22)3611

四国

香川	四国防水工業(株)	087(888)3555
	(株)日新建工	0877(24)3535
	フルイチ(株)	087(868)2617
徳島	伊東工業(株)	088(698)2083
高知	岸防水工業(有)	088(832)7731
	フルイチ(株) 高知営業所	088(845)0624
愛媛	イケダ産業(株)	089(925)5590
	岩田建材(株)	089(975)6700

九州・沖縄

福岡	アオケン(株)	092(411)6511
	津上産業(株)	093(621)2161
	東洋建工(株)	092(567)0711
	(株)フソウ	092(531)8459
大分	(株)アルファテック	0977(66)8039
	新星産業(株)	0977(26)0410
佐賀	山口産業(株)	0952(52)3829
長崎	(株)シンエイ	095(846)0775
熊本	誠産業(株)	096(345)6131
宮崎	双葉工業(株)	0985(24)2917
	(株)宮防	0985(53)1008
鹿児島	(株)南防	099(252)0432
	(株)山崎商会	099(257)2535
沖縄	(株)ヤマシン	098(879)7654



東西アスファルト事業協同組合

<https://www.tozai-as.or.jp>

田島ルーフィング株式会社

<https://www.tajima.jp>

東京支店	〒101-8579	千代田区外神田4-14-1	TEL 03-6837-8888
大阪支店	〒550-0003	大阪市西区京町堀1-10-5	TEL 06-6443-0431
札幌営業所	〒060-0042	札幌市中央区大通西6-2-6	TEL 011-221-4014
仙台営業所	〒980-0021	仙台市青葉区中央1-6-35	TEL 022-261-3628
北関東営業所	〒330-0801	さいたま市大宮区土手町1-49-8	TEL 048-641-5590
千葉営業所	〒260-0032	千葉市中央区登戸1-26-1	TEL 043-244-3711
横浜営業所	〒231-0012	横浜市中区相生町6-113	TEL 045-651-5245
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町1-12-20	TEL 042-503-9111
金沢営業所	〒920-0025	金沢市駅西本町1-14-29	TEL 076-233-1030
名古屋営業所	〒460-0008	名古屋市中区栄1-9-16	TEL 052-220-0933
広島営業所	〒730-0029	広島市中区三川町2-10	TEL 082-545-7866
福岡営業所	〒810-0041	福岡市中央区大名2-4-35	TEL 092-724-8111

